

令和4年度

# 事業報告書

ふれあいネットワーク

社会福祉法人



北九州市社会福祉協議会

# 目 次

## 令和4年度事業報告

事業の総括	1
事業報告	2
基本目標Ⅰ 福祉の風土を広げ、地域の困りごとに気付く力を高めよう ～見守りのしくみの充実～	
＜目標達成のための取り組み＞	
1 福祉の心を広げよう	2
2 福祉を学び、福祉の仲間を育もう	3
3 見守る力を高めよう	6
4 困りごとを受け止める場をつくろう	7
基本目標Ⅱ 住民、関係機関・団体のネットワークで困りごとを話し合おう ～話し合いのしくみの充実～	
＜目標達成のための取り組み＞	
1 困りごとを話し合う場をつくろう	8
2 住民、関係機関・団体でつながろう	9
3 困りごとを解決するしくみをつくろう	10
4 未来に向けた活動を考えよう(調査・研究・提言)	10
基本目標Ⅲ 一人ひとりの困りごとを助け合おう ～助け合いのしくみの充実～	
＜目標達成のための取り組み＞	
1 生活の困りごとを助け合おう	11
2 ボランティア・市民活動をすすめよう	13
3 安心な暮らしを守ろう(権利擁護)	14
4 社会参加・自立をすすめよう	16
5 災害時に備えよう	18
6 活動のための財源をつくろう	19
組織体制の強化	21

# 事業の総括

長引く新型コロナウイルス感染症の影響によって、経済的な困難を抱える方々の支援として、生活福祉資金の貸し付け相談や自立に向けた相談支援を引き続き実施するとともに、新たに地域交流型フードサポート事業を実施することで、生活課題を抱える方々を地域で支えていく仕組みづくりを進めました。

一方で、令和4年度には様々な行動制限が緩和されるなど、人々の動きも徐々に戻り始め、本会においても、感染対策を行いながらできる限り事業の再開に努めました。

特に、校(地)区社会福祉協議会等が取り組むサロン活動の支援においては、サロンを運営する団体数が令和3年度比120%と増加し、身近な場所で交流できる場を地域住民の皆さんが待ちわびていたことがうかがえます。

また、会議や研修などにオンライン開催や動画配信を取り入れたところ、これまでになかった多様な方々に参加してもらえるようになり、地域の担い手確保などにつながりました。

令和2年度から実施している終活相談事業では、ニーズの高まりから開催回数を増やしたことで具体的な課題を把握することができ、関連事業者や法律専門職と連携して終活専門相談を実施するなど、充実を図るとともに、エンディングノートの活用により啓発に努めました。

本会としても、地域共生社会の実現に向けて関係機関・団体等との連携を進めたところです。

# 令和4年度 事業報告

## 基本目標Ⅰ

福祉の風土を広げ、地域の困りごとに気付く力を高めよう  
～見守りのしくみの充実～

### 基本項目1 福祉の心を広げよう

#### (1) 北九州市社会福祉大会の開催

【総務課・地域支援課】

永年にわたり、社会福祉の発展に功績等のあった方々に感謝と敬意を表し、社会福祉に関する課題の解決に向けた決意を新たにするために開催しました。

##### ①表彰記念式典

開催日：令和4年10月19日

場 所：ウェルとばた3階 大ホール

受賞者：429名

##### ②記念講演会

テーマ：「子どもが子どもでいられるまちに

～ヤングケアラーについて理解を深める～

基調講演動画「子どもがケアを担うということ」

対談動画 「ヤングケアラーって、知ってますか？」

パネルディスカッション

「子どもが子どもでいられるために地域の私たちが出来ること」

パネラー：北九州市子ども家庭局子育て支援部子育て支援課

児童虐待防止担当係長 大和 由希子 氏

北九州市スクールカウンセラー シャルマ直美 氏

北九州市民生委員児童委員協議会

主任児童委員部会 部会長 田中 久美子 氏

ファシリテーター：北九州市社会福祉協議会

地域福祉部長 杉本 真奈美

#### (2) 広報紙やICTを活用した情報発信

【総務課・研修課・区事務所】

<資料編：P2 参照>

広く市民に福祉情報を届けるため、「北九州市社協だより」及び「区社協だより」を発行するとともに、ホームページをリニューアルしました。

①「北九州市社協だより」・「ひと&ひと」 各4回(160,000部)

②「区社協だより」(各区2~4回)

③ ホームページによる情報発信(適宜)

### (3) 企業・事業所への社協活動PRの促進

【活動推進課・区事務所】

<資料編：P57～58 参照>

「北九州市社協だより」の『企業の社会貢献活動』コーナーにおいて、4社の企業の取り組みを掲載し、企業等の社会貢献活動をPRすると同時に、社協活動への関心を高めました。

### (4) ボランティア啓発事業の開催

【活動推進課】

<資料編：P61～62 参照>

「地域共生社会」の実現に向けて、「学びと発信の場」を基本コンセプトに、福祉をはじめとした私たちの生活の課題等を学ぶとともに、ボランティア・市民活動で取り組まれている、つながりづくりや支え合いを中心とした日頃の活動の発信を行いました。

○開催日：令和4年10月16日～22日

○主な内容：講座（9回）、パネル展・スライド映像による活動紹介、  
フードドライブ、おもちゃ病院

○延参加者：238人（講座延べ参加人数）

## 基本項目2 福祉を学び、福祉の仲間を育もう

### (1) 地域福祉人材の育成

【研修課・区事務所】

<資料編：P64～67 参照>

本会の基本理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現に向け、ボランティア活動の推進や地域福祉の向上を目指し、関係機関・団体と連携し、延べ1,853人に対し研修を実施しました。

また、「まちづくりセミナー」では本会の新規事業である「終活相談事業」と連携して、事業の広報や新たな困りごとへの支援力、自助の力の向上を図りました。

①新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

・まちづくりセミナー（1回 3日 85人）

**重**・新たな社会問題に対応する講座（2回 2日 45人）

**重**・ふくしのまちづくり講座（11校(地)区 22日 653人）

・市民講演会（1回 1日 45人）

②小地域福祉活動者（地縁型ボランティア）の育成

・現任福祉協力員研修（7区 7日 266人）

・地域福祉活動専門研修（1回 1日 114人）

・地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」

（1回 1日 211人 動画配信併用）

・校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修

（1回 1日 104人）

- ・まちづくりゼミナール（1回 3日 43人）
- ③テーマ型ボランティア・市民活動者の育成
  - ・福祉有償運送運転協力者研修（3回 6日 87人うちセダン型20人）
  - ・障害への理解を深め、はじめようボランティア入門講座（1回 1日 27人）
  - ・災害ボランティア養成講座（2回 2日 63人）
  - ・「プチ（小さな）ボランティア養成講座」の実施（2回 2日 40人）
  - ・送迎ボランティア・フォローアップ研修（1回 1日 16人）
  - ・ボランティアリーダー研修（1回 1日 16人）
- ④ボランティア・市民活動支援者の育成
  - ・「企業の社会貢献活動セミナー」（1回 1日 11人 オンライン開催）
  - ・「社会福祉法人の社会貢献活動セミナー」（1回 1日 16人 オンライン開催）

**（２）研修企画や情報発信、活動に関する調査研究** **【研修課】**

各研修でのアンケートの結果を今後の研修企画に活かすとともに、新たな人材発掘等を目指している「ふくしのまちづくり講座」では、研修実施後、受講者の活動状況等を調査し把握しました。

**重** **（３）ICTを活用した研修の開催** **【研修課】**

＜資料編：P64 参照＞

新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、対面型の大規模研修も随時再開し、受講者のニーズに応えました。また、オンライン開催でのニーズにも対応するため、ICTを活用し、「地域福祉活動指導者研修『トップセミナー』」の動画配信併用での実施や、企業・社会福祉法人従事者向けの研修、オンライン研修での実施など、研修内容や受講者に合わせて開催しました。

**（４）ウェルクラブ活動の実施** **【地域支援課・区事務所】**

＜資料編：P14 参照＞

子どもたち（主に小学4～6年生）が、「ふれあいネットワーク活動」等の校（地）区社協の地域福祉活動を体験する取り組みを校（地）区社協と連携して実施しました。

	H30	R1	R2	R3	R4
取組校（地）区社協数	30	30	14	18	33
参加児童数	1,233	1,393	689	788	1,192

**重** **（５）ふくし教育の実施及び支援** **【地域支援課・活動推進課・区事務所】**

福祉教育プログラムの開発に向け、福祉教育の理論・手法を体系的に学ぶ福祉教育推進員養成研修を受講し、新たに8名が福祉教育推進員となりました。

また、高齢者疑似体験グッズや車いすの貸出実施に加え、高齢者や障害者等の当事者の気持ちや、介助者の役割を理解し、社会の一員として地域共生社会の実

現に寄与することを目的とした福祉教育の支援を 23 箇所の学校や地域で実施しました。

	R1	R2	R3	R4
福祉教育支援実施件数	22	8	14	23

**(6) 出前講演活動の実施**

**【地域支援課・区事務所】**

＜資料編：P15 参照＞

地域住民や地域の関係機関・団体への福祉に関する理解促進を図るため、様々な福祉分野のテーマをとりあげた出前講演を実施しました。

	H30	R1	R2	R3	R4
出前講演回数	52	113	51	78	105
受講者数	2,471	4,422	1,322	1,923	2,765

**(7) 認知症サポーター養成講座の実施**

**【生活福祉課】**

＜資料編：P32～33 参照＞

市民が認知症についての正しい理解と接し方を学び、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になってもらうために認知症を学ぶ講座を開催しました。

	H30	R1	R2	R3	R4
養成講座受講者数	6,615	6,904	1,648	1,776	2,962
(累計)	(87,196)	(94,100)	(95,748)	(97,199)	(100,161)

**(8) 研修受講者とNPO・ボランティア団体とのコーディネート 【活動推進課】**

行政が実施する「学びと活動のマッチング事業」と協働し、生涯学習等を受講した後、学んだ成果の活用を希望する人にボランティア・市民活動のコーディネートを行い、41人中7人を活動につなげました。

○シルバーひまわりサービス 6人

○災害ボランティア登録 1人

**(9) ボランティア体験学習の実施**

**【活動推進課】**

中・高校生の夏休み期間にボランティア体験を通じて社会福祉への関心と理解を深めていくことを目的とした「ボランティア体験学習」を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、親子手話体験教室を開催しました。

**(10) 年間コースの実施による高齢者の社会参加支援****【周望・穴生】**

&lt;資料編：P68～81 参照&gt;

周望学舎・穴生学舎それぞれ年間コースを15コース設定し、研修生の「生きがい・健康・仲間」づくりを進めました。また、学舎で学んだ成果を地域社会で生かせるよう様々な情報と機会を提供しました。

	H30	R1	R2	R3	R4
周望学舎研修生数（延べ）	18,228	18,780	5,152	10,807	15,820
穴生学舎研修生数（延べ）	16,458	15,097	4,261	8,209	12,710
合計	34,686	33,877	9,413	19,016	28,530

R2、R3は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時休館。

**(11) 地域活動情報支援センターの運営****【周望・穴生】**

&lt;資料編：P79～80 参照&gt;

地域活動情報支援センターによる年長者研修大学校のボランティアグループ及び活動団体のボランティアコーディネートを行うとともに活動の場を提供しました。

ボランティアコーディネート件数	H30	R1	R2	R3	R4
周望学舎	241	307	25	60	31
穴生学舎	108	151	64	85	79
合計	349	458	89	145	110

R2、R3、R4は、新型コロナウイルス感染症のため活動の場が縮小。

**基本項目3 見守る力を高めよう****(1) ふれあいネットワーク活動推進事業における「見守り活動」の支援****【地域支援課・区事務所】**

&lt;資料編：P12 参照&gt;

校(地)区社協の見守り活動の充実に向け、対象者の把握のための福祉マップの作成や基本台帳の整備に加え、新しい生活様式を踏まえた見守りのあり方など、校(地)区社協の活動状況に応じた支援を行いました。

	H30	R1	R2	R3	R4
福祉協力員数	6,891	6,830	6,750	6,652	6,450
見守り対象世帯	119,846	125,407	136,262	135,812	132,844



## (2) 市・区民児協事務局の運営

### 【自立支援課】

<資料編：P25 参照>

民生委員・児童委員活動の活動上での課題解決や情報共有のための各種役員会の開催を支援するとともに、活動歴に応じた研修会を開催しました。

○事務局の運営（会議：31回、研修会3回）

○民生委員互助共励事業

（弔慰金・見舞金等の支給、指定地区民児協事業：2地区）

## (3) 高齢者見守りサポーター派遣事業の実施

### 【生活福祉課】

<資料編：P33～35 参照>

認知症等により見守りが必要な在宅高齢者を介護する家族などの負担を軽減するため、その居宅に「見守りサポーター」を派遣し、利用者に寄り添った見守りや話し相手などを行いました。また、新規サポーターを6名養成しました。

○利用登録者29人、延べ利用者55人、サポーター43人、派遣延べ136回

## 基本項目4 困りごとを受け止める場をつくろう

### (1) 地域でつながるサロン活動の運営支援【地域支援課・活動推進課・区事務所】

<資料編：P13・57 参照>

校(地)区社協等が取り組むサロンの開設や運営支援を行いました。社会福祉施設等関係機関・団体と連携し、講師派遣、会場確保などの支援のほか、「住民主体による生きがい・健康づくりの場推進事業（助成金）」の実施による支援を行いました。

○校(地)区社協実施のサロン

	H30	R1	R2	R3	R4
校(地)区社協数	121	120	122	118	122
サロン数	403	417	431	395	430

○住民主体による生きがい・健康づくりの場推進事業

	H30	R1	R2	R3	R4
助成団体数	20	27	251	305	369
助成額	350,000	920,000	5,251,549	7,360,906	8,904,319

### (2) ウェルサロンの開設、他団体との協働

### 【施設部】

ウェルサロン＝多様な人々が集まる拠点や人と人が緩やかにつながる場として、「ウェル・まちかどピアノ」の開設（全24回、延201人）、「地域食堂」の運営支援、「障害者芸術祭」の参加等、他団体との連携、協働を推進しました。

(3) 子どもの居場所づくり応援基金の設置・運営【財務企画課・活動推進課】

<資料編：P5 参照>

市内の子ども食堂を支援するために設置した基金を原資として、子ども食堂の開設・運営等に対する助成を、関係機関と連携して実施しました。

また、食材確保や運営協力者についての情報提供による支援を行いました。

○寄付（件数：137 件（うち 3 件は物品）、総額 36,388,558 円）

○助成（件数：34 か所、総額 31,100,000 円）

(4) 介護サービス相談員派遣事業の実施

【生活福祉課】

<資料編：P40～43 参照>

介護サービスの質の向上を図ることを目的に、相談員を介護事業所に派遣し、入所者や家族から介護サービスの疑問や不安、不満等を聞き、相談者に代わり事業所にサービス向上、改善に結びつく提案などを行いました。また、新規相談員を 9 名養成しました。

○87 事業所のうち 35 事業所に 232 回訪問

**基本目標Ⅱ**

**住民、関係機関・団体のネットワークで、困りごとを話し合おう  
～話し合いのしくみの充実～**

**基本項目 1 困りごとを話し合う場をつくろう**

(1) ふれあいネットワーク活動推進事業における「話し合い活動」の支援

【地域支援課・区事務所】

校(地)区社協が実施する連絡調整会議の定例開催に向けた支援や関係機関・団体、専門職等の参加を促進しました。また、住民の困りごとの共有や解決に向けた協議が行われるよう、校(地)区社協会長会議や研修等を開催するとともにコロナ禍でも実施できるよう連絡調整会議の運営支援を行いました。

○月 1 回または 2 か月に 1 回定期的に連絡調整会議を開催する校(地)区社協

	H30	R1	R2	R3	R4
校(地)区社協数	125	130	-	127	131

(2) 生活支援体制整備事業の実施

【地域支援課・区事務所】

<資料編：P18～20 参照>

各区事務所に地域支援コーディネーターを配置し、各区保健福祉課いのちをつなぐネットワーク担当係長、地域包括支援センター職員等と連携し、担当校(地)区における活動状況や課題、地域資源の把握・情報共有を行い、第 2 層協議体(校区の作戦会議)の運営支援及び支援状況の可視化を図りました。

	H30	R1	R2	R3	R4
地域会議などへの参加回数	2,732	2,518	1,549	1,794	2,534
協議体への運営支援回数	118	261	273	294	436

## 基本項目2 住民、関係機関・団体でつながろう

### (1) 「地域における公益的な取組」の推進

【地域支援課・区事務所】

<資料編：P24 参照>

「地域における公益的な取組」の充実及び社会福祉施設と社協の相互理解を進めるため、区事務所と連携し、社会福祉施設と校(地)区社協のコーディネートを行い、地域に寄り添った取り組みを進めました。

○校(地)区社協と社会福祉施設の連携した取り組み

	H30	R1	R2	R3	R4
校(地)区社協数	26	58	17	31	37
社会福祉施設数	22	86	21	37	42

### (2) 各種別社会福祉施設協議会連絡会の開催

【地域支援課】

<資料編：P24～25 参照>

市内の各種別社会福祉施設協議会の代表者や実務者が集まる連絡会を開催し、施設運営の情報交換、種別を超えた社会福祉施設協議会間の連携体制づくりを進めました。

○社会福祉施設協議会連絡会（代表者会議：1回、実務者会議：1回）

参加団体：北九州高齢者福祉事業協会、北九州市障害者施設協議会

北九州市保育所連盟、北九州市障害児施設連盟

北九州市児童養護施設協議会、北九州市立母子生活支援施設

### (3) 民間社会福祉事業従事者共済事業の実施

【地域支援課】

<資料編：P23 参照>

民間社会福祉事業従事者の福利増進を目的として、脱退一時金の支給等の共済事業と、給付事業やスポーツ観戦、宿泊事業等の福利厚生事業を実施しました。

### (4) 北九州市社会福祉法人地域協議会の運営

【地域支援課】

<資料編：P24 参照>

「地域公益事業」を実施するための「社会福祉充実計画」を策定した社会福祉法人はなかったため、地域住民その他関係者から地域における福祉ニーズの意見聴取を行うとともに、地域福祉課題の共有とその解決に向けた協議を行いました。

(5) 企業・社会福祉法人の社会貢献活動の促進

【研修課】

<資料編 P65 参照>

セミナーを通して、企業等が新たに社会貢献活動に取り組むためのきっかけづくりや、活動を展開する上での情報提供を行いました。

- 「企業の社会貢献活動セミナー」(1回 1日 11人 オンライン開催)
- 「社会福祉法人の社会貢献活動セミナー」(1回 1日 16人 オンライン開催)

(6) 中間支援組織連絡会への参加

【活動推進課】

<資料編 P55 参照>

様々な立場でボランティアや市民活動を育成・支援している6団体との連絡会に年間5回参加しました。

(7) 市・区域でのボランティア・市民活動ネットワークの構築

【活動推進課・区事務所】

<資料編：P61 参照>

区ボランティア連絡協議会の支援や各区のボランティアから選出された委員によって企画・運営を行う「ボランティアウィーク」の開催などを通じ、市・区域で活動するボランティアグループや市民活動団体同士をつなぎ、活動の活性化を図りました。

**基本項目3 困りごとを解決するしくみをつくろう**

(1) 小地域福祉活動計画の策定・推進支援

【地域支援課・区事務所】

<資料編：P13 参照>

地域住民が地域の様々な福祉課題を見つけて解決していくため、校(地)区社協に小地域福祉活動計画の策定を呼び掛け、新規策定校(地)区への支援や、計画推進の支援を行いました。

○小地域福祉活動計画を策定済校(地)区社協数

	H30	R1	R2	R3	R4
校(地)区社協数	44	49	51	59	95

**基本項目4 未来に向けた活動を考えよう（調査・研究・提言）**

(1) 総合企画委員会の開催

【地域支援課】

<資料編：P105 参照>

「北九州市地域福祉活動第六次計画」の点検・評価及び推進に向け、計画実施2年目の今年度は、関係機関・団体が目標達成のために行っている取り組みについて共有し、協働を促進しました。

(2) 地域支援力の充実・強化 【地域支援課・区事務所】  
 区事務所が行う各校(地)区社協への活動支援内容等について、学識経験者等による意見や助言、研修を通して地域支援力の向上を図りました。

(3) ICT等を活用した地域福祉活動の実践 【地域支援課】  
<資料編：P15 参照>  
 対面による見守り活動や生活支援などの地域福祉活動に加え、デジタルツールでの地域福祉活動を推進するため、地域住民や福祉協力員、民生委員等を対象に、デジタルツールの活用講座を企業と共同で実施しました。

(4) 研修受講後の活動実態の追跡調査 【研修課】  
 ふくしのまちづくり講座において、研修実施の翌年に前年度受講者の活動状況等を追跡調査し、調査結果の内容や課題の分析を行い、研修企画に活かしました。

(5) ボランティア・市民活動実態調査 【活動推進課】  
 ボランティアグループがボランティア活動保険加入の際に記入する「ボランティアグループ調査票」を基にボランティア・市民活動実態調査を行い、その結果をホームページで公開しました。(対象グループ数 583)

(6) 「希望のまちプロジェクト」への参画 【地域支援課】  
 認定NPO法人「抱樸」が取り組む地域共生社会の拠点施設開設に向けた「希望のまちプロジェクト」に参画し、各種団体との連携、協働による取り組みに向けた協議を行いました。

**基本目標Ⅲ**

**一人ひとりの困りごとを助け合おう**  
**～助け合いのしくみの充実～**

**基本項目 1 生活の困りごとを助け合おう**

(1) ふれあいネットワーク活動推進事業における「助け合い活動」の支援 【地域支援課・区事務所】  
<資料編：P12 参照>  
 校(地)区社協が行っている日常簡易な助け合い活動のしくみづくり等の支援を行うとともに、福祉協力員やニーズ対応員の人材育成・確保に努めました。

	H30	R1	R2	R3	R4
ニーズ対応員数	7,779	7,695	7,526	7,144	6,874
助け合い活動件数	687,665	721,850	603,869	614,417	655,875

## (2) 地域生活支援活動推進事業の実施

【地域支援課・区事務所】

<資料編：P21～22 参照>

地域住民による生活支援活動が円滑に行われるよう、生活支援ニーズと生活支援活動の需給調整や校(地)区社協活動の充実支援を行う地域生活支援相談員を配置しました。

	H30	R1	R2	R3	R4
相談員配置校(地)区数	2	4	7	11	15
相談受付件数	68	545	761	867	1,222
生活支援活動とのマッチング件数	40	471	910	1,102	1,634

## (3) シルバーひまわりサービスの実施

【活動推進課・区事務所】

<資料編：P59～60 参照>

外出が困難な65歳以上の方を対象に、ボランティアが福祉車両を使用して行う送迎サービスを実施しました。

- 年間活動件数 4,241件
- 登録ボランティア 901人
- 登録利用高齢者 747人

## 新 (4) 多様な主体によるアウトリーチのしくみづくり

【活動推進課】

地域の活動者が把握した住民の困りごとを、行政や企業等従事者の協力によって解決するしくみを検討するため、10 団体へヒアリングを行いました。併せて、シルバーひまわりサービス等の既存のしくみへのボランティア協力も行い、関係性の構築に努めました。

## (5) 腕自慢おまかせサービスの実施

【活動推進課・区事務所】

<資料編 P60 参照>

生活の中でのちょっとした困りごとの解決をボランティアがお手伝いする腕自慢おまかせサービスを62件実施しました。

## (6) 研修を通じた生活支援ボランティアの養成

【研修課】

<資料編：P65 参照>

八幡西区・小倉北区でプチ（小さな）ボランティア養成講座を開催し、生活の中でのちょっとした困りごとをお手伝いするボランティア19人の登録につながりました。

- 「プチ（小さな）ボランティア養成講座」の実施（2回 2日 40人）

## **新** (7) 地域交流型フードサポート事業

【地域支援課・区事務所】

<資料編：P16 参照>

物価高騰などの影響を受け食料を必要とする世帯に食料支援を行うとともに、関係相談支援機関等と連携しながら、ふれあいネットワーク活動等の地域の交流活動を促進する機会として、市内3地域で実施しました。

## 基本項目2 ボランティア・市民活動をすすめよう

### (1) ボランティアの人材発掘と育成

#### ① 現役世代のボランティア活動者の拡大 【活動推進課・区事務所】

企業や事業所に向けてボランティア活動へのニーズを周知し、連合福岡・北九州地域協議会や日本製鉄係長連合会等の現役世代の活動者が、シルバーひまわりサービスや腕自慢おまかせサービスのボランティア活動に44件繋がりました。

- シルバーひまわりサービス（連合福岡・北九州地域協議会） 43件
- 腕自慢おまかせサービス（日本製鉄係長連合会） 1件

#### **重** ② 新たな福祉課題に対応するボランティアの人材発掘と育成 【研修課】

<資料編：P64～65 参照>

孤立・孤独防止をテーマにした「子育て」支援や悩み事の傾聴や聴覚に障害のある方へのボランティア活動等について考える講座では、10人の登録につながりました。

- 新たな社会問題に対応する講座
  - ・「子育て支援ボランティア養成講座」(1回 1日 20人)
  - ・「電話を通じて寄り添い、心の声を聴くボランティア講座」(1回 1日 25人)
- 障害への理解を深め、はじめようボランティア入門講座
  - ・「聴覚に障害のある人へのボランティア入門講座」(1回 1日 27人)

地域の課題解決や助け合い活動推進のための「ふくしのまちづくり講座」をはじめとした地縁型ボランティア講座を開催し、小地域福祉活動の活性化を図りました。

#### **重** (2) 区ボランティアコーディネーターの育成強化 【活動推進課・区事務所】

<資料編：P58 参照>

ボランティアコーディネーター連絡会議を年7回開催し、ボランティア活動に関する課題の共有とその解決策の検討などを行い、区ボランティアコーディネーターの資質向上に努めました。

(3) 当事者参加によるボランティア活動の推進 【活動推進課・区事務所】

<資料編：P59 参照>

年齢や障害の有無等でボランティア活動への参加が制限されることなく、誰もがボランティア活動を通じて、地域や社会に参加することができるようコーディネートを実施しました。

	H30	R1	R2	R3	R4
ボランティア相談・コーディネート件数	30,400	31,039	21,620	25,089	36,705

基本項目3 安心な暮らしを守ろう（権利擁護）

重 (1) 地域福祉権利擁護事業の実施

【権利擁護課】

<資料編：P44～47 参照>

判断能力が不十分なために、自身では福祉サービスの利用契約や日常的な金銭管理等を適切に行うことが難しい人が、地域で安心して暮らせるように、本人の意思に基づいて支援しました。

	H30	R1	R2	R3	R4
契約者実数	314	311	297	284	267

(2) 法人後見事業の実施

【権利擁護課】

<資料編：P48～49 参照>

本会が家庭裁判所から成年後見人等に選任され、判断能力が不十分なために契約や財産の管理等をすることが難しい人の権利や財産を守り、尊厳をもってその人らしく生活が送れるよう支援しました。

	H30	R1	R2	R3	R4
法人後見・市民後見新規受任件数	5	10	5	4	5

(令和4年度末現在 受任件数 39件)

(3) 地域福祉権利擁護事業と成年後見制度との連携

【権利擁護課】

<資料編：P44・48 参照>

地域福祉権利擁護事業利用者に成年後見制度の利用が必要な場合は、専門職団体や北九州成年後見センター、家庭裁判所と連携し、利用申立てや成年後見人等の選任が円滑に進むよう支援しました。

- 北九州成年後見センター理事会、業務監理委員会への参加（12回、6回）
- 福岡県弁護士会北九州部会高齢者・障害者事例検討会への参加（2回）
- 地域連携ネットワーク構築のための会議への参加（3回）



(4) 地域福祉権利擁護事業と生活困窮者自立相談支援事業との連携

【権利擁護課・自立支援課】

各区の「いのちをつなぐネットワークコーナー」との連携を目的として、相談員連絡会において地域福祉権利擁護事業についての理解を深め、両事業が連携した支援体制の構築に向けて意見交換を行いました。

(5) 権利擁護関係機関、専門職との支援のネットワークづくり 【権利擁護課】

<資料編：P44・48 参照>

地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業利用者の個別ケア会議に参加するなど、権利擁護関係機関、専門職との連携を深め、利用者を中心とした見守りのネットワークをつくりました。

(6) 権利擁護の担い手（支援員）の確保・育成

【権利擁護課】

<資料編：P44・48 参照>

支援員研修会を開催し、支援員の確保・育成に取り組みました。

○専門員・支援員合同研修会の開催（2回）

(7) 市民後見人の養成・活動支援

【権利擁護課】

<資料編：P50～52 参照>

社会貢献型市民後見人養成研修及びフォローアップ研修を開催し、市民後見人が意思決定支援について学び、実践に反映できるようサポートするとともに、本会が法人で受任中の案件を、リレー方式で円滑に市民後見人へ引き継ぐためのしくみづくりを構築し、関係機関と連携した市民後見人等の活動範囲の拡充や、安心して活動するためのバックアップ体制の充実を図りました。

○北九州市社会貢献型市民後見人養成事業実務研修（全9日間 集合・web 併用）

○北九州市社会貢献型市民後見人養成事業フォローアップ研修（集合）

○市民後見人支援事業の実施（1件）

○法人後見から市民後見人への移管に向けた同行訪問（1件）

**重** (8) 権利擁護セミナーの区域単位での開催

【権利擁護課・区事務所】

<資料編：P44・48 参照>

地域福祉権利擁護事業と成年後見制度についての理解を深め、その一体的な展開に向けて関係者がどう連携すべきかを学ぶために、各区域で権利擁護セミナーや出前講演を開催しています。今年度は若松区、戸畑区で実施しました。

○権利擁護セミナーの開催（2回）

若松区民生委員児童委員協議会全員研修 参加者 95人

戸畑区民生委員児童委員協議会全員研修 参加者 77人

## 新 (9) 終活相談事業の実施

【権利擁護課】

<資料編：P53～54 参照>

少子高齢化や地域社会における人間関係の希薄化に伴い、亡くなった後の整理が困難な市民が増える傾向にあることから、令和2年度にモデル実施を行い、令和3年度から本格実施となりました。毎月1回終活相談を行っていましたが、相談回数を毎月4回へ増加し、本会職員が相談員として事業に取り組むなど、事業の拡充を行いました。

令和5年1月からは、終活関連事業者や法律専門職と連携して終活専門相談を実施し、関係者間のネットワークづくりに努めました。

また、相談対応や出前講演に活用するためのオリジナルエンディングノートを作成しました。

○終活相談の実施（R2 から実施）

	R2	R3	R4
対応件数	7組 (7人)	32組 (33人)	52組 (58人)

○「最後まで自分らしく 私のこれからノート」の改訂（20,900部）

○終活応援講座の開催（1回 26人）

○終活出前講演（エンディングノートの書き方講座）の実施（9回 222人）

## 基本項目4 社会参加・自立をすすめよう

### 重 (1) 生活困窮者自立相談支援事業の実施

【自立支援課】

<資料編：P27～29 参照>

各区の「いのちをつなぐネットワークコーナー」に相談員を配置し、生活困窮者からの相談を受け、ニーズを把握し、支援計画の策定、関係機関につなげることで、生活困窮者の自立に向けた支援を実施しました。

	R1	R2	R3	R4
新規相談受付件数（総数）	1,771	8,545	5,238	2,587
支援計画（プラン）策定件数（総数）	864	1,060	844	679

### 重 (2) 生活福祉資金貸付事業の実施

【自立支援課】

<資料編：P26～27 参照>

低所得者、障害者または高齢者に対し、その経済的な自立や生活意欲の助長促進等を図るため、資金の貸付と相談支援を実施しました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による臨時の緊急小口資金等の申請支援を行いました。

○生活福祉資金貸付（合計）申請件数 127 件、貸付額 34,414,000 円

○新型コロナウイルスの影響による臨時の緊急小口資金等の申請

令和4年9月末まで（合計）申請件数 2,166 件、貸付額 780,160,000 円

### (3) 生活困窮者自立支援金事務センターの運営

【財務企画課】

<資料編：P5 参照>

新型コロナウイルス感染症の影響による生活福祉資金の特例貸付を終了した世帯や不承認となった世帯等を対象とした「生活困窮者自立支援金」(給付金)に係る事務センターの運営を受託し、対象となる世帯への制度の周知、申請を行いました。

- 申請書送付(初回1,340件、再支給1,107件、合計2,447件)
- 申請(初回776件、再支給898件、合計1,674件)
- 電話対応(12,081件)

### (4) 潜在保育士再就職・復帰支援資金貸付事業の実施

【自立支援課】

<資料編：P30 参照>

保育士の人材確保を図るため、資格を持ちながら、現在保育職についていない方への保育職への就職を支援するため資金を貸付ける事業を実施しました。

- 再就職支援資金(貸付件数：14件、貸付額：5,487,856円)
- 未就学児をもつ潜在保育士の保育所復帰支援資金  
(貸付件数：16件、貸付額2,672,390円)

### (5) ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業の実施

【自立支援課】

<資料編：P31 参照>

ひとり親家庭の経済的自立を支援するため、資格取得養成機関への入学や資格を生かした職に就く際の準備金を貸付ける事業を実施しました。また、貸付対象者に対して、住宅の借り上げに必要となる資金の貸付けを行いました。

- 入学準備金(貸付件数：20件、貸付額：10,000,000円)
- 就職準備金(貸付件数：12件、貸付額：2,400,000円)
- 住宅支援資金(貸付件数：21件、貸付額：9,566,400円)

### (6) 高齢者地域交流支援通所事業の実施

【生活福祉課】

<資料編：P36～40 参照>

市内に居住する在宅の65歳以上の高齢者が、できるだけ長く地域で自立した生活ができるよう、健康や生きがいづくりに役立つプログラムを市内50か所の市民センターで実施しました。

- 登録者606人、延実施日数4,436日、延利用者38,729人

### (7) 介護支援ボランティアの育成と活動支援

【活動推進課・区事務所】

<資料編：P62～63 参照>

65歳以上の市民が介護保険施設で行うボランティア活動をポイント化し、寄付または換金することによって、高齢者の社会参加や地域貢献を積極的に奨励・支援し、高齢者自身の健康増進や生きがいづくりを行うとともに、施設等利用者

の生活をより豊かにすることを目的に実施しました。

	H30	R1	R2	R3	R4
活動登録者数	2,018	2,118	2,067	2,005	1,967
延活動件数	19,808	21,050	5,035	3,122	3,941
換金・寄付額	2,673,600	2,765,000	634,200	249,200	346,600

**(8) 障害者就労支援施設製品等の活用**

**【財務企画課】**

＜資料編：P4 参照＞

障害者の就労支援のため、障害者就労支援施設の製品等を事業に活用しました。

**(9) 企業からの寄贈品提供による社会参加支援**

**【財務企画課】**

＜資料編：P3 参照＞

社会貢献の一環として企業から寄贈されたスポーツ観戦等への招待チケットや食料品を市内の社会福祉施設利用者に提供し、企業及び施設利用者双方の社会参加や社会との繋がりを支援しました。

## **基本項目5 災害時に備えよう**

**(1) 市社協の防災体制の確立**

**【総務課】**

災害が発生した場合でも、継続的・安定的な事業運営が図れるように災害対策連絡網を整備するとともに、部署間の応援体制がとれるよう研修計画を作成しました。

**(2) 戸畑駅前地区防災相互応援協定の推進**

**【施設部】**

＜資料編：P8 参照＞

JR戸畑駅、イオン戸畑店、福岡銀行戸畑支店、本会の4者間で協定を締結しており、災害時に帰宅困難者の受け入れや物資の供給を迅速、円滑に行えるよう、それぞれの役割を取り決めています。令和4年度は、施設部、防災センター職員で体制や備品等の確認を行いました。

**(3) 災害時避難訓練の実施及び新型コロナウイルス感染防止対策** **【施設部】**

＜資料編：P8～9 参照＞

福社会館フロアごとに消防地区隊を結成し、コロナ禍ということもあり、図上訓練にて実施しました。また、新型コロナウイルス感染防止対策として、消毒液、検温計の利用呼び掛け継続に加え、従来可能であった多目的ホールでの飲酒を禁止としました。

#### (4) 校(地)区社協が取り組む「福祉救援体制づくり」の推進

【地域支援課・区事務所】

ふれあいネットワーク活動を基盤とし、社会福祉施設等と連携した地域での福祉救援体制づくりを支援しました。また、出前講演を活用し、活動者や地域住民への啓発を行いました。

#### 重 (5) 災害ボランティア活動の環境整備

【活動推進課・区事務所】

<資料編：P56 参照>

災害発生時の地域の受援力を高めるために、災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施しました。また、災害時相互協力協定締結団体との連絡会議等を実施し、災害ボランティア活動の環境整備に取り組みました。

- 災害ボランティアセンター設置・運営訓練 (2回・124人・ウェルとばた、旧大連航路上屋)
- 災害時相互協力協定締結団体連絡会議 (1回・10人・オンライン)
- 災害ボランティアの登録者 (341人)
- 災害ボランティア用公式LINEを活用した情報発信の仕組みづくり (登録者・94人)
- 関係機関・団体、大学等と連携した被災者支援活動の推進  
・北九州市総合防災(緊急物資輸送)訓練 (38人)

#### (6) 災害ボランティア養成講座の実施

【研修課・区事務所】

<資料編：P65 参照>

平時から地域での防災ボランティアとして活動できる人材を養成していくことを目的として実施しました。

- 災害ボランティア養成講座 (2回 2日 63人)

	H30	R1	R2	R3	R4
災害ボランティア登録者数	287	332	308	325	341

### 基本項目6 活動のための財源をつくろう

#### (1) 寄付金の呼びかけや収益事業の拡充・検討

【財務企画課】

<資料編：P2 参照>

地域福祉活動の財源を確保するため、市民や企業、団体等へ広く寄付や賛助会員への加入を呼びかけました。

	H30	R1	R2	R3	R4
賛助会費	11,333,070	10,220,000	10,100,950	9,557,250	9,553,000
寄付金	9,242,973	8,722,742	7,005,522	8,666,798	8,150,875

※寄付物品の現金相当額を含む。

※区事務所の会費・寄付を含む。

また、債券購入による事業資金の運用を実施し、自主財源の増収に結びました。

○令和4年度購入債券銘柄

- ・第2回北九州市サステナビリティボンド（5年）公募公債
- ・第49回利付国債（30年）

## （2）共同募金活動の広報啓発

【財務企画課】

ふれあいネットワーク活動をはじめとした、地域福祉活動にとって重要な財源である共同募金について、広報紙への記事掲載やパネル展を実施する等の広報啓発を行いました。

## 常設委員会

本会業務の円滑な運営を図るため、常設委員会にて協議を行ないました。

- 1 表彰審査委員会（総務課）
- 2 民間社会福祉施設整備資金貸付審査委員会（財務企画課）
- 3 民間社会福祉事業従事者共済事業運営委員会（地域支援課）
- 4 総合企画委員会（地域支援課）
- 5 生活福祉資金調査委員会（自立支援課）
- 6 権利擁護・市民後見センター運用委員会（権利擁護課）
- 7 ボランティア・市民活動センター運営委員会（活動推進課・研修課）
- 8 北九州シニアネットワークアカデミー運営・改善委員会（周望・穴生）
- 9 各区社会福祉協議会運営委員会（区事務所）

## 組織体制の強化

地域福祉活動第六次計画及び本事業計画に沿って事業を効果的に推進するために、自主財源の確保、職員の人材育成等を行い、組織体制の一層の強化に努めました。

- 1 発展強化方策の作成（全部署）
- 2 賛助会員の加入促進（全部署）
- 3 無期雇用嘱託員の採用（総務課）
- 4 研修等を通じた職員の人材育成（総務課）
- 5 自主財源確保のための収益事業の実施（財務企画課・各区事務所）

# 資料編

～令和4年度事業報告～

## 【総務部】

法人運営事業	1
民間社会福祉施設整備資金貸付事業	4
子どもの居場所づくり応援基金事業	5
生活困窮者自立支援金事務センター運營業務	5

## 【施設部】

ウエルとばた運営事業	6
ウエルとばた管理事業	10

## 【地域福祉部】

住民福祉活動による地域づくり事業	11
生活支援体制整備事業	18
地域生活支援活動推進事業	21
民間社会福祉事業従事者共済事業	23
各施設協議会等との連携	24

## 【生活支援部】

民生委員互助共励事業	25
生活福祉資金貸付事業	26
生活困窮者自立相談支援事業	27
潜在保育士の保育所再就職・復帰支援資金貸付事業	30
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	31
認知症サポーターキャラバン事業	32
高齢者見守りサポーター派遣事業	33
高齢者地域交流支援通所事業	36
介護サービス相談員派遣事業	40
権利擁護・市民後見センター事業	44
終活相談事業	53

## 【ボランティア・市民活動センター】

ボランティア振興事業	55
ボランティア育成・啓発事業	59
介護支援ボランティア事業	62
社会福祉ボランティア大学校運營業務	64

## 【北九州シニアネットワークアカデミー】

年長者研修大学校等運營業務	68
年長者研修大学校人権研修事業	82
高齢者の健康づくり事業	84

## 【区事務所】

門司区事務所運營業務	85
小倉北区事務所運營業務	88
小倉南区事務所運營業務	91
若松区事務所運營業務	93
八幡東区事務所運營業務	95
八幡西区事務所運營業務	99
戸畑区事務所運營業務	102

## 【常設委員会】

105



令和4年度決算額 998,496 千円（令和4年度予算額 1,133,549 千円）

I-1 I-4 III-4 III-5 III-6

## ◇法人運営事業

令和4年度については、ICTを活用して、会議・研修等を集合とオンラインの併用による開催を実施するとともに、社会福祉法をはじめとする関係法令に基づいた適正な会務運営に取り組みました。

また、財政面においては、限られた財源を有効に活用するため、クラウドの活用や給与明細の電子化など様々な事務改善、経費削減を行い、運営基盤の強化に努めました。

### 1 役員会

#### (1) 理事会開催

回	実施日	出席者数 /定数	議題
第275回	R4.4.1	17/17	1 絆プロジェクト基金設置・運営規程の一部改正について
第276回	R4.6.6	14/17	1 令和3年度事業報告について 2 令和3年度収支決算について 3 評議員選任候補者の推薦について 4 第216回評議員会（令和4年定時評議員会）の日時及び場所並びに議案の決定について
第277回	R4.10.5	17/17	1 副会長の選任について 2 評議員選任候補者の推薦について
第278回	R5.3.8	17/17	1 令和5年度事業計画について 2 令和5年度収支予算について 3 令和4年度第1次補正予算について 4 役員等のために締結される補償に関する保険契約内容について 5 事務局処務規程の一部改正について 6 経理規程の一部改正について 7 就業規則の一部改正について 8 嘱託職員及び臨時職員就業規則の一部改正について 9 職員の育児休業等に関する規程の一部改正について 10 嘱託職員等の報酬等に関する規程の一部改正について 11 評議員選任候補者の推薦について 12 第217回評議員会の日時及び場所並びに議案の決定について

#### (2) 評議員会開催

回	実施日	出席者数 /定数	議題
第216回	R4.6.23	26/31	1 令和3年度事業報告について 2 令和3年度収支決算について 3 理事の補充選任について

第 217 回	R5. 3. 29	23/31	1 令和 5 年度事業計画について 2 令和 5 年度収支予算について 3 令和 4 年度第 1 次補正予算について
---------	-----------	-------	--

※276 回、278 回理事会及び 216 回、217 回評議員会は、参集とオンライン会議の併用で開催

### (3) 監事監査

実施日	実施監事名	監査の内容
R4. 5. 20	木村 聡 曾我 満美 名越 雅康	令和 3 年度理事の職務執行状況 (事業報告及び計算関係書類等の検討)

## 2 賛助会員加入状況（市社協分）

年度	法人・団体会員		個人会員		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
H30	242	4,350,000	190	499,000	432	4,849,000
R1	229	4,000,000	175	419,000	404	4,419,000
R2	213	3,630,000	125	430,000	338	4,060,000
R3	209	3,540,000	123	363,000	332	3,903,000
R4	202	3,490,000	171	441,000	373	3,931,000

## 3 寄付金等の状況

年度	寄付件数	寄付金	寄付物品
H30	296	9,242,973	日用品、ピアノ、車いす、火災報知器
R1	238	8,722,742	クリスマスケーキ
R2	200	7,005,522	不織布マスク、クリスマスケーキ、アルコールスプレー
R3	192	8,666,798	不織布マスク、災害ボランティア活動用機材、クリスマスケーキ、アルコール消毒液、車いす、自転車用リフレクター
R4	175	8,150,875	クリスマスケーキ、高齢者福祉体験セット、おもり付きベスト、備蓄用非常食、タオル、子ども用文房具、未使用切手

※寄付金には、寄付物品の現金相当額を含む。

※区事務所の寄付を含む。

## 4 広報誌の発行

広報紙名	発行回数	1 回あたりの発行部数	年間発行部数
北九州市社協だより	4	40,000	160,000

## 5 企業等からの寄贈品の提供

項目	提供者及び企業名	施設数	招待者数
プロ野球公式戦招待	(株)ソフトバンクホークス	126	1,642
星降るパフォーマンスシアターへの招待	(株)H・プロモーション	9	149

※施設数及び招待者数は延べ数。

## 6 助成金の情報提供 38件

### 7 収益事業

#### (1) 駐車場管理

年度	売上額	箇所数	延べ契約台数
H30	2,210,640	2	370
R1	2,244,000	2	374
R2	2,094,080	2	350
R3	1,851,621	2	354
R4	1,882,516	2	358

#### (2) 北九州市社協だよりへの広告掲載

年度	広告料収入	掲載件数
H30	518,400	15
R1	326,400	10
R2	429,000	10
R3	396,000	12
R4	528,000	12

#### (3) 「まちづくりクッキー」の販売

年度	手数料収入	売上数量
H30	26,000	260
R1	26,200	262
R2	3,100	31
R3	1,900	19
R4	8,000	80

#### (4) 自動販売機

年度	手数料収入	設置台数
H30	1,634,223	15
R1	4,438,946	24
R2	2,508,610	24
R3	2,640,365	24
R4	2,698,850	24

※R4 24台のうち4台は10月末で撤去

## 7 障害者就労支援施設への支援

障害者の就労支援のため、障害者就労支援施設の製品やクリーニング業務委託を活用しました。

## 8 豪雨災害等に関する支援活動

### (1) 義援金の募集・受付

災害名称	募集期間	受付場所（募金箱）	義援金額
①平成30年7月豪雨災害	H30.7.10~R4.6.30	ウェルとばた 周望学舎・穴生学舎	1,276
②令和4年3月福島県沖地震災害	R4.3.29~R4.6.30	ウェルとばた 周望学舎・穴生学舎	3,560
③熊本県南豪雨義援金	R2.7.8~R4.9.30	ウェルとばた 周望学舎・穴生学舎	3,038
④令和4年8月3日からの大雨災害義援金	R4.8.17~R4.12.28	ウェルとばた 周望学舎・穴生学舎	6,841

(令和5年3月末現在)  
(金額は令和4年度募金分)

## 9 購入債券

年度	債券銘柄	額面(千円)	利率	償還日
R4	第2回北九州市サステナビリティボンド(5年)公募公債	30,000	0.145	R9.10.28
	第49回利付国債(30年)	100,000	1.4	R27.12.20

29,676千円(71,676千円) I-1

## ◇民間社会福祉施設整備資金貸付事業

市内における民間社会福祉施設の振興を図ることを目的に、施設の新設、修理、改築、拡張、土地の購入、備品整備等に要する整備資金の貸付を予定していましたが、新規申込みはありませんでした。

【令和4年度末貸付件数及び貸付残高】

6施設 18,760,000円

## ◇子どもの居場所づくり応援基金事業

子ども食堂を支援するために設置した基金について、広く市民・企業等から寄付を募り、関係機関と連携して市内の子ども食堂の開設・運営支援のための助成事業を実施しました。

助成金及び寄付物品については、子ども食堂ネットワーク北九州を通じて、市内の子ども食堂へお渡ししています。

### 【寄付の状況】

年度	寄付件数	寄付金(総額)	寄付物品
R2	55件	5,205,389	—
R3	89件	7,050,321	食品、タオル
R4	137件	36,388,558	食品

### 【助成の状況】

年度	助成目的	助成件数	助成金額
R2	子ども食堂運営支援	子ども食堂等19か所	1,900,000
R3	子ども食堂運営支援	子ども食堂等28か所	2,850,000
R4	子ども食堂運営支援	子ども食堂等34か所	31,100,000

## ◇生活困窮者自立支援金事務センター運営業務

「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金」の対象となる世帯に申請書を送付し制度周知を図るとともに、コールセンターを設置し、支援金制度や申請書の書き方等に対する問い合わせに対応することにより、コロナ禍による生活困窮世帯の自立を支援しました。

年度	申請書送付数	申請数	電話対応件数
R3	13,911	3,080	17,331
R4	2,447	1,674	12,081

R4内訳 申請書送付数 初回 1,340件 再支給 1,107件  
申請数 初回 776件 再支給 898件

## ◇ウェルとばた運営事業

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言等の発令以降、ウェルとばたについては北九州市の「施設・イベントに関する基本方針」に基づき、利用制限が設けられていましたが、10月の施設利用制限緩和通知後は、市民会館ホールでの行事及び福祉会館貸室利用も徐々に増えており、回復傾向にあります。利用者のための安心・安全な環境づくりということでは、引き続き消毒器具の設置及び検温、施設部職員による貸室利用後の清掃・消毒作業などに努めています。

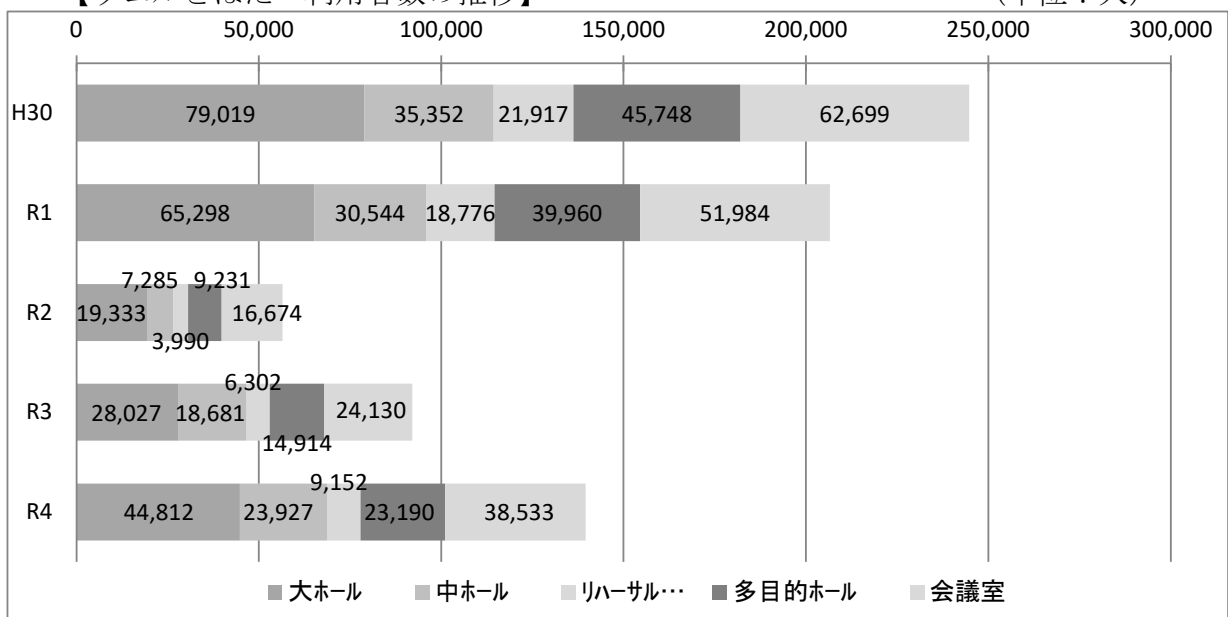
### 1 【会議室等利用状況】

(単位：人)

区分	貸館利用者数					合計
	大ホール	中ホール	リハーサル・練習室	多目的ホール	会議室	
H30	79,019	35,352	21,917	45,748	62,699	244,735
R1	65,298	30,544	18,776	39,960	51,984	206,562
R2	19,333	7,285	3,990	9,231	16,674	56,513
R3	28,027	18,681	6,302	14,914	24,130	92,054
R4	44,812	23,927	9,152	23,190	38,533	139,614

### 【ウェルとばた 利用者数の推移】

(単位：人)



福祉会館の利用者数について、会議室は昨年比プラス 59.7%、多目的ホールは昨年比プラス 55.5%となりました。稼働率は福祉会館全体で 48.8%と、昨年の 40.9%からプラス 7.9%となっています。

また、市民会館大・中ホール及びリハーサル・練習室の利用者数は人数制限緩和の影響もあり、昨年比プラス 46.9%、大・中ホールの稼働率は 56.7%と昨年の 52.8%からプラス 3.9%となっています。

福祉会館、市民会館ともに年間の集計ではプラス傾向、特に人数制限が緩和された 10 月以降の入場者数増加が顕著になっています。

## 2 にぎわい創出事業

行事名	実施日	人員	内容
ウエルとばた開館20周年 初夏のをどり	R4. 6. 19	320	主に戸畑区内で活動する日本舞踊の団体と女性和太鼓グループの発表会。市民会館大ホールで開催。
ステージで スタインウェイを 弾いてみませんか	R4. 7. 16 R5. 2. 12	43	ピアノ愛好家に日頃なかなか弾く機会のないスタインウェイを弾いて楽しんでいただく事業。市民会館中ホールで開催。
ステージで ベーゼンドルファー を弾いてみませんか	R4. 9. 11 R5. 1. 22	61	ピアノ愛好家に日頃なかなか弾く機会のないベーゼンドルファーを弾いて楽しんでいただく事業。市民会館大ホールで開催。
ウエルとばた開館20周年 80歳からの合唱団北九州 2022第2回コンサート	R4. 11. 17	350	9/19開催予定だったものを台風14号の影響でウエルとばたが休館したため延期して実施。
ウエルとばた開館20周年 新春歌まつり	R5. 1. 15	300	戸畑区内で活動するカラオケ団体の練習成果を発表する場として、市民会館大ホールで毎年開催。
映画上映会	R4. 5. 14	93	福祉を考えるきっかけづくり、に焦点を当て、福祉文化の発信と豊かな土壌づくりを目的として開催。 上映作品「だってしょうがないじゃない」
七夕飾り	R4. 6. 23 ～7. 8	-	交流プラザのにぎわいづくりとして企画。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ボランティアから寄付された七夕飾りを、職員で飾りつけをした。
イルミネーション ツリー関連行事	R4. 11. 22 ～12. 25	-	交流プラザに高さ3mを超す巨大なイルミネーションツリーを展示。12/17には、北九州グランフィルハーモニー管弦楽団のメンバーを迎え、ミニコンサートを開催した。
ウエルカム コンサート	奇数月 第2木曜日	延 480	昼休みの時間に、交流プラザ特設ステージにて、北九州市内で活躍している音楽家に依頼し、様々なジャンルの演奏会を開催。 (5/12、7/14、9/8、11/10、1/12、3/9開催)
ウエル・まちかど ピアノ	全24回	延 201	グランドピアノを市民に開放し、来館者に自由に演奏してもらう。
ウエルとばた開館20周年 ウエルとばた秋まつり			台風14号の影響でウエルとばたが休館したため中止。(9/19 予定)
くきのうみ花火の祭典観賞会			悪天候のため花火大会が中止となったため、観賞会も中止。(7/30 予定)

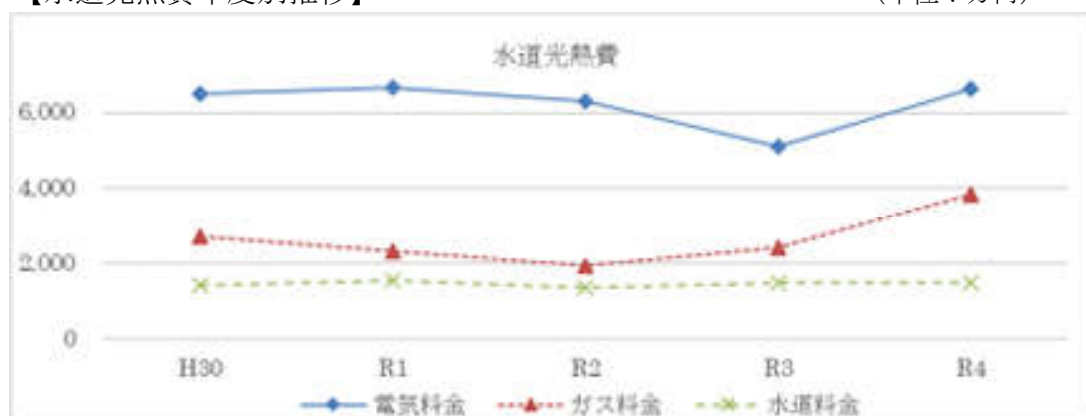
### 3 水道光熱費削減の取り組み

燃料需給契約は常に最適化を図っており、日毎、月毎に電気、ガス、水道の各使用量を監視するなど節減に努めていますが、昨春からの国際情勢の不安定化、それに伴う石油、石炭や液化天然ガスなどの輸入価格高騰による燃料費調整額の値上げに加えて、円安による影響などから、電気、ガス両価格ともに大幅に上昇しています。

なお、実際に価格に影響が出始めた10月から3月までの半年間、電気、ガスそれぞれについて前年と比較すると、使用量については電気が97.7%、ガスが76.9%と削減に努めたものの、使用料金では電気が123.5%（金額ベースで6,101千円増）、ガスが129.9%（金額ベースで3,619千円増）となっています。

【水道光熱費年度別推移】

(単位：万円)



(単位：円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
電気料金	64,966,832	66,528,860	63,051,261	51,200,979	66,397,638
ガス料金	27,240,579	23,218,531	19,409,300	24,208,122	38,349,058
水道料金	14,211,043	15,613,689	13,454,847	14,718,222	15,126,038

### 4 広報・情報発信状況

北九州市社協だより、ホームページ等の広報に加えて、ウェルとばた Facebook でも積極的な情報発信を行いました。

ホームページは、見やすいデザインや分かりやすいコンテンツづくり、スマートフォンへの対応等に取り組み、フロアガイド・アクセス等ウェルとばたの窓口として、利用者より好評を得ています。ユーザー数：77,896人（昨年度比13.7%増）／アクセス数：101,624件（昨年度比12.2%増）／ページ閲覧数：261,624ページ（昨年度比6.1%増）

### 5 安全・安心な施設管理の取り組み

市民や入居団体が、安全・安心に館を利用できるよう、建築設備や消防など各種点検・調査を実施しています。加えて、令和4年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に重点をおいた施設管理を行いました。

- ・ 特殊建築物定期点検 1回（10月）実施
- ・ 外壁タイル全面打診調査 1回（11月）実施
- ・ 全館停電電気設備年次点検 1回（10月）実施
- ・ 制振オイルダンパー点検 1回（2月）実施
- ・ 窓清掃ゴンドラ設備性能検査 1回（5月）実施



- ・消防設備点検 2回（8月、2月）実施
- ・防火対象物点検 1回（8月、2月）実施
- ・消防署立入検査 1回（12月）実施
- ・自衛消防訓練（火災） 1回（2月…全体での図上訓練）実施
- ・自衛消防訓練（地震） 1回（8月…地区隊）実施
- ・甲種防火管理新規講習 2名（10月、1月）受講
- ・防災管理新規講習 1名（11月）受講
- ・防火対象物点検資格者再講習 1名（2月）受講
- ・AED設置台数 5台（1階、2階、3階、8階、12階）

○新型コロナウイルス感染拡大防止対策

- ・消毒液配置箇所…福祉会館共用部 13箇所、市民会館 10箇所
- ・10月の施設利用制限緩和通知以降、市民会館ホールの行事内容によっては座席半数対応、福祉会館会議室の利用人数半数制限は解除となりましたが、多目的ホールについてはシアター形式（300人）での利用は引き続き制限、また、従来可能であった飲酒を含むパーティー形式での利用は、所管とも協議のうえで今後禁止としました。

○陽性者発生時の対応

- ・ウェルとばた入居団体における陽性者発生報告については、10月の施設利用制限緩和通知までは所管へ提出、緩和後は取り止めとなりましたが、各入居団体からは月単位で発生者数を報告してもらいながら適宜入居団体へ状況報告を行い、室内消毒の徹底や密にならないなどの注意喚起を呼び掛けています。

引き続き感染防止対策として、館内エレベーター内、エスカレーター手摺りの消毒回数日中3回の実施、福祉会館及び市民会館に従来から配置している手押しタイプの消毒液、フットペダル式消毒スタンドを使用しての消毒を来館者をお願いしています。

## 6 駅隣接公共スペースとしてのおもてなしの環境づくり

ウェルとばたにお越しになる方に心と癒やされるよう、以下の取り組みを実施しました。

- ・2階交流プラザ総合案内前に、アートフラワー作家による「布の花」を展示  
（年5回入れ替え）
- ・2階正面玄関前の国旗掲揚ポールに、鯉のぼりを掲揚（R4.4.2～5.10まで）
- ・2階受付カウンター横2箇所に、四季折々の設えとして雛人形の段飾りを設置  
（R5.2.10～3.23まで）
- ・2階正面玄関前周辺を整備して、ウェル花壇を造成

## ◇ウェルとばた管理事業

開設当初（平成 14 年 10 月）から現在まで、一貫してウェルとばたの管理運営事業を担っています。ウェルとばた及び周辺において、設備保守・警備・清掃業務を行うとともに、よりよい環境整備に務めました。

入居団体のうち、行政機関である子ども総合センター、消費生活センター、高齢者就業支援センターについて、設備保守・警備業務及び清掃業務、光熱水費など維持管理費の委託契約に基づいた、適正な運営管理を行いました。

消費生活センターの一部（197 m<sup>2</sup>）を減床して子ども総合センター事務室を拡げたため、維持管理費に増減がありました。また、光熱水費の高騰から、維持管理費が昨年度より増加しています。

### 【維持管理費】

（単位：円）

	子ども総合センター	消費生活センター	高齢者就業支援センター
H30	26,086,909	4,058,390	2,481,764
R1	26,398,504	4,164,630	2,550,510
R2	25,711,881	4,212,517	2,579,377
R3	25,713,182	4,095,726	2,471,962
R4	31,488,198	3,270,036	2,762,682

9,580 千円 (12,203 千円)

うち区事務所決算 5,358 千円 (4,995 千円)

I-1 I-2 I-3 I-4

II-1 II-2 II-3 II-4

III-1 III-5

## ◇住民福祉活動による地域づくり事業

### 1 地域福祉活動計画の策定・推進

「北九州市地域福祉活動第六次計画」(令和3年度～令和7年度)の2年度にあたる令和4年度は、第六次計画が円滑に推進されるよう、第六次計画の周知を図るとともに、総合企画委員会において進捗状況の点検・評価を行いました。

北九州市地域福祉活動第六次計画 基本理念・基本目標等

基本理念	基本目標	基本項目
みんなが安心して暮らせる 支え合いのまちづくり	基本目標 I 福祉の風土を広げ、地域の困りごとに気付く力を高めよう ～見守りのしくみの充実～	①福祉の心を広げよう
		②福祉を学び、福祉の仲間を育もう
		③見守る力を高めよう
		④困りごとを受け止める場をつくろう
	基本目標 II 住民、関係機関・団体のネットワークで、困りごとを話し合おう ～話し合いのしくみの充実～	①困りごとを話し合う場をつくろう
		②住民、関係機関・団体でつながろう
		③困りごとを解決するしくみをつくろう
		④未来に向けた活動を考えよう (調査・研究・提言)
	基本目標 III 一人ひとりの困りごとを助け合おう ～助け合いのしくみの充実～	①生活の困りごとを助け合おう
		②ボランティア・市民活動をすすめよう
		③安心な暮らしを守ろう (権利擁護)
		④社会参加・自立をすすめよう
		⑤災害時に備えよう
		⑥活動のための財源をつくろう

### 2 ふれあいネットワーク活動及び地域共生社会実現のための活動

平成5年度から推進してきた校(地)区社協の基本活動「ふれあいネットワーク活動」では、「見守りのしくみ」で福祉協力員等による見守り活動により地域の支援が必要な世帯を見つけ、「話し合いのしくみ」で連絡調整会議の活性化を図るとともに、「助け合いのしくみ」では日常簡易な助け合い活動に取り組み、地域生活課題解決のために関係機関・団体等につなぎました。

「地域共生社会実現のための活動」では、地域生活課題の把握と解決のための中長期の指針として「小地域福祉活動計画を策定する活動・推進する活動」、地域住民の居場所づくりとして「サロンを新設する活動」、次世代へ地域福祉活動をつないでいくために「ウェルクラブ活動」を重点事業として実施するなど、地域の特性に合わせた校(地)区社協活動を展開しました。

(1) ふれあいネットワーク活動の推進

各区福祉協力員・ニーズ対応員数と活動状況

事業別 区名	実施地区	見守り活動			助け合い活動		
		福祉協力員数	見守り対象世帯		ニーズ対応チーム人数	対応件数	
			世帯数	内訳		対応数	対応内容内訳
門司	21	752	15,408	高齢者世帯 (昼間高齢者 だけを含む)	770	34,500	話し相手 233,534 生活情報の提供 288,769
小倉北	25	1,097	32,536	125,258	1,389	149,871	困りごとの相談 23,101
小倉南	27	1,194	19,103	障害のある人の世帯	531	88,686	ゴミ出し 34,279 古紙回収 30,212
若松	14	485	9,253	3,436	407	25,062	買い物支援 10,484
八幡東	21	457	13,759	子育て中の世帯 2,181	1,591	117,771	外出時の同行 3,502
八幡西	33	1,880	30,927	その他の世帯 1,969	1,518	174,877	薬取り 2,353 庭の掃除・草木の剪定 3,261
戸畑	14	585	11,858		668	65,108	洗濯 3,156 布団干し・入れ 1,744 その他 21,480
全市	155	6,450	132,844		6,874	655,875	

(2) 地域共生社会実現のための活動

ア 小地域福祉活動計画を策定する活動

項目	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市
一次計画	西門司	藍島 泉台 今町 城野 富野	貫 吉田 若園 湯川 城野 沼 守恒 長尾 広徳	古前 鴨生田	高見 高槻 大蔵第三 河内 枝光北 尾倉第一 尾倉第二 尾倉第三 尾倉第四 前田第四	木屋瀬 浅川 中尾 光貞 黒崎 星ヶ丘	東戸畑 三六 中原	36
二次計画	錦町 松ヶ江北	足原	田原	二島 青葉台	枝光第一 枝光第二 中央第一		鞆ヶ谷 南沢見	11
三次計画	藤松	清水 中島	北方 東谷 曾根 企救丘 志井	浜町 修多羅	槻田第一 大蔵第一	八枝	浅生 牧山	15
計	4	8	15	6	15	7	7	62

イ サロンを新設する活動

(単位：校(地)区)

門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市計
大里東 小森江西 白野江	城野 南丘	葛原 長行 城野 守恒	深町 古前	高見 大蔵第三	木屋瀬 折尾東 楠橋 赤坂 星ヶ丘	北沢見 鞆ヶ谷 大谷第二 浅生 牧山 天籟寺 一枝	
3	2	4	2	2	5	7	25

サロン活動取組校(地)区社協数の推移

	H30	R1	R2	R3	R4
取組校(地)区社協数	121	120	122	118	122
サロン数	403	417	431	395	430

ウ ウェルクラブ活動

(単位：校(地)区)

門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市計
大里柳 田野浦 白野江 柄杓田 松ヶ江北	泉台 井堀 北小倉 清水 富野 中島	貫 葛原 朽網 合馬 山本 徳力 城野 沼 曾根東	小石赤崎	高見 高槻 大蔵第三 中央第一	折尾西 上津役 塔野 筒井 池田 永犬丸西 赤坂	天籟寺	
5	6	9	1	4	7	1	33

取り組み校(地)区社協数及び参加児童数の推移

	H30	R1	R2	R3	R4
取組校(地)区社協数	30	30	14	18	33
参加児童数	1233	1393	689	788	1,192

エ 小地域福祉活動計画を推進する活動

(単位：校(地)区)

門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市計
藤松 大里南 萩ヶ丘 大里東 小森江西 小森江東 錦町 丸山 庄司 門司 清見 田野浦 白野江 大積 伊川 松ヶ江北	到津	北方 曾根 企救丘	浜町 修多羅 二島 高須 青葉台	槻田第一 大蔵第一 枝光第一 枝光第二 中央第一 中央第二 前田北 前田第三	折尾西 穴生 陣山 熊西 上津役 本城 八枝		
16	1	3	5	8	7	0	40

### 3 出前講演活動の実施

項目	主な内容	回数 (回)	受講者数 (人)
1	住民の支えあい「ふれあいネットワーク活動」	56	1389
2	誰もが自分らしく生きられる地域づくり～生活困窮者の支援～	3	94
3	災害にも強い福祉のまちづくり	1	28
4	あなたにもできるボランティア	9	264
5	あんしんな暮らしのお手伝い	8	241
6	“ともに生きる” 障害のある人にもやさしいまちづくり	11	318
7	ご存知ですか？ “ひきこもり” のこと	0	0
8	その他	17	431
計		105	2,765

### 4 社協PR用オリジナルTシャツ・エプロン・ポロシャツの頒布 (単位：枚)

Tシャツ大人用	Tシャツ児童用	エプロン	ポロシャツ	計
155	65	22	37	279

### 5 学識経験者の指導・助言による小地域福祉活動計画の効果的な推進

実施日	内容
R4.4.1 ～ R5.3.31	<b>【学識経験者】</b> 福岡県立大学 教授 村山 浩一郎 氏 <b>【指導・助言内容】</b> 小地域福祉計画策定及び推進にかかる校(地)区社協支援体制の強化 ①協議及び会議での助言(全12回) ②地域福祉活動第六次計画の進捗状況に関する分析等 ③地域の特性や実情を踏まえた小地域福祉活動の分析等

### 6 デジタルツールの活用講座

実施日	人員・会場	内容
R5.1.27 ～ R5.3.9 (計13回)	128人 ※重複あり 富野市民センター他	LINE・ネットショッピング講座 <b>【主催】</b> 北九州市社会福祉協議会 大東コーポレートサービス(株) <b>【協力】</b> イオン九州(株) <b>【受講者】</b> 地域住民、福祉協力員、民生委員・児童委員等

## 7 地域交流型フードサポート事業

実施日	人員・会場	内 容
R5. 2. 25	300 人 高須市民センター	フードパントリーin たかす 【主催】 高須地区社会福祉協議会 北九州市社会福祉協議会／若松区事務所 北九州市 【協力】 NPO 法人 フードバンク北九州ライフアゲイン
R5. 3. 11	184 人 つきだテラス TOMONY	フードロス削減×ふくしのまちづくり～地域交流型フードサポート～ 【主催】 北九州市社会福祉協議会／八幡東区事務所 北九州市 【協力】 八幡東区各校(地)区社会福祉協議会 八幡東区民生委員児童委員協議会 NPO 法人 フードバンク北九州ライフアゲイン NPO 法人 抱樸
R5. 3. 25	500 人 希望のまち予定地	フードサポート みんなでおすそわけひろば 【主催】 北九州市社会福祉協議会／小倉北区事務所 北九州市 【協力】 小倉北区各校区社会福祉協議会 小倉北区民生委員児童委員協議会 NPO 法人 フードバンク北九州ライフアゲイン NPO 法人 抱樸



## 9 その他会議への参画

- ・北九州市市高齢者支援と介護の質の向上推進会議
- ・地域包括支援に関する会議
- ・北九州市ホームレス自立支援推進協議会
- ・北九州市障害者自立支援協議会総会
- ・北九州市障害者自立支援協議会地域ネットワーク部会
- ・北九州市障害者差別解消支援地域協議会
- ・北九州市居住支援協議会幹事会
- ・北九州市民生委員推薦会
- ・北九州市孤独・孤立対策等連絡協議会
- ・北九州市居場所づくり部会設置準備会
- ・福岡県福祉人材センター運営委員会
- ・北九州市保健所運営協議会
- ・北九州市自殺対策連絡会議
- ・北九州市地域リハビリテーション推進会議
- ・北九州市オレンジ会議
- ・各区包括ケア会議
- ・各区生活困窮者自立支援調整会議

### 【門司区】

- ・門司区保健・医療・福祉・地域連携推進協議会
- ・門司区医師会と包括との情報交換会

### 【小倉北区】

- ・小倉北区役所のちネット連絡調整会議
- ・小倉北区すこやかライフ推進協議会高齢者部会あい愛ネット小倉北世話人会
- ・まちづくりステップアップ事業選定検討会

### 【小倉南区】

- ・小倉南区・保健・福祉・地域連携システム推進協議会（ほっとステーション小倉南）

### 【若松区】

- ・若松区保健・医療・教育・地域連携協議会（総会）
- ・若松区犯罪被害者支援連絡協議会（コロナ禍のため中止）
- ・若松区包括ケア会議
- ・若松区交通安全推進協議会

### 【八幡東区】

- ・八幡東区いきいき 21 推進協議会
- ・八幡東犯罪被害者支援協議会
- ・八幡民生事業協会評議員会

### 【八幡西区】

- ・八幡民生事業協会評議員会
- ・八幡西区交通安全推進協議会
- ・八幡西区女性団体連絡会議
- ・八幡西区ささえあいネットワーク推進協議会

### 【戸畑区】

- ・戸畑区地域福祉推進協議会
- ・福岡県共同募金会北九州市戸畑区支会理事会
- ・戸畑区社会を明るくする運動推進委員会
- ・戸畑区市民憲章推進協議会
- ・とばた菖蒲まつり実行委員会

## ◇生活支援体制整備事業

平成 27 年度から、地域における包括的支援体制の構築に向け、地域の見守り・支え合いを強化するために、各区に地域支援コーディネーターを配置し、福祉協力員等の身近な地域での支え手の発掘や互助活動を支援してきました。

多様化する地域生活課題に対応するためには、地域の見守り・話し合い・助け合いを強化する必要があるため、地域の関係機関・団体、社会福祉施設等との連携を図り、地域の話し合いの場を活性化するとともに、地域の互助活動の強化を行いました。また、地域資源に関する情報を地域福祉活動者や区役所関係各課に情報提供を行うとともに、ホームページ等を活用して情報発信しました。

### 1 地域資源の発掘・組織化業務

#### (1) 地域生活課題の把握

校(地)区社協、民生委員児童委員協議会、まちづくり協議会等の地域の会合に参加し、地域の状況を情報収集し、地域プロフィールシート(地区カルテ)を作成・更新しました。

①地域の会議等への参加実績 2,534 回、51,330 人(全市)

②地域プロフィールシート作成状況 全 155 校(地)区整備

#### (2) 地域資源の把握

市、区ボランティア・市民活動センターや地域関係者等から情報収集し、地域資源(サービス)情報シートを作成しました。

①地域資源(サービス)情報シート作成状況(H27~R4 年度累計)

項目		門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	計
生活支援	買い物支援	23	6	13	25	7	19	9	102
	配食サービス	5	-	4	1	1	4	8	23
	調理	4	1	4	1	1	2	5	18
	掃除・洗濯	8	1	4	1	1	2	3	20
	外出介助	8	1	4	1	4	3	6	27
	貸室	2	2(1)	3	-	3	2	3	15(1)
	その他	105	2	20(2)	16	10	8	41	202(2)
	小計	155	13(1)	52(2)	45	27	40	75	407(3)
互助活動	ゴミ出し	-	-	1	-	-	1	1	3
	話し相手	-	-	-	-	-	-	-	0
	見守り・安否確認活動	-	-	-	-	-	-	-	0
	サロンなどの交流会	9	22	38(2)	26	14(1)	7	28	144(3)
	その他	3	-	1	1	3	10	5	23
	小計	12	22	40(2)	27	17(1)	18	34	170(3)
合計		167	35(1)	92(4)	72	44(1)	58	109	577(6)

※ ( ) 内は令和 4 年度実績

### (3) 地域資源を増やすための啓発活動

地域福祉活動者の確保やサロン活動等の参加者を増やすため、チラシや広報紙の作成等の広報活動の支援、各種会合等での啓発活動、出前講演等を実施しました。

### (4) 協議体の移行支援・運営支援

地域だけでは解決の難しい課題について、各種別社会福祉施設協議会との「地域における公益的な取り組みの推進に関する協定」等を活用し、社会福祉施設等地域の関係団体との連携を図りながら、地域の話し合いの場の充実や小地域福祉活動計画作成・推進に向けた支援を行いました。

① 協議体への運営支援 436回、延べ 9,058人

### (5) 地域生活課題等に関する相談件数及びその対応

校(地)区社協の連絡調整会議や地区民生委員児童委員協議会の会合への参加などを通じ、地域生活課題やサロン新設方法などの互助活動に関する相談を受けました。受けた相談は、行政や社会福祉施設等と連携して対応しました。

#### ① 相談件数

	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	計
個別支援に関する相談(件)	56	263	68	57	229	58	29	760
互助活動に関する相談(件)	22	539	316	420	672	184	17	2,170

#### ② 相談に対する連携状況(重複あり)

連携先	個別相談	互助活動
行政関係	70	294
地域住民(福祉協力員等)	77	356
関係機関・団体(社会福祉施設等)	693	1,935
その他	8	30
合計	848	2,615

## 2 地域における見守り活動の支援

活動の中で、見守りが必要な人や介護保険サービスが必要な人等に関する情報を得た場合は、地域ケア個別会議等の区役所関係課との会合や、いのちをつなぐネットワーク担当係長や地域包括支援センター、区役所関係課に情報提供を行いました。

## 3 区役所関係課との連携

配置場所の区役所保健福祉課(いのちをつなぐネットワーク担当係長、地域包括支援センター及び統括支援センター、地域保健係)をはじめとした関係各課及び市民センター館長等の関係者と連携、情報共有し、地域の互助活動等を支援するためのネットワークづくりを行いました。

#### 4 研修会等への参加

コーディネーターとしての資質向上を図るため、地域支援コーディネーター養成研修をはじめとした下記の研修に参加しました。

実施日	人員・会場	研修名
R4. 5. 19 R4. 6. 7 R4. 7. 13	延べ 46 人 ウェルとばた	地域支援コーディネーター養成研修
R4. 11. 25 ～26	3 人 オンライン	令和 4 年度地域福祉コーディネーターリーダー研修会 (主催：全社協)

#### 5 地域支援コーディネーター連絡会

地域支援コーディネーター業務の充実及び行政等関係機関・団体との連携を図るため、地域支援コーディネーター連絡会を開催しました。

実施日	R4. 4. 25	R4. 6. 7	R4. 8. 17	R4. 10. 12	R4. 12. 16	R5. 2. 3
人員	22	17	18	19	16	21
主要議題	○事業進捗状況及び推進方法等について ○行政からの連絡事項等 ○連絡事項・情報提供 ○報告、その他					

## ◇地域生活支援活動推進事業

公的な福祉サービスだけでは対応の難しい、制度の狭間にいる人の地域生活課題に対応していくため、生活支援活動の担い手を増やし、その活動が円滑に行われるよう、ニーズと活動との需給調整を行う地域生活支援相談員を、今年度は新たに4校(地)区に配置しました。

### 1 地域生活支援相談員の配置

今年度は新たに4校(地)区(⑫～⑮)に地域生活支援相談員を配置しました。

- ①若松区 高須地区 (平成30年12月から、高須市民センターに配置)
- ②門司区 庄司校区 (平成31年3月から、庄司公民館に配置)
- ③小倉南区 若園校区 (平成31年4月から、若園市民センターに配置)
- ④小倉南区 貫校区 (令和元年7月から、貫市民センターに配置)
- ⑤門司区 田野浦校区 (令和2年7月から、田野浦公民館に配置)
- ⑥小倉南区 守恒校区 (令和2年8月から、守恒市民センターに配置)
- ⑦小倉北区 西小倉校区 (令和2年11月から、西小倉市民センターに配置)
- ⑧八幡東区 高槻地区 (令和3年9月から、高槻市民センターに配置)
- ⑨小倉北区 富野校区 (令和3年9月から、富野市民センターに配置)
- ⑩戸畑区 牧山東地区 (令和3年10月から、牧山東市民センターに配置)
- ⑪八幡西区 八枝校区 (令和4年3月から、八枝市民センターに配置)
- ⑫八幡西区 陣原地区 (令和5年2月から、陣原公民館に配置)
- ⑬門司区 小森江西校区 (令和5年3月から、小森江西年長者いこいの家及び小森江西市民センターに配置)
- ⑭小倉南区 東朽網校区 (令和5年3月から、東朽網市民センターに配置)
- ⑮小倉南区 朽網校区 (令和5年3月から、朽網市民センターに配置)

### 2 事業内容

#### (1) 生活支援活動を担う地域住民等の把握、発掘、養成

地域で生活支援活動を行っている住民や活動希望のある住民の相談・把握を行うとともに、地域での行事や生活支援活動への参加を促しました。

##### ○住民アンケートによる活動希望者の把握

・地域生活支援（困り事・悩み事）アンケート（八枝）2,005世帯中772世帯が回答

#### (2) 生活支援を必要とする方の把握及び相談

市民センターや公民館などのコミュニティ施設を拠点として、困りごとを抱えた方からの相談に応じました。また、福祉協力員や民生委員・児童委員、老人クラブ等と連携して要支援者の把握を行いました。

##### ○新規相談者 286人

○内容別相談受付件数

内容	ゴミ出し	家の片づけ・掃除	同行 (買物・通院等)	代行 (買物等)	庭木剪定 草取り	家具等 の修理	見守り	携帯・ PC操作	その他	合計
件数 (延べ)	173	60	41	93	115	46	232	82	380	1,222

(3) 助け合い活動のための調整活動

助け合い活動の風土づくりのために、生活支援活動の事業周知や、活動実施に必要な訪問活動や会議への参画、その他関係団体との調整活動を行いました。

○助け合い活動のための調整活動

内容	要支援者 等への 訪問	地域活動 (サロン等) への訪問	会議への 参画	活動周知	関係団体 との 打合せ等	合計
件数 (延べ)	243	169	281	318	1,195	2,206

(4) 生活支援活動の需給調整 (マッチング)

把握した要支援者やその生活支援ニーズに対して、需給調整 (マッチング) を行いました。

○関係機関へのつなぎ

つなぎ先	相談のみ	校(地区) 社協	地域団体 (民生委員等)	市社協	行政機関 (地域包括等)	社会福祉 施設関係	その他	合計
件数 (延べ)	191	613	530	13	123	41	61	1,572

○生活支援活動とのマッチング

内容	ゴミ出し	家の片づけ・掃除	同行 (買物・通院等)	代行 (買物等)	庭木剪定 草取り	家具等の 修理	その他	合計
件数	524	52	39	114	438	37	430	1,634

## ◇民間社会福祉事業従事者共済事業

民間社会福祉事業従事者の福利増進を目的として、脱退一時金の支給等の共済事業と、給付事業やスポーツ観戦、宿泊事業等の福利厚生事業を実施しました。また、加入者を管理する事務処理システムの改修を行い、事務の効率化を図りました。

### 1 共済加入状況の推移

年度	H30	R1	R2	R3	R4
加入施設・団体	217	218	212	213	212
加入人員（人）	4,917	4,729	4,818	4,866	4,901

### 2 福利厚生事業実施状況

#### (1) 給付事業

結婚祝金、出産祝金、傷病見舞金、香華料、災害見舞金  
(計 316 件、2,962,000 円)

#### (2) 貸付事業

新規の貸付はありませんでした。

#### (3) スポーツ観戦事業

ソフトバンクホークス公式戦

48 組 (96 枚) (個人負担額 376,320 円、助成金額 161,280 円)

ギラヴァンツ北九州ホーム戦

8 組 (16 枚) (個人負担額 24,000 円、助成金額 1,600 円)

#### (4) 演劇鑑賞事業

北九州芸術劇場等 3 演目 10 枚 (個人負担額 30,450 円、助成金額 13,050 円)

#### (5) レジャー事業

海の家アクア 優待券の提供 15 枚

#### (6) 宿泊事業

九州内旅館 8 施設 48 組 (96 枚)

(個人負担額 739,200 円、助成金額 316,800 円)

#### (7) 家庭用常備薬斡旋事業

1 回目 (4 月) 申込施設数 42 施設、申込件数 155 件、申込金額 577,020 円

2 回目 (8 月) 申込施設数 39 施設、申込件数 182 件、申込金額 538,670 円

3 回目 (1 月) 申込施設数 55 施設、申込件数 182 件、申込金額 622,910 円

### 3 共済事業事務担当者会議・研修会

実施日	人員・会場	内容
R4. 9. 29	35 人 ウェルとばた オンライン 併用	【テーマ】『SDGs で学ぶ職場の心の健康づくり』 【講師】産業医科大学 産業生態科学研究所 精神保健学研究室 講師 真船 浩介 氏

## ◇各施設協議会等との連携

### 1 各種別社会福祉施設協議会等と連携した地域における公益的な取組や地域公益事業の推進

令和元年度に各種別社会福祉施設協議会（北九州高齢者福祉事業協会、北九州市障害者施設協議会、北九州市障害児施設連盟、北九州市保育所連盟、北九州市立母子生活支援施設、北九州市児童養護施設協議会）と締結した「地域における公益的な取り組みの推進に関する協定」に基づき、校(地)区社協と社会福祉施設の連携による小地域福祉活動の充実・強化に努めました。

#### (1) 校(地)区社協と社会福祉施設の連携状況（区別）

	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	計
校(地)区社協	3	6	9	3	3	11	2	37
高齢者施設	0	3	7	3	1	7	2	23
障害者施設	2	2	3	0	1	2	0	10
児童施設	0	3	2	1	0	2	1	9
施設数(計)	2	8	12	4	2	11	3	42

#### (2) 北九州市社会福祉法人地域協議会の運営

「地域公益事業」を実施するための「社会福祉充実計画」を策定した社会福祉法人はありませんでしたが、地域住民その他関係者から地域における福祉ニーズ意見聴取を行うとともに、地域福祉課題の共有とその解決に向けた協議を行いました。

実施日	人員・会場	内容
R5. 2. 6	6人 ウエルとばた	【議題】 1 「地域における公益的な取組」の推進について

### 2 社会福祉施設協議会連絡会の開催

種別を超えた社会福祉施設協議会間の連携体制づくりや、情報交換、共通理解を深める目的で、市内の各社会福祉施設協議会等の連絡会を開催しました。

#### (1) 代表者会議

実施日	人員・会場	内容
R4. 7. 14	6人 ウエルとばた オンライン 併用	【報告】 1 地域における公益的な取組について (1) 各種別協議会と校(地)区社協との連携状況 (2) 各種別協議会での連携状況 【議題】 1 大都市社会福祉施設協議会について 【その他】 福祉の仕事就職フェア in 北九州について



(2) 実務者会議

実施日	人員・会場	内容
R5.1.23	6人 ウェルとばた	<b>【報告】</b> 1 大都市社会福祉施設協議会について <b>【議題】</b> 1 地域における公益的な取組について (1) 各種別協議会と校(地)区社協との連携状況 (2) 各種別協議会での連携状況 2 地域生活課題の解決に向けたソーシャルワーク研修について

3 各種別社会福祉施設協議会会議への参画

- ・高齢者福祉事業協会施設長会 (1回)
- ・障害者施設協議会施設長会 (1回)
- ・北九州市児童養護施設協議会施設長会 (10回)

6,324千円 (4,970千円) I-3

## ◇民生委員互助共励事業

民生委員・児童委員が、民生委員活動の充実を図り、地域福祉活動の発展に資することを目的として、弔慰金、見舞金、退任慰労金等を支給する互助事業を実施しました。

また、共励事業として、地区民生委員児童委員協議会活動の活性化を図るため、「指定地区民児協事業」について、2地区を指定し事業を実施しました。

1 民生委員互助共励事業給付金支給状況 (全社協委託事業)

	公務 死亡	公務 傷病	一般 死亡	配偶者 死亡	一般 傷病	退任 慰労	災害	合計
支給 件数	0	5	6	6	25	341	1	384
金額 (千円)	0	210	180	85	248	1,681	100	2,504

2 指定地区民児協事業

- (1) 指定期間 令和3年度～令和4年度の2年間
- (2) 指定地区 門司区：小森江東地区民生委員児童委員協議会  
戸畑区：東戸畑地区民生委員児童委員協議会

## ◇生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金貸付制度は、低所得者・障害者又は高齢者世帯に対し、資金の貸付と民生委員を通じた必要な相談支援を行うことにより、その世帯の経済的自立及び生活意欲の助長促進、在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的としています。

資金の相談の中では、生活困窮者自立支援法に基づく各事業と連携し、効果的、効率的な支援を実施することにより、生活困窮者の自立促進を図りました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業や失業等による減収で、生活資金にお困りの世帯に対する特例貸付の相談や申請受付を令和4年9月末まで行いました。

### 1 生活福祉資金貸付状況

(上段：件数、下段：金額、単位：千円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合支援資金	生活支援費	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	3
		0	0	0	0	0	0	405	0	264	270	0	0	939
	住宅入居費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一時生活再建費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉資金	技能習得費	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		0	0	0	0	0	1,436	0	0	0	0	0	0	1,436
	福出用具購入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	障害者自動車購入経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	住居の移転・給排水設備	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		154	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	154
日常生活上一次的経費	0	1	2	2	4	0	1	1	1	2	1	3	18	
	0	71	188	181	359	0	55	84	100	133	87	166	1,424	
緊急小口資金	0	4	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	8	
	0	400	0	0	0	0	0	0	0	100	100	100	800	
教育支援資金	教育支援費	1	0	0	0	0	0	1	4	5	6	15	12	44
		228	0	0	0	0	0	540	1,542	2,190	1,188	3,893	2,661	12,242
	就学支度費	1	0	0	0	0	0	1	4	7	7	15	17	52
	92	0	0	0	0	0	439	1,640	2,925	2,533	4,972	4,818	17,419	
不動産担保型生活資金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		3	5	2	2	4	1	4	9	15	17	32	33	127
		474	471	188	181	359	1,436	1,439	3,266	5,579	4,224	9,052	7,745	34,414
臨時特例つなぎ資金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

- ・申請(承認)の件数、金額
- ・福祉資金の生業費・住宅増改築経費・療養費・葬祭費・災害援護資金・不動産担保型生活資金、臨時特例つなぎ資金は今年度申請なし

## 2 新型コロナウイルスの影響による特例貸付の申込状況

(上段：件数、下段：金額、単位：千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
緊急小口資金	169	167	173	143	208	249	1,109
	33,000	32,690	33,750	28,200	41,100	49,060	217,800
総合支援資金	147	165	159	110	175	301	1,057
	78,660	87,900	84,600	57,050	94,950	159,200	562,360
合計	316	332	332	253	383	550	2,166
	111,660	120,590	118,350	85,250	136,050	208,260	780,160

- ・申請の件数、金額
- ・申込件数については、各区事務所受付分も含む

60,671千円 (60,675千円) Ⅲ-4

## ◇生活困窮者自立相談支援事業

生活困窮者の自立支援を目的に、市内全7区の相談窓口「いのちをつなぐネットワークコーナー」で、制度の中核・必須である自立相談支援事業を実施しました。

地域の多様な専門機関や福祉活動等と連携して、対象者への相談支援に取り組むとともに、生活困窮者支援を行っている関係機関等とのネットワークづくりや生活困窮者の支援に関する社会資源の開発にも、地域福祉の視点で取り組みました。

また、生活福祉資金の貸付等の利用者への相談支援についても、生活福祉資金相談コーナーと連携しながら行いました。

### 1 自立相談支援事業の周知と関係機関とのネットワークに関わる業務

#### (1) 事業の周知及び広報

##### ①区社協広報紙への掲載

掲載物	掲載回数 (掲載号)	備考
門司区社協広報紙	3回 (5/15、9/15、1/15)	区内全戸配布等
小倉北区社協広報紙	0回	
小倉南区社協広報紙	4回 (4/15、7/15、10/15、1/15)	
若松区社協広報紙	0回	
八幡東区社協広報紙	0回	
八幡西区社協広報紙	1回 (4/15)	
戸畑区社協広報紙	2回 (9/15、3/15)	

#### (2) 関係機関とのネットワークづくりに関わる業務

支援調整会議その他の既存の合議体の活用の他に、他の関係機関が行う会議等にも参加し、生活困窮者支援を行っている関係機関等とネットワークづくりに取り組み、支援の際にスムーズに連携できるよう努めました。

## 【ネットワークづくりを行った主な関係機関・団体】

- ①市及び各区の行政関係機関 7 団体
- ②社協関係（市：1、区：7、校(地)区：155)
- ③民児協関係（地区民児協：133)
- ④その他の関係機関 20 団体

## 2 自立相談支援機関の運営に関わる業務

### (1) 相談支援業務

「生活困窮者自立相談支援事業実施要綱」に基づき相談支援業務を行いました。

### (2) 業務の進捗状況の報告及び打ち合わせ

主任相談員（行政:いのちをつなぐネットワーク担当係長）と、業務の進捗状況や業務内容等を報告し、連携を深めました。

### (3) 支援調整会議

支援調整会議設置運営要項に則して実施される支援調整会議に参画し、作成した支援計画の適切性等について協議し、関係機関と支援内容を共有しました。

区	参加回数	人員（延べ数）	協議件数
小倉北	2	20	26
小倉南	9	107	74

## 3 成果

### (1) 生活困窮者の自立と尊厳の確保

本人の自己選択、自己決定を基本に、経済的自立のみならず日常生活や社会生活の自立など本人の状態に応じた自立を支援するよう努めました。

また、他の制度で対応可能と思われるものについては、適切につなぎ、必要に応じてフォローしました。

### (2) 生活困窮者支援を通じた地域づくり

生活困窮者の早期把握や見守りのため、以下のような場を活用し、地域の関係機関・団体との連携に努めました。

- 市社協課長連絡調整会議（毎月）
- 市社協職員ミーティング（適宜）
- 校(地)区社会福祉協議会連絡調整会議（適宜）
- 地域支援コーディネーター養成研修（1回）
- 新任福祉協力員等研修（各区1回）
- 市・区・地区民生委員児童委員協議会定例会（適宜）
- 民生委員・児童委員研修会（適宜）

#### 4 相談受付支援状況

【相談受付総数と性別、年齢、相談経路（本人特定のみ、本人同意なしを含む）】

		門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	7区計
新規相談受付件数（総数）		258	726	460	107	176	749	111	2,587
	全市に占めるその区の%	10.0%	28.0%	17.8%	4.1%	6.8%	29.0%	4.3%	100%
	月平均件数	21.5	60.5	38.3	8.9	14.7	62.4	9.3	215.6
	相談員一人当たり月件数	10.8	15.1	12.8	8.9	14.7	15.6	9.3	13.5
プラン作成件数（総数）		82	227	56	59	72	148	35	679
	プラン策定率	31.8%	31.3%	12.2%	55.1%	40.9%	19.8%	31.5%	26.2%
就労支援対象者数 <small>（プラン期間中の一般就労を目標にしている）</small>		47	134	10	25	48	60	19	343
法に基づく事業等 利用件数	住居確保給付金	30	34	5	38	39	30	12	188
	一時生活支援事業	0	3	1	0	1	0	0	5
	家計相談支援事業	47	159	52	23	27	131	20	459
	就労準備支援事業	5	1	6	0	5	0	1	18
	就労訓練事業	0	0	0	0	0	0	0	0
	自立相談支援事業による就労支援	21	13	0	35	24	0	3	96
その他	生活福祉資金による貸付	7	34	1	0	6	6	0	54
	生活保護受給者等就労自立促進事業	13	88	9	0	23	28	0	161
就労者数（一般就労総数）		49	61	14	9	3	38	12	186
	うち就労支援対象プラン作成者分	28	22	3	7	3	29	3	95
増収者数（総数）		17	28	6	16	22	7	1	97
	うち就労支援対象プラン作成者分	9	12	1	4	12	1	1	40

#### 5 住居確保給付金の申請受付状況（新型コロナウイルスの影響による特例申請分含む）

	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	7区計
住居確保給付金決定件数（総数）	15	67	52	10	11	15	10	180

#### 6 共同事業体の運営

平成28年度より、グリーンコープ生活協同組合ふくおかと共同事業体として生活困窮者支援を行っています。業務上の課題解決や、円滑な業務運営を目的とし、会議や状況共有の場を設けています。

実施日	人員・会場	内容
R5.3.7	グリーンコープ4人 市社協4人 ウェルとばた	第1回運営委員会

## ◇潜在保育士の保育所再就職・復帰支援資金貸付事業

平成28年4月から、保育士の安定的な人材の確保を図るため、「保育士資格を持ち、かつ、現在保育士として勤務していない方」、「1年以上保育士として働いていない方」を対象に、保育士としての再就職を支援する資金貸付事業を開始しました。

福祉人材の確保に資する取り組みとして、貸付相談窓口を設け、事業を実施しました。

### 1 貸付の内容と実施状況

#### (1) 潜在保育士の再就職支援資金の貸付

潜在保育士が保育士として保育所等に勤務することとなった場合に、就職準備金の貸付を行うもの。

貸付件数	貸付額
14	5,487,856

#### (2) 未就学児をもつ潜在保育士の保育所復帰支援資金の貸付

未就学児をもつ潜在保育士が保育所等に勤務することとなった場合に、当該未就学児に係る保育所等の保育料の一部の貸付を行うもの。

貸付件数	貸付額
16	2,672,390

## ◇ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

平成 29 年 7 月から、ひとり親家庭の親の自立の促進を図ることを目的に、高等職業訓練促進資金貸付事業を開始しました。

高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学する方で、将来取得する資格が必要な業務に従事しようとする方に対して資金を貸し付け、その就学を容易にすることにより資格取得の促進を図っています。

また令和 3 年 10 月から、自立に向けて意欲的に取り組むひとり親家庭の親に対し、住宅支援資金を貸付け、就労又は稼働所得の高い就労、子どもの高等教育の確保などに繋げ、自立の促進を図っています。

### 1 貸付の内容と実施状況

#### (1) 入学準備金

高等職業訓練促進給付金の支給を受け、資格の取得のために養成機関へ入学することになった場合に、入学準備金の貸付を行うもの。

貸付件数	貸付額
20	10,000,000

#### (2) 就職準備金

高等職業訓練促進給付金の支給を受け、養成機関の課程を修了し、取得した資格が必要な業務に従事する場合、その就職に必要な準備金の貸付を行うもの。

貸付件数	貸付額
12	2,400,000

#### (3) 住宅支援資金

貸付対象者に対して、住宅の借りに必要となる資金の貸付けを行うもの。

貸付件数	貸付決定額
21	9,566,400

## ◇認知症サポーターキャラバン事業

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になってもらう認知症サポーター養成講座の開催や講座の講師役となるキャラバン・メイトの新規養成等を行い、認知症になってもみんなが安心して暮らせる支えあいのまちづくりを目指すとともに、地域・職域においてのサポーター活動の支援を行いました。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和3年度に引き続き、開催時は検温の実施、マスクの着用、最低1mのソーシャルディスタンスの確保、窓のある場合は窓の開放などを義務づけました。

認知症サポーター養成講座受講者2,962人、認知症サポーターステップアップ講座受講者176人、合計受講者3,138人、令和4年度末現在の認知症サポーターの累計が100,161人となり、令和5年2月に10万人を達成しました。

### 1 認知症サポーター養成講座実施状況

受講団体種別		開催回数	サポーター人数
住民団体	校(地)区社協	4	100
	社協関係	21	352
	その他	35	466
企業		16	392
学校		25	1,274
行政		15	378
計		116	2,962

### 2 認知症サポーターステップアップ講座実施状況

団体種別		開催回数	サポーター人数
住民団体	校(地)区社協	2	60
	社協関係	1	44
	その他	3	72
企業		0	0
学校		0	0
行政		0	0
計		6	176

### 3 認知症サポーター養成講座の広報

紹介資料・メディア等	
北九州市ホームページ	市政だより
社会福祉協議会のふくし出前講演	北九州市社協だより・各区社協だより
市社協ホームページ事業概要	コムシティ入居団体
市・区社協各部署	メール配信システム



#### 4 キャラバン・メイトフォローアップ研修の実施

実施日	人員・会場	内容
R4. 9. 17	52人 ウエルとばた	キャラバン・メイト全体研修 講義「認知症についての新しい知見」 (講師) 三原ダイケアクリニック りぼん・りぼん 院長 三原 伊保子 氏
R5. 2. 9	2人 個別対応	キャラバン・メイト新任者研修 ・北九州市の現状と認知症施策について ・講座の開催、基本構成について ・認知症サポーター養成講座の配布資料 ・キャラバン・メイト活動意向調査 ・認知症サポーター養成講座の見学案内
R5. 2. 25	31人 ウエルとばた	キャラバン・メイトスキルアップ研修 講義「認知症とともに生きる」 (講師) 医療法人 すずらん会 たろうクリニック 院長 内田 直樹 氏

#### 5 一般市民向け認知症サポーター養成講座の開催

開催日	会場	キャラバン・メイト	受講人数
R4. 5. 26	ウエルとばた	基礎編：北岡 大輝	41
		応用編：大塚 千保	42
R4. 7. 28	ウエルとばた	基礎編：松股 哲也	16
R4. 10. 15	小倉南生涯学習センター	基礎編：尾形 奈々美	15
		応用編：大塚 千保	16
R4. 12. 4	レインボープラザ	基礎編：長崎 修二	16
		応用編：石井 朱實	14

#### 6 メール配信サービス状況

登録者数 (人)	5,672	配信回数 (回)	4
----------	-------	----------	---

2,546千円 (2,546千円) I-3

## ◇高齢者見守りサポーター派遣事業

認知症等により見守りが必要な在宅高齢者を介護する家族などの負担を軽減するため、住民参加型在宅福祉サービスとして「見守りサポーター」を派遣しています。高齢者に寄り添い、見守りや話し相手などを行うことにより、高齢者と家族が安心して地域のなかで生活できるように支援しています。

見守りサポーターの活動上の課題を探るため、研修・連絡会を開催し、サポーターの不安解消と対応技量の向上に努めました。

令和4年度は昨年に引き続き、利用者、見守りサポーター両方に感染対策の徹底を義務

づけたうえで事業を継続しました。新規利用申請数、登録数共に昨年より徐々に増えつつあり、派遣延べ回数も増加しました。

### 1 派遣状況等

年度	新規利用申請	新規利用登録数	利用登録取消	派遣延べ回数
R2	12	11	10	200
R3	10	9	14	105
R4	20	14	14	136

### 2 関係機関等との連絡調整

相手先 / 内容	申請方法	利用内容 活動内容	スケジュール 体調確認	その他	合計
家族	6	18	115	18	157
サポーター	0	16	120	23	159
ケアマネジャー	6	11	3	20	40
地域包括等	9	1	0	10	20
その他（市民等）	3	0	0	8	11
計	24	46	238	79	387

### 3 過年度利用状況の推移

年度	利用登録者数	延べ利用者数	サポーター数	派遣延べ回数
H30	35	96	49	204
R1	33	61	43	150
R2	34	57	43	200
R3	29	54	40	105
R4	29	55	43	136

### 4 高齢者見守りサポーターへの研修

実施日	人員・会場	内容
R4. 7. 22	13人 ウエルとばた	講義「認知症高齢者への対応 ～認知症の人の思いに寄り添う～」 事例検討 (講師) 北九州市認知症介護指導者 介護支援専門員・介護福祉士 認知症ケア専門士 奥水 薫 氏
R5. 2. 9	25人 ウエルとばた	講義 1 「認知症の知識とサポーターの役割について」 グループワーク (講師) アンガーマネジメントファシリテーター 認知症介護指導者 大塚 千保氏 講義 2 「救急講習 緊急時の対応方法」 (講師) 戸畑消防署

## 5 高齢者見守りサポーター養成研修

実施日	人員・会場	内容
R4. 11. 24	6人 ウエルとばた	講義1「北九州市における認知症施策について」 (講師) 認知症支援・介護予防センター 認知症対策推進係長 山内 順子 氏 講義2「見守りサポーターの経験談」 (講師) 見守りサポーター 岸本 美佐子 氏

## 6 事業説明・紹介

内容	回数	人員
年長者研修大学校	0	0
校(地)区社協関連会議	0	0
居宅・医療・施設	0	0
住民	4	111
企業	0	0
市・区社協各部署	0	0
地域包括(統括)支援センター	0	0
学校(学生)	0	0
その他	0	0
合計	4	111

## 7 チラシ・報告書等の作成

名称	発行部数	発行日
高齢者見守りサポーター派遣事業(リーフレット)	6,000	R4. 10. 18

## 8 利用登録者意向確認調査

実施日	対象者	回答数(電話回答含む)	未回答数	回答率
R5. 1. 17	25	21	4	84%
(調査結果概要 複数回答可) 登録者(令和4年度新規登録者と現在利用中の方を除く)を対象にアンケートを実施した。 1. 未利用の理由として、①介護保険で対応5人②家族の介護で対応2人③状態が落ち着いている3人 ④施設入所6人 ⑤その他5人 2. 今後の利用については、①今のところ利用の予定なし10人(48%) ②取消希望11人(52%)				

## 9 サポーター意向確認調査

実施日	人員	更新	辞退
R5. 1. 6	46	43	3

## ◇高齢者地域交流支援通所事業

高齢者地域交流支援通所事業は、平成12年度から北九州市から受託し実施している事業です。市内に居住する在宅の65歳以上の高齢者のうち、要介護状態等となる恐れの高い状態にあると認められる方に対し、介護予防や自立支援のためのプログラムを市内50か所の市民センターで実施しました。

平均年齢81.9歳、約600人の高齢者、延べ38,729人の利用者が参加して体力年齢の維持向上に努めました。

各市民センターのプログラムの実施状況等は毎月のミーティングで担当指導員が把握し、適切な助言・指導を行うとともに、危機管理等の各市民センターの課題に対しては、ミーティングや年1回の現任研修等を通じて留意事項や適切な対応策を確認し、共通認識の醸成等を図りました。

また、支援員や指導員が普段から利用者の認知機能の低下予防やうつ予防の観点から利用者の状況把握に努め、きめ細かい見守りや助言を行うことで、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を推進しました。

令和4年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昼食会は引き続き中止しており、それに代わる取組として「ふれあいタイム」を新設しました。また、検温の実施、マスクの着用、最低1mのソーシャルディスタンスの確保などを徹底して事業を行いました。現時点でも一部のセンター(曾根・東朽網・湯川・槻田・大原・牧山東)では、曜日により半分の人数で実施するなど、影響は残っています。

### 1 年間利用状況

区	市民センター	実施日数	登録者数	利用者数	性別		平均利用者数
					男	女	
門司区 ⑦	小森江西	89	14	746	0	746	8.4
	清見	89	10	746	73	673	8.4
	白野江	89	14	882	0	882	9.9
	錦町	89	10	479	0	479	5.4
	萩ヶ丘	90	15	1,064	0	1,064	11.8
	松ヶ江北	88	12	789	33	756	9.0
	丸山	89	9	753	0	753	8.5
小倉北区 ⑨	足原	90	10	571	0	571	6.3
	足立	90	16	1,031	0	1,031	11.5
	今町	89	15	1,034	40	994	11.6
	清水	90	25	1,596	124	1,472	17.7
	寿山	90	11	830	0	830	9.2
	中島	90	16	1,073	0	1,073	11.9
	西小倉	90	8	583	83	500	6.5
	南小倉	89	14	785	0	785	8.8
小倉南区	井堀	90	10	697	0	697	7.7
	長行	90	13	772	0	772	8.6
	葛原	89	9	510	0	510	5.7
	曾根	89	14	754	0	754	8.5

区	市民センター	実施日数	登録者数	利用者数	性別		平均利用者数
					男	女	
小倉南区 ⑨	長尾	89	11	640	105	535	7.2
	貫	89	10	714	0	714	8.0
	東朽網	89	13	840	0	840	9.4
	守恒	89	12	754	84	670	8.5
	湯川	90	12	767	146	621	8.5
	若園	90	13	744	163	581	8.3
若松区 ⑤	赤崎	86	15	1,075	71	1,004	12.5
	高須	88	8	517	0	517	5.9
	深町	88	10	490	0	490	5.6
	二島	88	12	833	71	762	9.5
	若松中央	89	13	607	9	598	6.8
八幡東区 ⑤	枝光	89	10	681	0	681	7.7
	枝光南	89	8	550	23	527	6.2
	尾倉	88	7	548	0	548	6.2
	槻田	90	14	775	183	592	8.6
	前田	89	9	723	56	667	8.1
八幡西区 ⑪	青山	89	14	936	0	936	10.5
	赤坂	89	7	576	78	498	6.5
	浅川	88	13	809	0	809	9.2
	池田	88	10	753	0	753	8.6
	永犬丸	89	12	740	14	726	8.3
	大原	88	20	1,043	0	1,043	11.9
	楠橋	89	25	1,816	178	1,638	20.4
	木屋瀬	88	8	606	0	606	6.9
	塔野	88	14	955	186	769	10.9
	鳴水	89	9	499	0	499	5.6
	本城	88	9	576	3	573	6.5
戸畑区 ④	大谷	88	14	812	0	812	9.2
	浅生	90	11	783	0	783	8.7
	中原	81	10	482	77	405	6.0
	牧山東	85	8	390	0	390	4.6
計 (50 館)		4,436	606	38,729	1,800	36,929	8.7

## 2 過年度利用状況の推移

年度	実施館数	登録者数	延実施日数	延利用者数	平均利用者数
H30	50	655	4,570	49,657	10.9
R1	50	625	4,115	42,065	10.2
R2	50	584	3,315	24,427	7.37
R3	50	581	3,418	28,845	8.44
R4	50	606	4,436	38,729	8.73

## 3 研修会

実施日	人員・会場	内容
R4. 4. 1 ～R5. 3. 22 の間で延べ 14回	17人 (対象:新採職員) 市民センター	令和4年度支援員新任者研修 (1) 北九州市社会福祉協議会について (2) 市民センターについて (3) 高齢者地域交流支援通所事業について (講師) 北九州市社会福祉協議会 生活福祉課
R4. 7. 12 (午前・午後) R4. 7. 13 (午前・午後) 延べ4回	153人 ウエルとばた	令和4年度支援員現任研修 ・非常勤嘱託職員の10年永年勤続表彰 ・講義「リフレッシュ体操とセルフケア」 (講師) (公益社団法人 北九州高齢者福祉事業協会) 社会福祉法人 西日本至福会 介護老人保健施設 サンフラワーズ北九州 訓練主任(理学療法士) 工藤 雅彦 氏
R4. 12. 22 R5. 2. 1 延べ2回	49人 ウエルとばた	令和4年度支援員会議(研修形式) ・講義「よりよい「利用者」とのコミュニケーションのあり方」 (講師) 社会福祉士 猿渡 真吾 氏 ・「支援員プログラムやふれあいタイムで役立つ情報紹介します！」 (講師) 北九州市社会福祉協議会 生活福祉課 指導員
計(20回)	219人	

## 4 会議

会議名	実施回数	内容
生活福祉課定例会	12	概ね毎月1回、事務局、指導員による事業運営に関する連絡調整、事例検討、情報交換・共有等
ミーティング	600	指導員と支援員による業務調整の月例ミーティング(各市民センター月1回、2時間程度)
計	612	

## 5 全体行事

「年長者作品展」への出展

例年、高齢者地域交流支援通所事業のプログラムの中で利用者が製作した様々な作品を、各区（門司区、小倉北区、小倉南区、戸畑区を除く）事務所主催の「年長者作品展」に出展しています。

開催区	実施日	会場
若松	R4. 10. 17～R4. 10. 19	若松区役所 3 階 特別会議室
八幡東	R4. 9. 26～R4. 9. 30	八幡東区社会福祉センター3 階 研修室
八幡西	R4. 9. 20～R4. 9. 24	コムシティ 3 階 黒崎市民ギャラリー

## 6 指導員による業務支援

種別	回数	内容
指導員の話	50	指導員による自主テーマの出前講演プログラム 〔主なテーマ〕介護予防、認知症について、フレイル予防など
プログラム運営支援	93	臨時的事業や介護予防プログラム等の支援及び補助、定期的な巡回による相談対応、助言等
訪問指導	510	庶務・経理事務指導、事故処理、情報伝達等の事業運営に必要な事務連絡及び調整
代替業務	13	支援員の休務の際のバックアップ
計	666	

## 7 各種交流事業

種別	回数	内容
世代間交流	1	未就学児の子と保護者を対象とした「わんぱく広場」と一緒にハロウィンイベントを行った（赤崎）
地域・団体との交流	7	市民センターの避難訓練に参加（白野江・萩ヶ丘・貫・枝光南・前田・青山・浅生）

## 8 実習生の受入

実施日	人員・会場	内容
R4. 8. 1～8. 26 の間で計 4 日	水巻看護助産学校 6 人 中原市民センター 牧山東市民センター	・実習「高齢者地域交流支援通所事業」へ参加
R4. 9. 1 R4. 9. 13	大学生 5 人 ウェルとばた 赤崎市民センター	相談援助実習 ・講義「生活福祉課事業概要」について ・実習「高齢者地域交流支援通所事業」へ参加 (県内の 3 大学より受入)

## 9 支援員面接選考

実施日	会場	内容
R4. 8. 4 ～R5. 3. 9 の間で延べ4回	各市民センター	一般公募により応募のあった候補者に対し、選考委員会（市民センター館長、まちづくり協議会、市社協で構成）を設けて面接選考試験を実施

## 10 広報・啓発

内容	実施回数
市民センターだより掲載、各種交流事業等での事業紹介	1
市民センターだより掲載、各種交流事業等でのPRによる利用者募集	44
市民センターだより掲載、チラシ配布、ポスター掲示による支援員募集	10
計(一部重複)	55

6,198千円（13,135千円） I-4

# ◇介護サービス相談員派遣事業

介護サービス相談員派遣事業は介護サービスの質の向上を図ることを目的として、相談員を介護事業所に派遣し、入所者や家族から介護サービス等に関する相談を受け、相談者に代わり事業者 서비스에 向上、改善に結びつく提案などを行うものです。

令和4年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため相談員の受け入れができない事業所が多くありましたが、87事業所のうち35事業所に対し232回の訪問活動を行ないました。

介護サービス相談員連絡会は通常通り、年4回開催することができ、介護サービス相談員としての必要な知識の習得に努めました。

また、介護サービス相談員の高齢化や活動辞退などで、介護サービス相談員不足が懸念されるため、介護サービス相談員の養成研修を行いました。

運営推進会議については、介護サービス相談員の参加は16回でした。

## 1 訪問・相談等実施状況

施設種別	訪問		話を聞いた		相談件数						気づき 事業所に 伝えられた 件数
					事業所に 伝えた件数			相談者の希望に より伝えなかつ た件数			
	回数	時間	人数	件数	つ 利 用 者 に	つ 施 設 に	そ の 他	つ 利 用 者 に	つ 施 設 に	そ の 他	
介護老人福祉施設	56	68:40	459	947	0	2	0	0	0	0	1
介護老人保健施設	20	41:13	173	381	0	3	0	0	0	0	0
認知症対応型共同生活介護	96	108:30	764	1,599	0	3	0	0	0	0	3



介護療養型医療施設	16	24:30	88	447	0	0	0	0	0	0	1
小規模多機能型居宅介護	33	32:00	161	558	0	1	0	0	0	0	0
住宅型有料老人ホーム	11	8:40	47	213	0	2	0	0	0	0	0
計	232	283:33	1,692	4,145	0	11	0	0	0	0	5

## 2 過年度派遣事業の推移

年度	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	通所介護	通所リハビリテーション	認知症対応型共同生活介護	介護療養型医療施設	小規模多機能型居宅介護	住宅型有料老人ホーム	合計(カ所)	相談員数(人)
H30	38	9	0	0	46	3	15	—	111	80
R1	37	9	0	0	40	3	11	—	100	80
R2	35	9	0	0	39	2	10	—	95	74
R3	34	8	0	0	38	2	10	—	92	58
R4	32	8	0	0	32	2	8	5	87	59

## 3 派遣事業所数

施設種別	R4年度募集(R5派遣開始)	R4派遣事業所(R4.4)	R4終了事業所	合計(カ所)(R5.4)
介護老人福祉施設	4	32	7	29
介護老人保健施設	1	8	2	7
認知症対応型共同生活介護	2	32	2	32
介護療養型医療施設	0	2	0	2
小規模多機能型居宅介護	0	8	0	8
住宅型有料老人ホーム	0	5	0	5
計	7	87	11	83

## 4 派遣終了事業所

施設名称	派遣終了事業所数	派遣年数	派遣期間
介護老人福祉施設	1	6	H28.9～R5.3
	1	6	H29.1～R5.3
	1	6	H29.2～R5.3
	1	6	H29.4～R5.3
	1	4	H30.11～R5.3
	2	3	R2.4～R5.3
介護老人保健施設	1	4	H30.11～R5.3
	1	5	H30.1～R5.3
認知症対応型共同生活介護	1	6	H29.2～R5.3
	1	5	H29.9～R5.3
合計	11カ所		

## 5 介護サービス相談員構成

(単位:人)

内 訳	男性	女性	合計
高齢者地域交流支援通所事業 支援員	0	7	7
見守りサポーター	0	14	14
北九州市社会福祉協議会 退職職員	2	1	3
一般公募者 (平成 20 年度より)	2	15	17
権利擁護・市民後見センター支援員	1	6	7
介護支援ボランティア	0	2	2
その他	0	9	9
計	5	54	59

## 6 介護サービス相談員連絡会

実施	人員・会場	内容
R4. 5. 31	39 名 ウエルとばた	<b>【第 1 回】</b> 講義「介護保険制度の概要について」 (講師) 北九州市保健福祉局 介護保険課 事業者支援係長 奥畑 裕一 氏
R4. 8. 30	37 名 ウエルとばた	<b>【第 2 回】</b> 講義「コロナ禍に求められる認知症高齢者とのコミュニケーションあり方」 (講師) 介護福祉士・認知症介護指導者 アンガーマネジメントファシリテーター 大塚 千保 氏
R4. 10. 23	26 名 ウエルとばた	<b>【第 3 回】</b> 講義「地域のひとりひとりのウェルビーイングの実現を目指す。誰もがつながるプロジェクト」 (講師) 社会福祉法人もやい聖友会 理事長 権頭 喜美恵 氏
R5. 2. 22	44 名 ウエルとばた	<b>【第 4 回】</b> 講義「身体拘束廃止の取り組み及び高齢者虐待の防止について」 (講師) 北九州市 保健福祉局 介護保険課 事業者支援係長 奥畑 裕一 氏

## 7 令和4年度介護サービス相談員養成研修

実施日	人員・会場	内容
R4. 12. 12	10名 ウエルとばた	<b>【第1日目】</b> 1. 介護サービス相談員派遣事業について 講師：北九州市社会福祉協議会 生活福祉課 2. 施設サービス・居宅サービスの理解①② 講師：アンガーマネジメントファシリテーター 認知症介護指導者 大塚 千保 氏 3. 介護保険制度 講師：北九州市保健福祉局 介護保険課 事業者支援係長 奥畑 裕一 氏
R4. 12. 21	9名 ウエルとばた	<b>【第2日目】</b> 1. 権利擁護と成年後見制度の理解 講師：北九州市社会福祉協議会 権利擁護・市民後見センター 課長 小田 光江 氏 2. 高齢者の理解、認知症の正しい理解 講師：社会福祉法人孝徳会 サポートセンター門司 施設長 尾形 菜々美 氏 3. 介護サービス相談員活動の実際 講師：北九州市社会福祉協議会 生活福祉課 介護サービス相談員 福竹 百合枝 氏 佐藤 郁子 氏

## 8 運営推進会議の参加状況

年度	事業所数	運営推進会議 参加依頼件数	運営推進会議 出席件数	参加率
H30	127カ所	154	132	86%
H31 (4月～6月)	120カ所	25	20	80%
R1 (7月～3月)	120カ所	128	96	75%
R2	120カ所	0	0	0
R3	120カ所	0	0	0
R4	109カ所	16	16	100%

## ◇権利擁護・市民後見センター事業

### 1 地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）

地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）では、判断能力が不十分な高齢者や障害者の権利と財産を守るため、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行う「金銭管理・生活支援サービス」、大切なものをお預かりする「財産保管サービス」を実施しています。

コロナ禍のため、感染予防に留意しながら新規調査を行い、今年度の新規契約者数は43人（昨年比8人増）で、年度末の実契約者数は267人でした。

また、地域福祉権利擁護事業と成年後見制度についての理解を深め、その一体的な展開に向けて関係者がどう連携すべきかを学ぶために、各区域で権利擁護セミナーや出前講演を開催しており、今年度は若松区、戸畑区で権利擁護セミナーを開催いたしました。北九州市地域福祉活動計画第六次計画最終年度（令和7年度）までに、全区での実施を目指します。

#### (1) 事業運営の適正化

- ア 運用委員会の開催（6回）
- イ 会計監査の実施（1回 対象者272人）
- ウ 事業監査の実施（1回 対象者237人）
- エ 金銭管理・財産保管サービス管理状況報告書の発行（全利用者）
- オ 保管財産引取人現況調査の実施

#### (2) 関係機関・団体等とのネットワークづくり

- ア 権利擁護セミナーの開催（2回）
  - 若松区民生委員児童委員協議会全員研修 参加者95人
  - 戸畑区民生委員児童委員協議会全員研修 参加者77人
- イ 北九州成年後見センター理事会への参加（12回）
- ウ 北九州成年後見センター業務監理委員会への参加（6回）
- エ 福岡県弁護士会北九州部会高齢者・障害者事例検討会への参加（2回）

#### (3) 職員資質向上のための事業

- ア 専門員・支援員合同研修会の開催（2回）
  - 第2回目は、「北九州市社会貢献型市民後見人養成事業」フォローアップ研修を聴講し、専門員・支援員合同研修会に充てた。
- イ 専門性を高めるための研修会への参加（7回）

#### (4) 広報・啓発活動の促進

- ア 出前講演「あんしんな暮らしのお手伝い」（8回 参加者241人）
- イ らいとホームページの活用（更新1回）
- ウ 権利擁護セミナーの開催（2回）【再掲】
  - 若松区民生委員児童委員協議会全員研修 参加者95人
  - 戸畑区民生委員児童委員協議会全員研修 参加者77人

(5) サービス内容

ア 相談

(ア) 内容 (件数)

相談内容	相談者 本人	家族・親族	行政機関			障害者支援団体	介護事業所	民生委員	区社協	施設	医療機関	ホームレス支援団体	その他	合計
			保健福祉	包括支援	保護									
金 銭 管 理	3	3	9	4	36	11	36	0	0	3	10	0	0	115
財産保全・財産侵害	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	3
相 続 ・ 遺 言	1	7	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	11
福祉サービスへの苦情	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
日常生活の問題	81	24	0	0	8	9	8	0	0	1	4	0	0	135
福祉サービスの手続き	3	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	6
親 族 ・ 家 族 関 係	7	18	0	0	3	0	7	0	1	0	2	0	0	38
成年後見制度	5	22	0	0	5	5	10	0	1	1	5	0	1	55
その他(本事業の問い合わせ)	19	38	3	4	26	21	34	3	1	11	20	0	3	183
合 計	120	112	13	8	80	46	98	3	3	17	42	0	6	548

(イ) 対象者 (件数)

相談の対象者	相談者 本人	家族・親族	行政機関			障害者支援団体	介護事業所	民生委員	区社協	施設	医療機関	ホームレス支援団体	その他	合計
			保健福祉	包括支援	保護									
認知症高齢者	11	44	3	7	29	0	60	1	2	10	10	0	1	178
障 害 者	知的	2	2	4	0	11	8	6	0	0	2	2	0	37
	精神	82	6	3	0	18	22	8	0	0	1	16	0	158
そ の 他	3	3	1	1	6	1	1	0	0	1	2	0	2	21
合 計	98	55	11	8	65	32	75	3	3	15	31	0	6	402

イ 調査および調整 (件数)

	認知症 高齢者	障 害 者		その他	合 計
		知的	精神		
調 査	820	467	531	23	1,841
調 整	4,932	3,378	4,175	270	12,755

ウ 他機関紹介 (件数)

弁護士会	司 法 書士会	社会福 祉士会	消費生活 センター	行政 機関	介護支援 事業者	施 設	医療機関	その他	合 計
0	1	0	0	7	0	0	1	49	58

エ 契約締結状況

(ア) 件数

	認知症 高齢者	障 害 者		その他	合計
		知的	精神		
前年度までの契約締結件数(A) (契約締結者数)	138	75	63	8	284
財産保管	28	39	23	3	93
金銭管理・生活支援	137	69	61	8	275
今年度の契約締結件数(B) (契約締結者数)	21	9	12	1	43
財産保管	1	0	1	0	2
金銭管理・生活支援	21	9	12	1	43
今年度の契約解除件数(C) (契約解除者数)	40	10	9	1	60
財産保管	10	0	5	0	15
金銭管理・生活支援	39	11	8	1	59
今年度末の契約締結(A+B-C) (契約締結者数)	119	74	66	8	267
財産保管	19	39	19	3	80
金銭管理・生活支援	119	67	65	8	259

(イ) 契約内容別 (人数)

	金銭管理・財産保管	金銭管理のみ	財産保管のみ	合計
契約締結者数	72	187	8	267

(ウ) 契約者の居住区 (人数)

門 司	小倉北	小倉南	若 松	八幡東	八幡西	戸 畑	合 計
26	83	50	17	29	41	21	267

(エ) 解約理由 (件数)

	認知症 高齢者	障 害 者		その他	合 計
		知的	精神		
死 亡	22	4	2	0	28
市外へ転居	1	2	2	0	5
入院・入所	0	0	0	0	0
本人の意思	11	3	4	1	19
能力の喪失	0	0	0	0	0
管理の移管	6	1	1	0	8
合 計	40	10	9	1	60

オ サービスの実施状況（件数）

		認知症 高齢者	障 害 者		その他	合 計
			知的	精神		
財 産 保 管 サ ー ビ ス		2	13	10	0	25
金 銭 管 理 サ ー ビ ス		1,885	1,173	1,027	146	4,231
生 活 支 援 サ ー ビ ス	定 期 訪 問 に よ る 見 守 り	1,499	1,115	886	136	3,636
	福 祉 サ ー ビ ス の 利 用 状 況 の 確 認 ・ 情 報 提 供	1,457	81	840	121	3,299
	福 祉 サ ー ビ ス の 利 用 手 続 き に 関 す る こ と	7	8	12	0	27
	諸 手 続 き の 同 行 ・ 代 行	125	49	39	2	215
	権 利 侵 害 等 の 問 題 を 関 係 機 関 に つ な ぐ	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0
合 計		4,975	3,239	2,814	405	11,433

(6) 利用者の推移

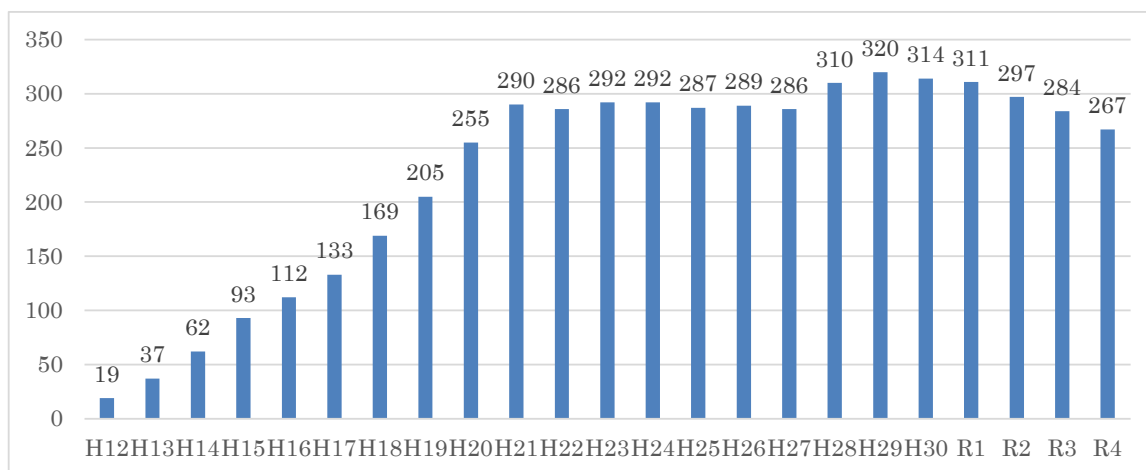
ア 年度別契約成立者数の推移（人数）

年度	認知症 高齢者	知 的 障 害 者	精 神 障 害 者	その他	計	前年度比
H30	23	11	7	1	42	▲28(60%減)
R1	32	10	8	1	51	9(22%増)
R2	16	5	13	1	35	▲16(31%減)
R3	21	2	12	0	35	0(0%)
R4	21	9	12	1	43	8(23%増)

イ 各年度末利用者実数の推移（人数）

年度	認知症 高齢者	知 的 障 害 者	精 神 障 害 者	その他	計	前年度比
H30	173	72	58	11	314	▲6( 2%減)
R1	162	79	58	12	311	▲3 ( 1%減)
R2	146	81	59	11	297	▲14 ( 5%減)
R3	138	75	63	8	284	▲13 ( 5%減)
R4	119	74	66	8	267	▲17 ( 6%減)

【H12～年度末利用者実数の推移】



## 2 法人後見事業

国の成年後見制度利用促進計画が策定され、各市区町村における権利擁護支援の地域連携ネットワークづくりが進められるなか、成年後見制度の需要は今後さらに増大することが見込まれています。そのため、弁護士などの専門職による後見人がその役割を担うだけでなく、専門職後見人以外の市民を含めた後見人を中心とした支援体制を構築する取り組みが全国で進められています。

国が市民後見人の活動を推進する背景には、社会貢献意欲の高い市民が後見人として活躍することで、地域における市民同士の互助・共助の意識が高まることへの期待があり、本市においても、倫理観の高い市民が後見人として個人で活動できるための仕組みづくりを、市や専門職、家庭裁判所と協議しています。

本会が平成 21 年度から取り組んでいる法人後見事業では、社会貢献型市民後見人養成研修の修了生である「支援員」が、後見担当専門員等と協議しながら、市民の視点で、対象者に寄り添った後見活動を行っており、今年度末現在の受任件数は 39 件（成年被後見人 22 人、被保佐人 13 人、被補助人 4 人）となっています。

### (1) 事業運営の適正化

- ア 運用委員会の開催（6 回）【再掲】
- イ 会計監査の実施（1 回 対象者 44 人）

### (2) 関係機関・団体等とのネットワークづくり

- ア 権利擁護セミナーの開催（2 回）【再掲】
  - 若松区民生委員児童委員協議会全員研修 参加者 95 人
  - 戸畑区民生委員児童委員協議会全員研修 参加者 77 人
- イ 北九州成年後見センター理事会への参加（12 回）【再掲】
- ウ 北九州成年後見センター業務監理委員会への参加（6 回）【再掲】
- エ 福岡県弁護士会北九州部会高齢者・障害者事例検討会への参加（2 回）【再掲】
- オ 地域連携ネットワーク構築のための会議への参加（3 回）【再掲】

### (3) 職員の資質向上のための事業

- ア 専門員・支援員合同研修会の開催（2 回）【再掲】
- イ 専門性を高めるための研修会への参加（6 回）

### (4) 広報・啓発活動の促進

- ア 出前講演「あんしんな暮らしのお手伝い」（8 回 参加者 241 人）【再掲】
- イ らいとホームページの活用（更新 1 回）【再掲】
- ウ 権利擁護セミナーの開催（2 回）【再掲】
  - 若松区民生委員児童委員協議会全員研修 参加者 95 人
  - 戸畑区民生委員児童委員協議会全員研修 参加者 77 人

### (5) 法人後見事業の受任状況

- ア 年度末受任状況（39 件：後見 22 件、保佐 13 件、補助 4 件）
- イ 新規受任状況（5 件：後見 4 件、保佐 0 件、補助 1 件）
  - （本人申立：1 件（施設 1）、親族申立：3 件（病院 3）、市長申立：1 件（病院 1））
- ウ 年間活動回数（1,491 回）

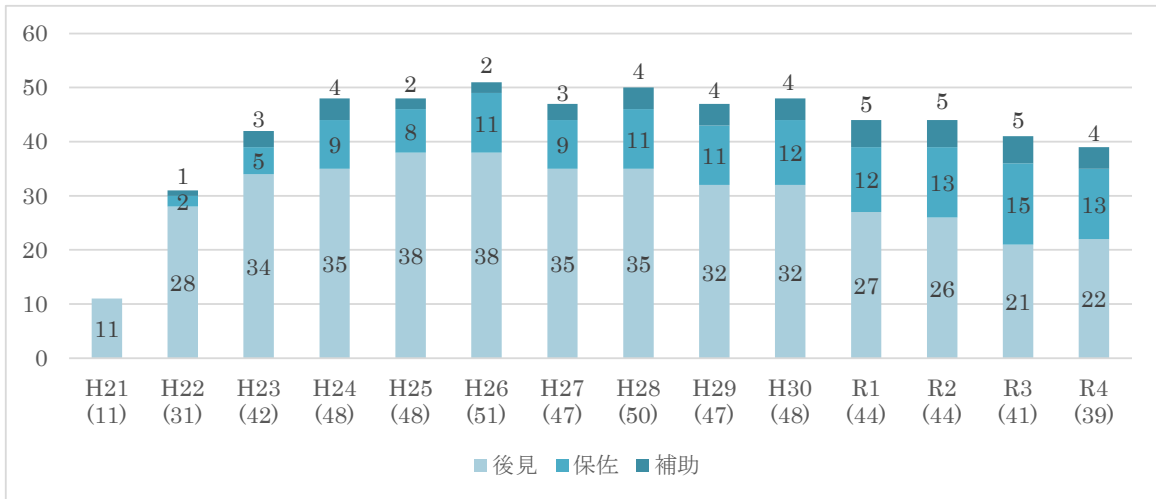


エ 年度別受任状況の推移

(単位：件)

年度	認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	計	前年度比
H30	32	12	4	48	1 (0%)
R1	27	12	5	44	▲4 (8%減)
R2	26	13	5	44	0 (0%)
R3	21	15	5	41	▲3 (7%減)
R4	16	17	6	39	▲2 (5%減)

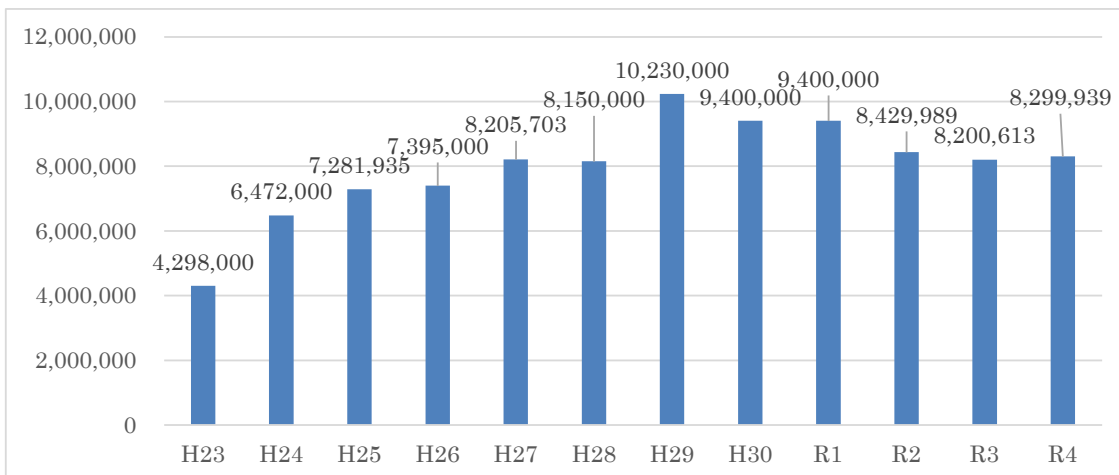
【H21～年度末受任状況の推移】



オ 後見報酬請求状況

年度	後見 (件)	保佐 (件)	補助 (件)	計 (件)	報酬金額 (円)
H30	37	9	4	50	9,400,000
R1	37	9	4	50	9,400,000
R2	26	12	5	43	8,429,989
R3	25	12	5	42	8,200,613
R4	22	13	4	39	8,299,939

【H23～後見報酬請求金額の推移】



### 3 市民後見人養成・支援事業（成年後見制度利用促進計画への参画）

成年後見制度の普及に伴い後見人不足が懸念される中、地域福祉の担い手として、本人に寄り添い支援する市民後見人の育成が全国的に進められ、その活躍が期待されています。

北九州市では、平成19年度から社会貢献型市民後見人養成研修を開催し、これまでに第10期生までの144名が全課程を修了しており、令和3年度から令和4年度にかけて第10期生（10名）を対象とした研修を実施しました。

同時に、市民後見人が安心して活動できるようサポートするしくみが不可欠であることから、本会が平成21年度から取り組んできた法人後見事業で培ってきたノウハウを活かしながら、市民後見人が活躍できるサポート体制を整備してきました。

そうした中、令和元年9月に県内初となる市民後見人（令和元年11月終了）が、令和2年6月には二人目の市民後見人が選任され、活動されています。

令和4年12月に、本会が法人で受任中の案件を引き継ぐリレー方式で北九州市三人目の市民後見人の選定をし、家庭裁判所に市民後見人へ交代する申立てを行いました。令和5年3月に決定の審判が下り、三人目の市民後見人の活動が開始しました。

市民後見人としての活動を希望する25名が「北九州市市民後見人候補者名簿」に登録されています。今後は、スムーズに市民後見人が選任されるためのしくみづくりが課題となっています。

#### （1）社会貢献型市民後見人養成事業

##### ア 第10期 北九州市社会貢献型市民後見人養成事業実務研修（全9日間）

実施日	人員・会場	内容
R4. 7. 23	社会貢献型市民後見人養成事業へ参加を希望するもので、選考試験に合格した者 8人 ウエルとばた	① 開講挨拶・オリエンテーション 北九州市社会福祉協議会 ② 施設実習での留意点 有限会社故郷 ふれあい家族 代表取締役 野村 美代子 氏 戸畑障害者地域活動センター センター長 原田 敦子 氏 ③ 成年後見実務の概要 リーガルサポート福岡支部 司法書士 田代 洋平 氏 ④ 後見等開始申立の実務 リーガルサポート福岡支部 司法書士 椛島 浩二 氏 ⑤ 後見人就任直後の職務 リーガルサポート福岡支部 司法書士 森上 恵美香 氏
R4. 8. 6	8人 ウエルとばた オンライン	① 対人援助の基礎（1） 福岡県社会福祉士会 社会福祉士 猿渡 真吾 氏 ② 同行実習での留意点（法人後見事業） 権利擁護・市民後見センター 課長 小田 光江

		<p>③ 事例検討（１）障害者に関して 北九州市障害者基幹相談支援センター 相談員 重藤 一也 氏 弁護士 河原 一雅 氏</p>
R4. 9. 5	<p>8人 家庭裁判所 小倉支部 ウエルとばた</p>	<p>① 家庭裁判所の実際 ② 家庭裁判所の見学 福岡家庭裁判所小倉支部 主任書記官 中山 誠一 氏 ③ 事例検討（２）高齢者に関して 小倉南区統括支援センター 社会福祉士 宮本 真由美 氏 社会福祉士 早川 彩香 氏 弁護士 河原 一雅 氏</p>
R4. 9. 17	<p>8人 ウエルとばた</p>	<p>① 後見人就任中の職務 リーガルサポート福岡支部 司法書士 前田 美穂 氏 ② 事例検討（３）（身上監護） リーガルサポート福岡支部 司法書士 平原 嘉章 氏 司法書士 右田 和暉 氏 司法書士 大城 明恵 氏</p>
R4. 10. 1	<p>8人 ウエルとばた</p>	<p>① 後見終了時の職務 リーガルサポート福岡支部 司法書士 恒松 史帆 氏 ② 事例検討（４）（金銭管理・財産保護） リーガルサポート福岡支部 司法書士 田上 伸之 氏 司法書士 奥原 良子 氏 司法書士 本多 寿之 氏</p>
R4. 10. 15	<p>8人 ウエルとばた</p>	<p>① 事例検討（５）精神障害者に関して ネスト相談支援室 室長 佐藤 みずほ 氏 弁護士 河原 一雅 氏 ② 対人援助の基礎（２） 福岡県社会福祉士会 社会福祉士 南條 八重 氏 ③ 市民後見人像 市民後見人の会・ながさき 理事長 岸部 誠 氏 ④ 閉講式 北九州市保健福祉局地域福祉部長寿社会対策課</p>
R4. 8～9	<p>8人 ウエルとばた</p>	<p>① 同行実習（法人後見事業）</p>

R4. 9～10	11人 施設	① 施設実習（高齢者施設・障害者施設） ・ 高齢者施設実習 有限会社故郷 ふれあい家族 代表取締役社長 野村 美代子 氏 他 ・ 障害者施設実習 戸畑障害者地域活動センター センター長 原田 敦子 氏 他
----------	-----------	--

ウ 北九州市社会貢献型市民後見人養成事業フォローアップ研修

実施日	人員・会場	内容
R5. 2. 5	北九州市市民 後見人養成研 修修了者 45人 ウェルとばた	① 講演 「発達障害の特性と本人の意思を尊重するための アプローチ」 講師：社会福祉法人 桑の実会 理事長 桑園 英俊 氏 ② 「北九州市社会貢献型市民後見人候補者名簿」 登録更新説明会

(2) 市民後見人支援事業

ア 市民後見人の管理

- (ア) 市民後見人名簿の作成・更新
- (イ) 市民後見人受任案件の選定（1件）
- (ウ) 市民後見人候補者の選定（1件）
- (エ) 市民後見人活動の手引きの作成
- (オ) 市民後見人の交代に係る家庭裁判所への辞任・選任申立手続き（1件）

イ 市民後見人の支援

- (ア) 後見監督人の受任（1件）
- (イ) 市民後見人の支援（1件）
  - 初回面談、活動の手引き等の配布、就任直後の支援
  - 家庭裁判所への報告書作成支援、賠償責任保険契約の締結
  - 相談対応（随時）、定期的な面談

## ◇終活相談事業

終活に関する広報・啓発に取り組むことで終活への市民の関心を高めました。

また、実際に終活に不安を抱える人への対応として、相談を受付できる体制を整えるとともに、必要な支援につないでいくための関係者間のネットワークづくりに努めました。

### 1 終活相談実施状況

(1) 相談者数 58人 (52組)

	R2	R3	R4
対応件数	7組 (7人)	32組 (33人)	52組 (58人)

(2) 相談者の年齢・性別

	50歳未満	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	計
男性	0	1	3	8	2	14
女性	2	3	12	15	12	44
計	2	4	15	23	14	58

(3) 相談者の居住区

区名	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	市外・不明	計
人数	1	15	10	6	6	12	7	1	58

(4) 対応

内容	相談終了	相談継続	再度終活相談を希望	弁護士紹介を希望	関係機関紹介	計
件数	43	7	0	3	5	58

(5) 相談内容 116件

内容	葬儀	納骨・墓	死後事務委任	遺言書作成	入退院時支援	不動産売却	家財処分	成年後見制度	財産管理	家族・親族関係	その他
件数	11	14	19	22	1	10	6	5	2	11	15

2 広報・啓発活動

(1) 終活応援講座

実施日	会場・人員	内容
R4. 10. 17	ウェルとばた 12階HI研修室 参加人数：26人	<p>①講義 「北九州市の空き家対策について」 北九州市 建築都市局 都市再生推進部 空き家活用推進課 係長 近藤 完 氏</p> <p>②講義 「空き家を解体すると税金はどうなる」 富山満税理士事務所 税理士 富山 満 氏</p> <p>③事業紹介 「北九州空き家管理活用協議会の取り組み」 一般社団法人 北九州空き家管理活用協議会 理事長 豊饒 誓司 氏</p>

(2) 終活出前講演

エンディングノートの書き方講座 (9回 222人)

45,726千円(48,333千円)

I-1 I-2 I-4 III-2 III-5

## ◇ボランティア振興事業

### 1 福祉教育事業

青少年ボランティアステーションとの協働のもと、児童・生徒が、社会福祉施設やイベント等で、実際に「活動を共にする」ことにより、福祉への理解と社会参加の意識を高めることを目的とし、ボランティア体験学習を実施しています。新型コロナウイルス感染症対策のため、社会福祉施設での体験学習は中止し、不特定多数の人が密集しないよう、親子手話体験教室を開催しました。

実施日	人員・会場	内容
R4. 8. 6	6家族 16人 ウエルとばた	親子手話体験教室

過去5年実績

年度	H30	R1	R2	R3	R4
参加人数	1,724	2,124	21	19	16
福祉施設体験	718	736	0	0	0
イベント参加等	1,006	1,388	21	19	16

### 2 ボランティアネットワーク事業

中間支援組織間の定期的な連絡会に参加し、ボランティア・市民活動の推進役として、情報を共有するとともに、それぞれの専門性や特色を理解し、役割分担と連携を図りながら活動の幅を広げています。

災害時の被災者支援に向けた取り組みでは、的確な被災者ニーズの把握や、ボランティアによる迅速な支援が求められるため、平成26年度の市域を対象とした設置・運営訓練を受け、平成27年度からはより被災地に近い、区域での開催としています。

#### (1) 市域に及ぶボランティア・市民活動団体ネットワークの構築

中間支援組織連絡会への参加

参加団体；北九州市障害福祉ボランティア協会、北九州市市民活動サポートセンター（市民文化スポーツ局市民活動推進課）、北九州市シルバー人材センター、北九州国際交流協会、八幡西生涯学習総合センター、北九州市社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター（以上6団体）

実施日	会場	内容
R4. 4. 20	八幡西生涯学習センター	・各団体自己紹介 ・情報交換
R4. 6. 15	ウエルとばた	・情報交換
R4. 8. 17	リモート会議	・情報交換
R4. 10. 19	リモート会議	・情報交換
R5. 3. 17	ウエルとばた	・今後のあり方について

(2) 災害時の被災者支援に向けた取り組み

ア 災害時相互協力協定にかかる連絡会議

実施日	人員・会場	機関・団体	内容
R5. 3. 22	10人 ウェルとばた (オンライン開催)	北九州市危機管理室・保健福祉局、連合福岡・北九州地域協議会、福岡県北九州地域労働者福祉協議会、北九州青年経営者会議	報告 ・各団体の取組状況(情報提供) ・次年度の災害ボランティア活動について ・意見交換

イ 災害ボランティアセンター設置・運営訓練

実施日	人員・会場	内容
R5. 1. 11	56人 ウェルとばた (リモート併用)	講義 ・災害に関する基礎知識と心得 ・with コロナ時代の災害VC運営について 講師：一般社団法人九州防災パートナーズ 代表理事 藤澤 健児 氏
R5. 1. 29	68人 旧大連航路上屋	講義 ・本会のボランティアセンター運営訓練 ・区サテライト運営訓練

過去5年実績(職員数除く)

年度	H30	R1	R2	R3	R4
回数	2	1	1	1	2
延べ参加者数	136	63	26	37	41

ウ 災害ボランティア登録状況

男性	女性	無回答	計
226	115	0	341

3 地域福祉活動支援事業

市民が安心してボランティア活動ができるよう「ボランティア活動保険」の加入手続きと加入促進の啓発を行いました。

(1) ボランティア活動保険加入取扱い事業

取扱件数			加入者数
団体加入		個人加入	
グループ数	人員	人員	
583	18,236	84	18,320

過去5年実績

年度	H30	R1	R2	R3	R4
加入者数	23,972	22,858	19,497	17,075	18,320
グループ数	733	669	616	537	583



#### 4 住民主体による生きがい・健康づくりの場推進事業

市民活動団体等が実施する生きがい・健康づくりの場の運営に対して、助成及び助言等の支援を行うことにより、高齢者等の心身の健康及び住民同士の支えあいを推進することを目的として、平成30年10月から「住民主体による生きがい・健康づくりの場推進事業」を開始しました。

令和2年度からは、校(地)区社協のサロンへも助成を実施しています。

##### (1) 助成にかかる審査

	申請数	助成対象	非対象
校(地)区社協のサロン	249	249	0
その他のサロン	120	120	0
計	369	369	0

過去3年実績

年度	R2	R3	R4
助成団体数	251	305	369

##### (2) 助成額

	助成団体数	当初助成額(円)	変更後助成額(円)
月4回以上の開催 (助成上限額 50,000円)	133	6,194,500	5,984,500
月2回以上4回未満の開催 (助成上限額 20,000円)	83	1,621,000	1,541,000
月1回以上2回未満の開催 (助成上限額 10,000円)	153	1,527,000	1,378,819
計	369	9,342,500	8,904,319

#### 5 ボランティア育成・啓発事業

市民に、ボランティア活動をはじめのきっかけを提供し、またより深い理解をしてもらうため、講演活動等に取り組みました。併せて、北九州市社協だよりを活用し「企業の社会貢献活動」の紹介を行いました。

また、ボランティアコーディネーター間の情報交換や共有、スキルアップ等のため、ボランティアコーディネーター連絡会議を実施しました。

##### (1) 講演活動

実施回(うち出前講演)	人員(うち出前講演)
18(8)	496(231)

(2) しごと・ボランティア合同説明会への参加

実施日	人員・会場	内容	ボランティア活動 登録・コーディネート件数
R5.2.14	16人 西日本総合展示場	概ね60歳以上の方を対象としたボランティア活動などの社会参加の相談受付	6件

(3) 市社協だよりでの「企業の社会貢献活動」の紹介

発行時期	紹介企業	発行部数
R4.5	NHK北九州放送局	40,000
R4.8	大東コーポレートサービス株式会社	〃
R4.11	株式会社光タクシー	〃
R5.1	アイルモータースクール門司	〃

(4) ボランティアコーディネーター連絡会

ボランティアコーディネーター業務の充実や各区の情報共有、スキルアップ等を図るため、ボランティアコーディネーター連絡会を実施しました。

実施日	人員	主要議題
R4.4.21	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡事項、協議事項</li> <li>・区ボランティア・市民活動センターの取り組みについて</li> <li>・報告、その他</li> </ul>
R4.5.19	11	
R4.7.21	10	
R4.9.15	13	
R4.11.17	12	
R5.1.19	9	
R5.3.16	11	

6 ボランティア活動支援

市民や施設等からのボランティア相談を来所または電話で受け付け、双方のニーズに見合うボランティアコーディネートを行っています。市社協ボランティア・市民活動センターでは、平日夜間と土曜日の開所も行い、平日日中の来所が難しい人へも対応しています。なお、以下の数値は、法人統合に伴い、市全体の数値に改めています。

(1) ボランティア活動に関する相談件数

項目	希望ボランティア		依頼ボランティア		会議室・機材貸出		保険		保険請求		送迎申込		送迎相談 コーディネート	
	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話
件数	84	133	41	316	791	447	2,188	423	62	285	316	8,860	5,158	13,173
	217		357		1,238		2,611		347		9,176		18,331	

項目	腕自慢 おまかせサービス		収集・ リサイクル		養成講座 体験学習・		業務 連絡協議会		ボランティア 介護支援		その他		合計	
	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話
件数	42	260	922	109	133	245	297	302	109	448	487	1,074	10,630	26,075
	302		1,031		378		599		557		1,561		36,705	

## (2) ボランティアコーディネーション

項目	外出 支援	行事 支援	文化・伝承 演劇等活動	施設 活動	腕自慢	送迎	託児	その他	合計
件数	24	20	8	22	46	4,241	3	22	4,386
人員	84	74	80	53	71	8,374	6	29	8,771

6,554千円 (7,592千円)

I-1 II-4 III-1

# ◇ボランティア育成・啓発事業

## 1 在宅高齢者サービス事業

外出・移動手段の不便や困難を解決するシルバーひまわりサービス事業や、簡単な大工仕事や家具の移動等、自力では対応が困難な困りごとを解決する腕自慢おまかせサービス事業などボランティアによる在宅高齢者サービスを実施しています。

### (1) シルバーひまわりサービス事業

公共交通機関を利用して外出することが困難な高齢者の、通院をはじめとする日常的な外出を支援し、在宅福祉の充実を図っています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染対策として、体温等の体調確認やマスクの着用、手指消毒などを徹底して行い運行しました。

#### ア ボランティア登録者数

区分	登録者	一回以上活動者	未活動者	活動率 (%)
労働組合員	125	43	82	34.4
行政職員	146	72	74	49.3
企業・市民	377	250	127	66.3
社協職員	115	67	48	58.3
勤労者	138	81	57	58.7
合計	901	513	388	56.9

過去5年実績

年度	H30	R1	R2	R3	R4
ボランティア登録者数	1,012	987	889	878	901

イ 登録・利用状況

区分	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	本部	合計
登録者数	124	73	177	107	60	151	55	-	747
うち新規	42	26	51	38	23	57	26	-	263
利用回数	663	473	1,068	639	269	663	385	81	4,241

※本部では土曜日の送迎を担当

ウ 目的別利用件数（1回の運行で複数の利用目的あり）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通院・お見舞い	209	217	231	236	243	234	271	238	245	228	248	274	2,874
福祉施設入所及び利用	3	2	1	2	2	2	1	1	0	0	1	0	15
買物・食事	93	108	111	99	109	108	134	123	123	105	135	150	1,398
理髪・入浴	12	5	6	8	13	8	9	7	7	6	10	10	101
観光・公共施設利用	42	43	49	33	61	45	48	65	59	54	55	64	618
合計	359	375	398	378	428	397	463	434	434	393	449	498	5,006

過去5年実績

年度	H30	R1	R2	R3	R4
利用件数	4,397	4,114	1,958	2,532	4,241

(2) 腕自慢おまかせサービス事業

家具の移動や電球交換など、生活上のちょっとした困りごとを解決することを目的に、平成7年度から本事業がスタートしました。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響も薄まり、利用希望が増加しました。

活動内容別実施件数

内容	件数	内容	件数
大工(棚製作等)	5	清掃	4
窓、戸等の修繕	14	電気系統修理	10
家具の移動等	8	水道系統修理	0
包丁、鋏とぎ	1	その他	8
除草、庭木剪定	12	合計	62

## 過去5年実績

年度	H30	R1	R2	R3	R4
実施件数	22	27	9	25	62

## 2 ボランティア啓発事業（ボランティアウィーク 2022）

令和4年度は、「ボランティアウィーク 2022」と称し、「学びと発信の場」を基本コンセプトに、福祉に関する講座や日頃のボランティア活動の発表等の啓発イベントを開催しました。また、実行委員として北九州市立大学、西南女学院大学の大学生にも参加していただき、ボランティア活動者と協働で講座を企画・運営することで、世代を超えたつながりづくりを行いました。

オープニングイベントでは「つながる笑顔 ひろがる笑顔」をテーマにボランティア活動を発信する場「心つながるボランティア活動発表会」を行い、好評を博しました。また、パネル展示及びスライド映像による活動紹介では22団体のボランティアグループ・関係団体が出展したほか、フードドライブでは567品の食品が集まり、各講座は延238名の方に参加いただきました。

### （1）実行委員会

実施日	人員・会場	内容
R4. 7. 8	17人 ウエルとばた	・令和4年度実行委員会の取り組みについて ・昨年度の振り返りと本年度の企画等について
R4. 8. 5	会場13人 リモート5人 ウエルとばた	・ボランティア活動紹介（パネル・映像）について ・オープニングイベントと開催講座及び役割等の決定について
R4. 9. 30	17人 ウエルとばた	・開催講座、イベント等の経過報告と役割分担について ・イベント等の各チラシとアンケートについて
R4. 12. 16	10人 ウエルとばた	・事業報告について ・アンケート結果について

### （2）催事内容

実施日	人員・会場	内容
R4. 10. 16 ～22	238人 ウエルとばた	1 オープニングイベント「ボランティア活動発表会」 2 「ボランティア週間」（10月16日～10月22日）のイベント ①ボランティア・市民活動を紹介「パネル展示・スライド映像」 ②おもちゃの修理「おもちゃ病院」 ③食品を集める運動「フードドライブ」 ④中間支援組織や団体による各種の講座（別表）

別表 講座詳細

日時	講座名	参加人数
R4. 10. 16	オープニングイベント「ボランティア活動発表会」	58
R4. 10. 17	折紙講座「薔薇のリースを作ろう」	11
R4. 10. 18	知る・発達障害って？どこでも、だれでも気軽にサポート	25
R4. 10. 19	いのちをみつめて～臨床宗教師としての活動を通して～	25
R4. 10. 20	自分達もやりたいことが一杯です！！	17
R4. 10. 21	これであなたもスマホマスター	20
R4. 10. 22	ニュースポーツ体験会	35
	大型布芝居	29
	子育てを楽しむためのお母さん・お父さんのほっとスペース”私”らしい子育てを考える	18
合計		238

## (3) 過年度の実施内容及び推移

年度	内容	場所	参加人数
H30	・活動発表コーナー、バザー、ミニステージ福祉体験コーナー、ボランティア週間	戸畑	4,243
R1	・活動発表コーナー、バザー、ミニステージ福祉体験コーナー、ボランティア週間、被災地の復興を支援するイベント	戸畑	2,509
R2	・ボランティアフォーラム、ボランティア週間、各種講座	戸畑	408
R3	・ボランティアフォーラム、ボランティア週間、各種講座	戸畑	309
R4	・ボランティア活動発表会、ボランティア週間、各種講座	戸畑	238

※R2年度からは、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため開催方法を変更して実施。

7,171千円（11,982千円）Ⅲ-4

## ◇介護支援ボランティア事業

高齢者の社会参加や地域貢献を積極的に奨励・支援し、これにより自身の健康増進や生きがいがづくりにつなげ、地域と施設等との交流を通して施設等利用者の生活をより豊かにすることを目的として平成25年度から実施しています。

65歳以上の北九州市民（介護保険第1号被保険者）が介護保険施設等においてボランティア活動を行った場合に、その活動実績をポイント化し、貯まったポイントは換金または北九州市SDGs未来基金に寄付することができます。本事業の活動場所は施設内が中心となるため、令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けましたが、活動者の生きがいがづくりに留まらず、新たなボランティアの掘り起こし等も行いました。

(1) 受入施設登録状況 (令和5年3月31日現在)

ア 登録施設 395 施設

イ 施設の種類の種類 (併設を含む)

施設の種類の種類	施設数	施設の種類の種類	施設数
介護老人福祉施設	47	通所リハビリテーション	22
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	19	認知症対応型通所介護	21
介護老人保健施設	25	短期入所生活介護	42
介護医療院、介護療養型医療施設	3	看護小規模多機能型居宅介護	1
特定施設入居者生活介護	36	地域密着型通所介護	34
認知症対応型共同生活介護	85	北九州市予防給付型通所サービス	18
小規模多機能型居宅介護	37	北九州市生活支援型通所サービス	10
通所介護	166	居宅介護支援事業者	2
		合計	568

(2) ボランティア登録状況 (令和5年3月31日現在) (人)

	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85 歳～	合計
男	20	71	113	117	68	389
女	73	391	515	385	214	1,578
合計	93	462	628	502	282	1,967

(3) 換金・寄付申請状況 (対象者：令和4年12月1日現在の登録ボランティア)

	換金	寄付 (SDGs 未来基金)	換金・寄付 (SDGs 未来基金)	合計
人数	76	31	8	115
金額	254,800	59,200	換金 19,900 寄付 12,700	346,600

※ボランティア活動実施者数 (1回以上の活動者数) 142 人 (令和4年1月～12月)  
ボランティア活動延回数 3,692 回 (令和4年1月～12月)

(4) 内容別ボランティア活動状況 (令和4年4月～令和5年3月)

活動の種類	延べ回数
①レクリエーション (趣味活動) 等の補助	1,692
②芸能等の披露	102
③話し相手	258
④行事の手伝い	11
⑤食事介助の補助 (お茶出し・配膳・下膳等)	557
⑥掃除・衣類整理の補助	297
⑦散歩・館内移動・送迎の補助	95
⑧その他施設職員と共に行う補助的な活動	929
合計	3,941

## ◇社会福祉ボランティア大学校運営事業

社会福祉ボランティア大学校では、本会の基本理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現に向け、地域共生社会の実現と孤独・孤立防止をメインテーマに、様々な課題を抱えた子どもや高齢者、身近に悩みを打ち明けられる人がいない方等を支援するため、福祉の視点から人材の養成・育成を目指した研修を実施し、新たな活動の担い手を養成しました。

今年度は新型コロナウイルス感染症対策を取りつつ、ウィズコロナに向かう社会の流れに合わせ、段階的に対面型研修を再開していき、延べ1,853人が研修を受講しました。

継続して重点的に取り組んだ「ふくしのまちづくり講座」では、地域の人材発掘や地域の課題発見、解決を目指し、各校(地)区社協、市・区社協協働で講座を企画し、地域住民による小地域福祉活動の充実をはかりました。あわせて、講座をきっかけとして、新たな活動の担い手を養成しました。

新規の取り組みとしては、本会の新規事業である「終活相談事業」と連携し、「まちづくりセミナー」等で終活をテーマに取り上げて実施しました。事業の広報を始め、市民の終活へのニーズキャッチや相談窓口利用、エンディングノート活用等で、社会問題となっている新たな困りごとへの支援力・自助の力の向上と事業の円滑な実施を図りました。

受講後の成果として、「子育て支援ボランティア養成講座」では5名の受講者が子ども食堂などでボランティア活動を始めることとなりました。「聴覚に障害のある人へのボランティア入門講座」では障害者アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法施行を社会背景に、手話を通じたコミュニケーションと障害のある方への支援について学ぶ講座を実施し、5名の受講者を活動窓口へつなぐことができました。

ICTの活用については、3つの研修で実施しました。「地域福祉活動指導者研修『トップセミナー』」では対面型と動画配信を併用実施し、「企業の社会貢献活動セミナー」と「社会福祉法人の社会貢献活動セミナー」では職場から参加しやすいオンライン研修とするなど、それぞれの研修内容や受講者に合わせた形式で研修を行いました。

### 1 研修体系の区別研修実施状況一覧

#### (1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
まちづくりセミナー	市民	1	3	3	85	12
新たな社会問題に対応する講座	市民	2	1	2	45	8・11
ふくしのまちづくり講座	校(地)区住民	11	2~3	22	653	5~3
市民講演会	市民	1	1	1	45	11
計		15	—	28	828	—

※ふくしのまちづくり講座については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため1校(地)区1回分を次年度に延期



(2) 小地域福祉活動者（地縁型ボランティア）の育成

研修名		受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
現任者	現任福祉協力員研修	福祉協力員等	7	1	7	266	10～12
	地域福祉活動専門研修	校(地)区社協の実務者	1	1	1	114	12
役員	地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」	校(地)区社協役員	1	1	1	211	3
	校(地)区社会福祉協議会新任役員研修	校(地)区社協新任役員	1	1	1	104	6
	まちづくりゼミナール	校(地)区社協・まちづくり協議会役員、民生委員等	1	3	3	43	9～11
計			11	—	13	738	—

※「トップセミナー」は、対面型、動画配信の併用実施。

(3) テーマ型ボランティア・市民活動者の育成

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
福祉有償運送運転協力者研修	福祉有償運送実施団体の運転協力者を希望する者	3	2	6	87 うちセダ ン型20人	6・10・2
障害への理解を深め、はじめようボランティア入門講座	市民	1	1	1	27	9
プチ（小さな）ボランティア養成講座	市民	2	1	2	40	11・3
災害ボランティア養成講座	市民	2	1	2	63	7・9
送迎ボランティア・フォローアップ研修	送迎ボランティア	1	1	1	16	7
ボランティアリーダー研修	リーダー 次期リーダー	1	1	1	16	10
計		10	—	13	249	—

(4) 企業・社会福祉法人におけるボランティア・市民活動者の育成

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
企業の社会貢献活動セミナー（オンライン開催）	企業の社会貢献活動担当者等	1	1	1	11	1
社会福祉法人の社会貢献活動セミナー（オンライン開催）	社会福祉法人の社会貢献活動担当者等	1	1	1	16	2
計		2	—	2	27	—

(5) ボランティア・市民活動支援者の育成

研修名		受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
実務者	ボランティア コーディネート研修	施設・団体等で ボランティアコ ーディネーショ ンに関わる職員	1	1	1	11	7

2 調査・研究・広報

(1) 広報紙、パンフレット、事業報告の作成

資料名	発行部数	発行日
「ひと&ひと」 『北九州市社協だより』掲載)	160,000	令和4年5月1日・8月1日 11月1日・令和5年1月15日
パンフレット 「やさしさの広がるまちづくり」	4,200	令和4年4月1日
令和3年度事業報告書	HP掲載	令和4年6月28日

3 過年度の参加者推移

<延べ研修参加人数>

年度	開催回数	延開催日数	延参加人数
H30	46	76	2,998
R1	45	72	2,933
R2	53	74	2,174
R3	42	63	1,781
R4	39	57	1,853

(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

年度	開催回数	延開催日数	延参加人数
H30	12	36	1,216
R1	13	34	1,152
R2	17	33	978
R3	17	33	916
R4	15	28	828

(2) 小地域福祉活動者（地縁型ボランティア）の人材育成

年度	開催回数	延開催日数	延参加人数
H30	19	21	1,354
R1	19	21	1,363
R2	22	24	826
R3	11	13	598
R4	11	13	738

(3) テーマ型ボランティア・市民活動者の人材育成

年度	開催回数	延開催日数	延参加人数
H30	11	15	346
R1	10	14	365
R2	10	13	283
R3	10	13	217
R4	10	13	249

(4) 企業・社会福祉法人におけるボランティア・市民活動者の育成

年度	開催回数	延開催日数	延参加人数
H30	2	2	45
R1	1	1	20
R2	2	2	49
R3	2	2	33
R4	2	2	27

(5) ボランティア・市民活動支援者の育成

年度	開催回数	延開催日数	延参加人数
H30	2	2	37
R1	2	2	33
R2	2	2	38
R3	2	2	17
R4	1	1	11

## ◇年長者研修大学校等運営事業

### 1 周望学舎事業

周望学舎は、高齢者の生きがいつくり対策と生涯学習の拠点として、元気な高齢者を対象に昭和54年8月に設置された施設です。1年間を通じて教養系・健康系・実技系の研修コース全15コースを実施し、高齢者の「生きがいつくり・健康づくり・仲間づくり」を図りながら、地域活動・地域貢献をめざす活動者の育成や、高齢者の地域活動への参加支援、ボランティア団体の活動支援を行っています。

令和4年度は新型コロナウイルス感染症による影響が残る中、応募者467人に対し、414人が研修コースを修了しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施しながら三重大行事、大学生との交流を含め、健康・教養・趣味・地域福祉に関わる幅広い研修や事業を実施しました。

#### (1) 応募状況の推移

年間コース		年度	H30	R1	R2	R3	R4
新人	男		31	30	11	39	23
	女		61	55	30	71	35
経験者	男		216	203	107	138	157
	女		294	298	145	233	252
合計			602	586	293	481	467
定員			546	546	546	546	546
応募倍率			1.10	1.07	0.54	0.88	0.86

#### (2) 研修生等(利用者)の推移

##### ア 全体的な傾向

年間コース利用者については、新型コロナウイルス感染症の影響は残るものの回復傾向にあり、延べ15,820人となりました。

年間コース		年度	H30	R1	R2	R3	R4
年間コース	コース数		15	15	15	15	15
	研修生数(延べ)		18,228	18,780	5,152	10,807	15,820
研究クラブ	グループ数		4	4	4	4	4
	利用者数(延べ)		2,473	2,000	595	977	1,228
同好会	グループ数		6	6	5	5	6
	利用者数(延べ)		1,654	1,699	613	1,076	1,606
利用者数(延べ)			30,831	29,855	8,541	16,206	24,100

### イ 修了生組織の活動状況

周望学舎修了生の組織として、開校の翌年に結成されたボランティア団体「周望学舎シルバーク」と平成4年4月に組織された「周望学舎同窓会」があります。

シルバーク及び同窓会は、会員の高齢化が進んでいるものの、高齢者の技術等を活かして地域活動や異世代との交流など多彩な活動を続けています。

年度	H30	R1	R2	R3	R4
会員数					
シルバーク	317	342	242	230	232
同窓会	717	708	642	644	485

### (3) 令和4年度研修実施状況

	コース名	在籍者数	利用者数(延べ)			研修回数			
			男	女	合計	日帰	宿泊	合計	
年間コース	一般	地域ふれあい	9	74	284	358	40	0	40
		心と身体の健康	39	738	768	1,506	45	0	45
		健康づくりサポーター	29	373	672	1,045	41	0	41
		脳の活性化とウェルネス	31	521	710	1,231	42	0	42
		やさしいヨガと脳トレ	27	211	915	1,126	42	0	42
		ふるさとの文化	27	502	603	1,105	43	0	43
		生活情報	38	385	1,093	1,478	43	0	43
		歴史に学ぶ	29	517	520	1,037	41	0	41
		暮らしと環境	26	383	657	1,040	43	0	43
		健康管理	32	484	798	1,282	41	0	41
	体力増進	36	724	687	1,411	43	0	43	
	実技	花と野菜づくり	24	353	475	828	40	0	40
		写真入門	19	287	365	652	37	0	37
		歌って健康	30	532	562	1,094	42	0	42
書道入門		18	295	332	627	39	0	39	
	小計	414	6,379	9,441	15,820	622	0	622	
	委員会・諸会議		328	308	636	24	0	24	
短期講座	パソコン	はじめてのワード	14	47	29	76	6	0	6
		スマホ&タブレットでZoom!	12	20	13	33	3	0	3
		ワードで作品づくり	11	42	18	60	6	0	6
		パソコンでZoom!	24	16	18	34	4	0	4
		エクセル活用	15	28	57	85	6	0	6
		小計	76	153	135	288	25	0	25
	その他	年長者と孫のつどい	25	11	14	25	1	0	1
		一日体験講座①	10	5	5	10	1	0	1
		筆文字アート①	6	2	10	12	2	0	2
		筆文字アート②	10	4	15	19	2	0	2
		3B体操	1	5	0	5	5	0	5
		一日体験講座②	31	14	17	31	1	0	1
		小計	83	41	61	102	12	0	12
	シニアカレッジ	西南女学院	28	81	92	173	7	0	7
東筑紫		20	24	128	152	8	0	8	
	小計	48	105	220	325	15	0	15	

グループ名		在籍者数	利用者数 (延べ)			活動回数			
			男	女	合計	日帰	宿泊	合計	
研究クラブ	写真研究	22	147	244	391	32	0	32	
	書道研究	17	73	180	253	21	0	21	
	花と野菜づくり研究	12	129	129	258	28	0	28	
	歌って健幸研究	16	22	304	326	24	0	24	
	小計	67	371	857	1,228	105	0	105	
同好会	卓球	15	164	165	329	24	0	24	
	詩吟	10	29	21	50	11	0	11	
	風船バレー	18	187	179	366	24	0	24	
	社交ダンス	10	37	55	92	13	0	13	
	バドミントン	16	215	154	369	27	0	27	
	ユニカール	12	200	200	400	28	0	28	
	小計	81	832	774	1,606	127	0	127	
ボランティア	シルバーバンク		548	920	1,468	292	0	292	
	登録V○	園芸	24	354	399	753	49	0	49
		健康	41	217	171	388	47	0	47
		パソコン	11	94	8	102	29	0	29
		花の会	26	215	151	366	23	0	23
		グリーンボランティア	10	59	62	121	22	0	22
		小計(登録V○分)	112	939	791	1,730	170	0	170
同窓会(夢工房含む)			430	256	686	163	0	163	
穴生学舎			4	0	4	1	0	1	
その他の利用	視察・見学		2	3	5	3	0	3	
	研修		14	26	40	4	0	4	
	実習		2	47	49	6	0	6	
	ボランティア		30	5	35	30	0	30	
	その他		56	22	78	10	0	10	
小計			104	103	207	53	0	53	
総合計			10,234	13,866	24,100	1,609	0	1,609	

#### (4) 周望学舎年間行事等

##### ア スポーツ大会

実施日	人員・会場	内容
R4. 6.22	422人 総合体育館	入場行進・競技「所長とジャンケン」、「ラケットトリレー」、「炭坑節」等

##### イ 大学祭

実施日	人員・会場	内容
R4. 10.8 ~10.9	研修生延べ 862人 一般来場者 50人 周望学舎	学習成果を生かした展示、実技コース作品展示、演芸大会、ニュースポーツ大会、出店等

ウ 修学旅行

実施日	人員	内容
R4. 11. 7 ～11. 16	研修生延べ 239人 熊本・大分	3便に分かれ1泊2日で実施 秋月城下町、日田森のビール園、豆田町散策、 杖立温泉、北里柴三郎記念館、宇佐神宮、双葉 の里

エ 修了記念作品展（実技コース・研究クラブ）

実施日	人員・会場	内容
R5. 2. 1 ～ R5. 2. 7	327人 北九州芸術劇場 市民ギャラリー	書道、写真、歌って健幸 学習成果発表 合計 86 点展示（歌って健幸はビデオ上映）

オ 周望学舎・穴生学舎合同作品展

実施日	会場	内容
R5. 2. 13～ R5. 2. 20	ウェルとばた 交流プラザ	周望学舎 9 コース・穴生学舎 1 1 コースの学 習成果パネル展示

カ 年長者と孫のつどい

実施日	人員・会場	内容
R4. 7. 29	25人 周望学舎	うちわづくり、さまざまな昔遊び

キ シニアカレッジ（大学活用型校外授業）

実施日	人員・会場	内容
R4. 7. 29～ R4. 9. 16	28人 西南女学院大	テーマ「躍進の夏・西南の夏」
R4. 9. 7～ R4. 11. 9	24人 東筑紫学園	テーマ「元気にシニアライフを愉しもう！ 2022」

ク 大学との連携講座

実施日	人員・会場	内容
R4. 7. 7	36人 北九州市立大学	学生との交流（卓球・フォークダンス・懇親会）
R4. 10. 20	31人 九州栄養福祉大学	老いの目安・体力測定
R4. 11. 25 12. 8	2回 61人 九州歯科大	歯の健康について
R4. 12. 21	35人 北九州市立大学・ 小倉駅魚町周辺	北九州市立大学生との小倉まちあるき

ケ 一日体験入学

実施日	人員・会場	内容
R4. 9. 10	10人 周望学舎	・日本のアイデンティティー～神社を知る ・学びと関係を深めるコミュニケーション
R5. 1. 14	31人 周望学舎	・音楽レクリエーション ・色彩の科学～科学教育による地域活動の紹介

(5) 資料の発行

資料名	発行部数	発行日
学舎案内	700	R4. 4. 1
入学案内	5, 200	R4. 12. 20
香梅 (修了記念アルバム)	400	R5. 2. 14

(6) 広報紙の発行

名称	発行部数	発行回数
周望学舎かわら版	900	A4 版モノクロ 4 ページ 2 回発行
周望学舎新聞「周望」	2, 000	A4 版カラー 8 ページ 1 回発行

(7) 各種会議

会議名	回数	出席人員 (延べ)	備考
コース委員長会議	3	84	—
スポーツ大会実行委員会	4	111	—
大学祭実行委員会	5	188	—
修学旅行実行委員会	5	123	—
新聞編集委員会	4	92	—
修了記念作品展世話人会会議	2	17	—
研究クラブ・同好会連絡会議	1	9	—

(8) バスの運行

研修生の送迎の他、全コースの校外授業において、スクールバス (中型バス) を活用し、731 回、853 時間の運行を行いました。

(9) 周望学舎同窓会 (支部活動の状況)

支部名	門司	小倉北	小倉南	戸畑・若松	八幡	計
会員数	115	203	209	65	52	644
活動内容	ボランティア活動、役員会等					

(10) 周望学舎シルバーバンク

ア 会員数 13 サークル  
 預託会員 89 人 賛助会員 143 人 (令和 5 年 3 月 31 日時点)



イ サークル活動

サークル名	会員数	主な活動の内容	主な活動場所と活動日
創作折り紙	16	福祉施設、小学校等での折り紙指導及び折り紙研究	周望学舎、福祉施設 (毎月第2・4水曜日)
竹の会	8	竹細工、竹トンボ、竹笛 水鉄砲等作り方・遊び方の伝承	市民センター、小学校、イベント会場 等(隔週水曜日)
読み聞かせ	4	福祉施設等での本の読み聞かせ・ 紙芝居等	子育てふれあい交流プラザ (毎週木曜日) その他施設等
昔遊び	9	ゴム鉄砲遊び、皿回し等の 昔遊びを伝承する	市民センター、小学校 イベント会場等(不定期)
バラの会	14	手芸品・小物等の作成 作品はイベントに提供	周望学舎(毎週金曜日)
ハーモニカ	14	福祉施設訪問・ハーモニカ演奏	福祉施設、イベント会場 (第2・4木曜日)
遊書会	10	福祉施設に於いて習字指導	北九州シティホーム(毎月第4木曜日)
周和会	6	福祉施設訪問、日本舞踊実演	イベント会場、施設等 (毎週金曜日)
ひまわりの会	21	福祉施設での補助・雑事支援	福祉施設等
オレンジの会	11	認知症及びその家族支援	市総合保健福祉センターアシ スト21 カフェ・オレンジ
子育て支援	9	子育て支援	子育てふれあい交流プラザ
収集	16	プルタブ・古紙回収・切手切	周望学舎
編集	2	会報の編集発行(年1回)	周望学舎

ウ サークル活動等・活動人員 476回 延べ974人

エ 学舎コース研修 周望学舎15コース 穴生学舎4コース

オ 広報 会報紙「シルバーバンクだより」800部 1回/年

(11) 研究クラブ、同好会活動

区分	グループ名	会員数	活動の内容	活動場所	活動日
研究 ク ラ ブ	写真	22	実技コースで学ん だ技術を更にレベ ルアップする活動	周望学舎	隔週月曜日
	書道	17			隔週月曜日
	歌って健幸	16			隔週木曜日
	花と野菜づくり	12			隔週水曜日
同 好 会	周望卓球同好会	15	卓球	周望学舎	概ね毎週金曜日
	周望詩吟同好会	10	詩吟		第1,3水曜日
	ユニカール同好会	12	ユニカール		概ね毎週月曜日
	風船バレー同好会	18	ふうせんバレー		概ね毎週水曜日
	社交ダンス周望会	10	社交ダンス		概ね毎週木曜日
	バドミントン同好会	16	バドミントン		概ね毎週火曜日

## 2 穴生学舎・穴生ドーム事業

穴生学舎は、高齢者の生きがい対策の一環として、増大かつ多様化する高齢者の学習ニーズに応えるため、「周望学舎」に続き平成6年9月に福祉と生涯学習の拠点として設置されました。

穴生学舎では、高齢者の「生きがい・健康・仲間」づくりと地域活動の推進役としての役割を担っていただけるよう健康や地域福祉に関わる幅広い研修や事業を実施しました。

また、地域活動情報支援センターでは、学舎で学んだ成果を地域社会で活かせるよう、様々な情報を提供し、研究クラブ等の自主活動を支援することにより社会における役割意識の高揚に努めました。

穴生ドームは、昨年度に引き続き1年を通してワクチン接種会場として使用されました。そのため、一般利用に供した日はテニス大会の8日間のみとなり、ニュースポーツ体験教室など高齢者をはじめ一般市民を対象に企画していた健康・体力づくり事業は、計画どおりの実施ができませんでした。

[穴生学舎]

### (1) 応募状況の推移

区分		年度	H30	R1	R2	R3	R4
新人	男		31	34	16	31	22
	女		37	39	26	53	40
	計		68	73	42	84	62
経験者	男		180	178	100	125	139
	女		193	188	108	159	191
	計		373	366	208	284	330
合計			441	439	250	368	392
定員			504	504	504	504	504
応募倍率			0.88	0.87	0.50	0.73	0.78

※令和2年度は前期休講のため後期のみ

### (2) 研修生の推移（年間コース・研究クラブ・同好会）

分類		年度	H30	R1	R2	R3	R4
年間 コース	コース数		15	15	15	15	15
	研修生数(延べ)		16,458	15,097	4,261	8,209	12,710
研究 クラブ	グループ数		7	7	7	7	7
	利用者数(延べ)		2,600	2,404	1,138	1,403	1,644
同好会	グループ数		0	0	0	0	0
	利用者数(延べ)		0	0	0	0	0

## (3) 研修実施状況

コース名		在籍者数	利用者数(延べ)			研修回数			
			男	女	計	日帰	宿泊	計	
年間コース	文化伝承	13	82	394	476	38	0	38	
	心と身体の健康	29	137	824	961	38	0	38	
	歴史に学ぶ	33	718	444	1162	38	0	38	
	健康づくりサポーター	34	297	874	1171	38	0	38	
	郷土のなりたち	27	476	495	971	38	0	38	
	ストレッチと脳トレ	35	515	653	1168	38	0	38	
	地域ふれあい	4	145	2	147	38	0	38	
	健康管理	34	470	718	1188	38	0	38	
	シニアライフデザイン	32	463	643	1106	38	0	38	
	世界遺産と歴史	36	614	586	1200	38	0	38	
	健康スポーツ	33	525	559	1084	38	0	38	
	写真入門	12	306	152	458	38	0	38	
	実用書道	16	135	413	548	38	0	38	
	絵画入門	20	278	376	654	38	0	38	
	やさしい英会話	13	171	245	416	38	0	38	
小計	371	5,332	7,378	12,710	570	0	570		
短期講座	パソコン系講座	84	270	249	519	33	0	33	
	自主講座	75	60	74	134	13	0	13	
	公開講座	93	41	52	93	1	0	1	
	一日体験講座	34	12	22	34	2	0	2	
	シニアサマーカレッジ	0	0	0	0	0	0	0	
	シニアカレッジ	39	285	53	338	10	0	10	
小計	325	668	450	1,118	59	0	59		
研究クラブ	書道	7	163	97	260	42	0	42	
	写真	写一会	11	76	94	170	21	0	21
		写想	12	62	156	218	22	0	22
	絵画	かがやき	9	87	85	172	23	0	23
		ぱれっと	11	171	183	354	45	0	45
	英会話	英研01会	10	86	207	293	45	0	45
英研2021会		5	55	122	177	45	0	45	
小計	65	700	944	1,644	243	0	243		
ボランティア活動		-	-	-	2,925	519	0	519	
その他の活動 (会議室の利用等)		-	-	-	5,239	316	0	279	
合計		761	6700	8772	23,636	1,707	0	1,670	

(4) 年間行事等

ア 第27回ふれあいスポーツ大会

実施日	人員・会場	内容
R4. 6. 10	502人 総合体育館	大玉転がし、玉入れ等の紅白チーム対抗戦 他

イ 第26回穴生学舎大学祭

実施日	人員・会場	内容
R4. 10. 8~10. 9	877人 穴生学舎	研修生による学習成果発表 他

ウ 公開講座

実施日	人員・会場	内容
R5. 2. 4	93人 穴生学舎	河伯洞と火野葦平 -中村哲氏の原点を探って- 講師：北九州市指定文化財 河伯洞 管理人 藤本 久子 氏

エ 修了記念作品展

実施日	人員・会場	内容
R5. 2. 2 ~R5. 2. 10	841人 穴生学舎	実用書道・絵画入門・写真入門コースの学習成果の発表 出展数 計 50点

オ 周望学舎・穴生学舎合同学習成果発表

実施日	会場	内容
R5. 2. 13 ~R5. 2. 20	ウェルとばた 交流プラザ	周望学舎9コース・穴生学舎11コースの学習成果パネル展示

カ シニアカレッジ

実施回数	人員・会場	内容
10回	37人(延べ338人) 九州国際大学	・激動する国際情勢を見据えて

キ 一日体験講座

実施日	人員・会場	内容
R4. 12. 11	14人 穴生学舎	① ステンシルでオリジナルのカードや年賀状を作 りましょう 講師：筆文字研究家 北村 きよこ 氏 ② 音楽の力で癒しの時間を過ごしましょ う 講師：NPO 法人百瀬ミュージック 代表 百瀬 由の 氏

R5. 1. 14	20人 穴生学舎	① 「幸せになる秘訣」笑顔と笑いの効用 講師：株式会社まちづくり計画研究所 代表取締役 今泉 重敏 氏 ② ニューススポーツ体験 囲碁ボール 講師：穴生ドーム スポーツ指導員
-----------	-------------	---

ク 広報紙の発行

名称	発行部数	発行回数
穴生学舎新聞	2,000	A 4版 8ページ 1回発行
穴生学舎かわら版	4,000	A 4版 4ページ 2回発行

ケ 資料の発行

資料名	発行部数	発行日
学舎案内	550	R4. 4. 1
入学案内	4,600	R5. 1. 16
薫風(穴生学舎修了記念文集)	419	R5. 2. 10

コ 地域開放事業

部屋名等	使用回数	使用人員	備考
図書の貸出	開館日数 181日 貸出冊数 688冊	図書室利用者 2,214 (貸出人数 491)	・研修生及び一般市民
大会議室	33	1,232	
A B会議室	31	588	
研修室	20	762	・講座開催 等
調理室	0	0	
和室	0	0	
ボランティアルーム 交流サロン	14	130	・グループ定例会 等
計	279	4,926	

サ 各種会議

会議名	回数	出席人員(延べ)	備考
コース委員長会議	3	76	—
スポーツ大会実行委員会	5	144	—
大学祭実行委員会	5	131	—
修学旅行実行委員会	5	127	—
新聞編集委員会	6	86	—
ボランティア・研究クラブ連絡会議	0	0	—
ボランティアグループ連絡協議会	2	27	ボランティアグループ相互の意見交換
研究クラブ連絡会議	1	5	—

## シ その他の行事

行事名	内容
入学式記念講演会	新型コロナウイルス感染拡大防止等のため中止
ドームフェスタ	
修学旅行	

## [穴生ドーム]

## (1) 穴生ドーム利用状況

※新型コロナウイルスワクチン接種会場として使用したため、一般利用はなし

区分		年間利用人員	1日平均(人)	比率(%)
早 朝 利 用	ゲートボール	0	0	0
	グラウンドゴルフ	0	0	0
	テニス	0	0	0
	ニュースポーツ	0	0	0
個 人 利 用	ゲートボール	0	0	0
	グラウンドゴルフ	0	0	0
	テニス	0	0	0
	ニュースポーツ	0	0	0
専 用 利 用	ゲートボール	0	0	0
	グラウンドゴルフ	0	0	0
	テニス	690	86	18.4
	ニュースポーツ	0	0	0
	その他	0	0	0
周望・穴生学舎体育授業		1,626	203	43.3
会議室・観覧席・その他の利用		0	0	0
自主事業		1,436	180	38.3
屋外コート		0	0	0
ウォーキング		0	0	0
合計		3,752	469	100
開館日数		8		

## \*種目別利用者人員

項目	年間利用人員	1日平均(人)	比率(%)
ゲートボール	0	0	0.0
グラウンドゴルフ	0	0	0.0
テニス	690	86	18.4
ニュースポーツ	0	0	0.0
イベント	0	0	0.0
屋外・体育授業・その他	3,062	383	81.6

(2) 穴生ドーム年間利用者数の推移

年度	H30	R1	R2	R3	R4
年間利用者数（人）	120,597	106,836	37,497	10,436	3,752

(3) 穴生ドーム種目別利用者数の推移

項目	H30	R1	R2	R3	R4
ゲートボール	2,122	1,624	136	68	0
グラウンドゴルフ	15,719	12,077	4,203	184	0
テニス	47,272	43,495	25,072	1,398	690
ニュースポーツ	8,383	6,872	2,327	111	0
イベント	21,531	18,659	2,374	7,153	0
屋外・体育授業・その他	25,570	24,109	3,385	1,522	3,062
合計	120,597	106,836	37,497	10,436	3,752

3 地域活動情報支援センター

(1) ボランティアグループ活動報告

	周望				穴生			
	活動者数 (延べ)	男	女	活動回数	活動者数 (延べ)	男	女	活動回数
4月	176	84	92	16	247	80	167	61
5月	198	111	87	23	244	88	156	64
6月	229	129	100	23	275	84	191	61
7月	116	70	46	17	235	77	158	62
8月	132	82	50	17	284	111	173	82
9月	187	108	79	24	256	86	170	68
10月	265	149	116	28	219	76	143	55
11月	176	90	86	15	285	95	190	71
12月	147	82	65	16	291	96	195	71
1月	132	79	53	17	270	98	172	63
2月	139	76	63	16	336	123	213	63
3月	155	75	80	15	158	80	78	41
年間合計	2,052	1,135	917	227	3,100	1,094	2,006	762

(2) 地域活動情報支援センター コーディネート状況

コーディネート内容	件数		備考
	周望	穴生	
ボランティア活動体験受け入れ先に関する事	6	1	シルバーバンクへのボランティア活動体験に関する相談
関係機関との相談・依頼	3	7	市ボランティア・市民活動センター、各区ボランティア・市民活動センター
外部施設・団体からのボランティア相談	0	2	高齢者施設、北九州市役所
ボランティアグループへの活動依頼	6	3	市内高齢者施設、病院等

ボランティアグループからの活動相談	13	27	助成金、体験教室、会員募集等
ボランティアグループ以外からの依頼	0	2	クラブのボランティア活動の日程調整等
研修生・修了生・OB会からの相談	0	5	グループ入会、活動先の相談
一般の方からの相談	0	12	ボランティアグループの相談、見学
ボランティア活動や打ち合わせに同行	2	2	ボランティア活動体験、ボランティア活動への同行・引率・当日調整・現状把握
その他	1	18	研修コース講義、コーディネーター会議出席等
合計件数	31	79	

### (3) 年間行事等

#### ア ロビーコンサート

実施回数	人員	内容
4	350	歌唱・ギター演奏 等

#### イ みんなの保健室

実施回数	人員	内容
8	25	血圧測定、酸素飽和度測定、健康相談 等

#### ウ シニアと孫の夏休み in 穴生学舎

実施日	人員・会場	内容
R4.8.17	11組・24人 穴生学舎	マジック、紙すき、ニュースポーツ

#### エ ボランティア入門講座

実施回数	人員・会場	内容
4	8人 (延べ27人) 穴生学舎	① 気づく・学ぶ・やってみる！(知的・発達障害者の理解編) 講師：生き方のデザイン研究所 代表理事 遠山 昌子 氏 ② ボランティア活動の基本を学ぶ 講師：元社会教育主事 半田 百合枝 氏 ③ 幸せとコミュニケーションについて考えよう 講師：オフィス新開 新開 よしこ 氏 ④ 認知症サポーター養成講座 講師：キャラバンメイト 北岡 大輝 氏



オ 楽しいマジック入門講座

実施回数	人員・会場	内容
2	12人 (延べ23人) 穴生学舎	ロープマジック 等 講師：芸能グループ オーロラ

カ 南京玉すだれ体験講座

実施回数	人員・会場	内容
4	9人 (延べ29人) 穴生学舎	南京玉すだれ体験 講師：芸能グループ オーロラ

キ 穴生学舎ボランティア連絡協議会

行事名	内容
穴生学舎ボランティアグループふれあい交流会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

## ◇年長者研修大学校人権研修事業

年長者研修大学校周望学舎・穴生学舎の年間コース全 30 コースで、人権に関する授業を行い、研修生に人権に関する啓発を行いました。

### 1 周望学舎

開催日	受講コース名	講座タイトル	人員
R4. 4. 22	生活情報	あんしんな暮らしのお手伝い	30
R4. 6. 1	体力増進	あんしんな暮らしのお手伝い	37
R4. 6. 1	暮らしと環境	生活困窮者の支援	28
R4. 6. 8	暮らしと環境	あんしんな暮らしのお手伝い	28
R4. 7. 6	体力増進	障害の理解と障害のある人の「生活のしづらさ」を想像してみよう	32
R4. 7. 19	花と野菜づくり	あんしんな暮らしのお手伝い	23
R4. 7. 20	暮らしと環境	障害のある人との共生について	27
R4. 7. 28	脳活とウェルネス	人権文化のまちづくり～LGBTについて～	27
R4. 10. 13	地域ふれあい	人権文化のまちづくり～LGBTについて～	9
R4. 10. 24	歴史に学ぶ	人権文化のまちづくり～LGBTについて～	26
R4. 10. 28	生活情報	障害の理解と障害のある人の「生活のしづらさ」を想像してみよう	37
R4. 11. 29	健康づくりサポーター	障害の理解と障害のある人の「生活のしづらさ」を想像してみよう	25
R4. 12. 9	心と身体の健康	人権文化のまちづくり～LGBTについて～	38
R4. 12. 12	写真入門	フードバンク活動について	18
R4. 12. 14	歌って健幸	人権文化のまちづくり～LGBTについて～	29
R4. 12. 19	やさしいヨガと脳トレ	フードバンク活動について	23
R5. 1. 10	ふるさとの文化	人権文化のまちづくり～LGBTについて～	27
R5. 1. 11	体力増進	ニュースポーツ～風船バレー	33
R5. 1. 12	脳活とウェルネス	あんしんな暮らしのお手伝い	27
R5. 1. 12	健康管理	人権文化のまちづくり～LGBTについて～	31
R5. 1. 17	花と野菜づくり	人権文化のまちづくり～LGBTについて～	23
R5. 2. 3	書道入門	障害の理解と障害のある人の「生活のしづらさ」を想像してみよう	17
R5. 2. 22	暮らしと環境	人権文化のまちづくり～LGBTについて～	25
合計			620

## 2 穴生学舎

開催日	受講コース名	講座タイトル	人員
R4. 7. 8	世界遺産と歴史	誰もが自分らしく生きられる地域づくり 生活困窮者に対する支援について	32
R4. 8. 3	ストレッチと脳トレ	身近な人権について	30
R4. 8. 22	文化伝承	人権トークとコンサート	11
R4. 9. 8	地域ふれあい	人権トークとコンサート	4
R4. 9. 12	写真入門	児童虐待と北九州市内における子ども 食堂の状況について	12
R4. 11. 15	歴史に学ぶ	身近な人権について	30
R4. 12. 13	健康づくりサポーター	人権トークとコンサート	30
R4. 12. 15	地域ふれあい	身近な人権について	4
R5. 1. 13	健康スポーツ	身近な人権について	29
R5. 1. 16	心と身体の健康	人権トークとコンサート	27
R5. 1. 19	やさしい英会話	あすチャレ！パラアスリートによる障 害への疑問を解決	12
R5. 1. 19	健康管理	あすチャレ！パラアスリートによる障 害への疑問を解決	32
R5. 1. 20	シニアライフデザイン	身近な人権について	27
R5. 1. 26	地域ふれあい	はじめての手話	4
R5. 2. 8	絵画入門	身近な人権について	18
R5. 2. 28	実用書道	人権トークとコンサート	14
R5. 3. 1	郷土のなりたち	人権トークとコンサート	26
合計			342

## ◇高齢者の健康づくり事業

高齢期を迎える市民を対象に生活習慣病の予防と運動の習慣化を目的として、健康寿命の延伸と介護予防につながる事業を行いました。

### 1 ニュースポーツ出前体験事業

回数	人員	内容
27	459	出前講演方式によりニュースポーツを体験していただき、健康づくりを促進する。

### 2 参加者数の推移

事業名	H30	R1	R2	R3	R4
ニュースポーツ出前体験事業	1,305	1,115	171	186	459

### 3 その他の健康づくり事業

行事名	内容
健康ウォーキング	穴生ドームがワクチン接種の会場になったことにより中止
ニュースポーツ無料開放	
ドームフェスタ	
ニュースポーツ体験教室	

# ◇門司区事務所運営事業

## 1 区事務所運営事業

### (1) 正副会長会議

実施日	人員・会場	内容
R4. 4. 21	2人 門司区役所	・運営委員会について ・校区社協会長、担当者会議について
R4. 5. 19	1人 門司区役所	・運営委員会について
R4. 7. 21	3人 門司区役所	・社会福祉相談援助実習生の受入れについて
R4. 9. 15	3人 門司区役所	・北九州市社会福祉大会について ・校区敬老行事へのお祝いメッセージについて
R4. 11. 17	3人 門司区役所	・民生委員児童委員一斉改選について
R4. 12. 22	3人 門司区役所	・運営委員会について ・校区社協会長、担当者会議について
R5. 1. 19	3人 門司区役所	・活動計画、予算（案）について
R5. 3. 16	2人 門司区役所	・運営委員会について

### (2) 運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R4. 5. 25	22人 門司生涯学習 センター	・会長の選任 ・令和3年度事業報告 ・令和3年度収支決算
R5. 2. 14	26人 門司生涯学習 センター分館	・令和5年度事業計画（案） ・令和5年度収支予算（案）

### (3) 校(地)区社協会長会議

実施日	人員・会場	内容
R4. 8. 9	書面開催	・ふれあいネットワーク活動推進事業について ・地域福祉人材育成等のための研修について ・賛助会員加入のお願いについて
R5. 2. 22	35人 門司生涯学習 センター	・ふれあいネットワーク活動及び地域共生社会 実現のための活動助成金 ・令和4年度活動報告及び令和5年度助成金 申請について ・住民主体による生きがい・健康づくりの場 (サロン) 推進事業について

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区社協活動状況自己点検シートについて</li> <li>・歳末たすけあい募金袋について</li> <li>・各種案内</li> </ul>
--	--	--

(4) 区社協だよりの発行  
年3回 38,000部/回 年間114,000部発行

(5) 賛助会員加入状況

法人・団体会員		個人会員		計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
37	343,000	251	255,000	288	598,000

(6) 寄付金受領状況

区分	件数	金額
香典返し寄付金	3	100,000
篤志寄付金	3	35,600
計	6	135,600

(7) 無料又は低額診療券発行 新規4件（継続分は掖済会病院にて対応）

## 2 共同募金配分金事業

(1) 新入学児童へのランドセルカバー贈呈 740枚

(2) 福祉団体等助成

団体名	助成金額
門司区老人クラブ連合会	180,000
門司区シルバーふるさとまつり区実行委員会	事業中止
門司区身体障害者福祉協会	事業中止
門司区婦人会連絡協議会	65,000
門司区ボランティア連絡協議会	40,000
門司区民生委員児童委員協議会	98,000
門司区子ども会連合会	21,000
門司区青少年育成協議会連合会	50,000
門司警察署少年補導員連絡会	36,000
計 (9 団体)	490,000

(3) 校区社協活動費助成

校区数	助成金額
21 校区	1,050,000

(4) 火災被害世帯への見舞品等の支給 0 件

**3 その他事業**

(1) ボランティア連絡協議会への支援

- ・総会（書面開催）、門司レトロ地区他清掃活動 2 回

# ◇小倉北区事務所運営事業

## 1 区事務所運営事業

### (1) 運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R4.5.31	32人 男女共同参画センター ムーブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>副会長の補充選任について</li> <li>令和3年度事業報告について</li> <li>令和3年度決算報告について</li> <li>賛助会員の加入・会費納入のお願い</li> </ul>
R5.2.22	32人 男女共同参画センター ムーブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度事業計画について</li> <li>令和5年度収支予算について</li> <li>地域交流型フードサポート事業にかかるフードドライブ協力のお願い</li> </ul>

### (2) 校(地)区社協会長会議

実施日	人員・会場	内容
R4.6.28	45人 男女共同参画センター ムーブ  ※ふれあいネットワーク 実務担当者会議と 合同開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度校(地)区社会福祉協議会活動助成事業について</li> <li>小地域福祉活動計画の策定について</li> <li>次世代地域福祉活動者育成事業(ウェルクラブ活動)について</li> <li>今後の社協関係研修・事業等について</li> <li>情報提供、その他</li> </ul>
R5.2.1	42人 男女共同参画センター ムーブ  ※ふれあいネットワーク 実務担当者会議と 合同開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあいネットワーク活動及び地域共生社会実現のための活動助成金にかかる令和4年度活動報告及び令和5年度助成金申請について</li> <li>住民主体による生きがい・健康づくりの場(サロン)推進事業について</li> <li>校(地)区社協活動状況自己点検シートについて</li> <li>校(地)区社協活動を充実させるための取組み</li> <li>フードドライブ協力のお願い</li> <li>情報提供、その他</li> </ul>

### (4) 区社協だよりの発行

年4回 70,000部/回 年間280,000部発行

### (5) 賛助会員加入状況

法人・団体会員		個人会員		計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
35	530,000	512	512,000	547	1,042,000



(6) 寄付金受領状況

区分	件数	金額
香典返し寄付金	1	20,000
篤志寄付金	31	993,559
計	32	1,013,559

(7) 無料又は低額診療券発行 1件

2 共同募金配分金事業

(1) 新入学児童へのランドセルカバー贈呈 1,500枚

(2) 福祉団体等助成

団体名	助成金額
小倉北区シニアサークル連合会	40,000
小倉北区身体障害者福祉協会	250,000
小倉北区青少年育成会協議会	90,000
小倉北警察署少年補導員連絡会	40,000
北九州市母子寡婦福祉会小倉北地区	120,000
小倉北区民生委員児童委員協議会	340,000
小倉南北区遺族連合会	40,000
小さな親切運動北九州市本部	40,000
小倉北保護区保護司会	65,000
小倉北区子どもまつり実行委員会	180,000
小倉北区 25校(地)区自治連合会	281,020
計 (35 団体)	1,486,020

(3) 災害弔慰金・見舞金支給事業

区分	件数	金額
見舞金	35	111,000
弔慰金	1	10,000
計	36	121,000

(4) 地域たすけあい見舞金配分事業

団体名	助成金額
小倉北区 25校(地)区自治連合会	222,460
計 (25 団体)	222,460

(5) その他事業

- ① 地域交流・リフレッシュ事業（地域福祉活動者の交流事業）  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

3 収益事業

内容	金額
自動販売機設置（2台）	62,150

4 その他事業

(1) 区事務所運営事業

- ・小倉北区子どもまつり協賛事業

令和4年7月24日(日) 到津の森公園 来場者1,991名  
(スタンプラリー、ニュースポーツ、警察・消防車両展示等)

# ◇小倉南区事務所運営事業

## 1 区事務所運営事業

### (1) 正副会長会議

実施日	人員・会場	内容
R4. 6. 22	7人 小倉南生涯学習センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員の変更について</li> <li>令和3年度 事業報告</li> <li>令和3年度 収支決算</li> </ul>
R5. 3. 14	8人 小倉南生涯学習センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度 事業計画</li> <li>令和5年度 収支予算</li> </ul>

### (2) 運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R4. 7. 12	書面審議	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員の変更について</li> <li>令和3年度 事業報告</li> <li>令和3年度 収支決算</li> </ul>
R5. 3. 29	書面審議	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度 事業計画</li> <li>令和5年度 収支予算</li> </ul>

### (3) 校(地)区社協会長会議

実施日	人員・会場	内容
R4. 10. 25	24名 小倉南生涯学習センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度の事業実施について(見通し)</li> <li>小地域福祉活動計画の策定について</li> <li>『福祉のまちづくり講座』の実施募集について</li> <li>新任福祉協力員研修について</li> <li>赤い羽根共同募金及び社協の賛助会費について</li> </ul>
R5. 2. 14	25名 小倉南生涯学習センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあいネットワーク活動推進事業の報告・申請について</li> <li>小地域福祉活動計画の策定について</li> <li>トップセミナー案内</li> <li>ふくしのまちづくり講座について</li> <li>ランドセルカバーの贈呈について</li> <li>ボランティア活動保険の加入受付について</li> <li>令和5年度 主な年間行事等について</li> </ul>

### (4) 区社協だよりの発行

年4回 59,500部/回 年間238,000部発行

### (5) 賛助会員加入状況

法人・団体会員		個人会員		計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
18	355,000	18	73,000	35	428,000

(6) 寄付金受領状況

区分	件数	金額
香典返し寄付金	4	140,000
篤志寄付金	7	351,669
物品	1	261,426
計	12	753,095

(7) 年長者・障害者作品展

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(8) 無料又は低額診療券発行 0件

2 共同募金配分金事業

(1) 新入学児童へのランドセルカバー贈呈 2,156枚

(2) 障害児(者)ふれあいバスハイク

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(3) 福祉団体等助成

団体名	助成金額
社会を明るくする運動協賛費	50,000
年長者福祉大会	30,000
小倉南区老人クラブ連合会	20,000
北九州市保育所連盟小倉南支部	20,000
小倉南保護区保護司会	20,000
北九州市母子寡婦福祉会小倉南地区	20,000
計(4団体、2事業)	160,000

(4) 災害見舞金事業

内容	件数	金額
災害被災世帯への見舞金	9	50,000

3 収益事業

(1) 自動販売機設置状況 1台 64,604円

4 その他事業

(1) 区事務所運営事業

- ・運営委員会委員・校(地)区社協役員視察研修  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

# ◇若松区事務所運営事業

## 1 区事務所運営事業

### (1) 運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R4. 5. 23	22人 若松区役所	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営委員会運営要綱の改正について</li> <li>運営委員の交代及び追加について</li> <li>運営委員会会長の選任について</li> <li>令和3年度事業報告書について</li> <li>令和3年度収支決算書について</li> </ul>
R5. 2. 27	20人 若松区役所	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度 事業計画について</li> <li>令和5年度 収支予算について</li> </ul>

### (2) 校(地)区社協会長会議

実施日	人員・会場	内容
R4. 6. 27	27人 若松中央市民センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>賛助会員の募集について</li> <li>令和4年度ふれあいネットワーク事業等事業推進状況資料について</li> <li>令和5年度ふれあいネットワーク事業等の助成金予想申請額について 等</li> </ul>
R5. 2. 1~17	88人 区内各地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>賛助会員の普及に係る事務費交付について</li> <li>校(地)区社協活動状況自己点検シートについて</li> <li>ふれあいネットワーク等活動推進事業など各種報告、申請について</li> <li>北九州市社協ホームページリニューアルについて 等</li> </ul>

### (3) 区社協だよりの発行

年3回 25,000部/回 年間75,000部発行

### (4) 賛助会員加入状況

法人・団体会員		個人会員		計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
7	102,000	89	209,000	96	311,000

### (5) 寄付金受領状況

区分	件数	金額
香典返し寄付金	5	140,000
篤志寄付金	8	29,221
計	13	169,221

### (6) 年長者・障害者作品展

開催期間	会場	出展数	来場者数
R4. 10. 17~19	若松区役所	252	344

(7) 無料又は定額診療券発行 0件

## 2 共同募金配分金事業

(1) 新入学児童へのランドセルカバー贈呈 850枚

(2) 福祉団体等助成

団体名	助成金額
母子寡婦福祉会	50,000
公民館連合会	50,000
ボランティア連絡協議会	30,000
市民防災会連合会	50,000
警察署少年補導員	25,000
社会を明るくする運動	50,000
青少年育成協議会	50,000
身体障害者福祉協会	50,000
若松区老人クラブ連合会	100,000
計(9団体)	455,000

(3) その他事業

対象者	助成金額
生活困窮者(5件)	31,000
在宅ねたきり高齢者世帯(1件)	3,000
計6件	34,000

## 3 収益事業

内容	金額
競艇場自販機設置(5台)	1,500,036

## 4 その他事業

(1) 区事務所運営事業

- ・年長者いこいの家運営助成金の支出(17カ所 各10,000円)

(2) ボランティア連絡協議会への支援

- ・各種会議の開催(代表者会5回)、総会、福祉とボランティアの集い、主催事業の実施、ボランティア養成講座(新型コロナウイルスの影響により中止)
- ・ボランティアウィーク2022のオープニングイベント出演、広報スライド上映

# ◇八幡東区事務所運営事業

## 1 区事務所運営事業

### (1) 正副会長会議

実施日	人員・会場	内容
R4. 5. 10	5人 書面開催	・令和3年度事業報告・決算について ・今後のスケジュールについて
R5. 2. 9	5人 八幡東区社会福祉センター	・令和5年度事業計画・予算について

### (2) 運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R4. 5. 20	13人 八幡東区社会福祉センター	・令和3年度事業報告・決算について
R5. 2. 14	11人 八幡東区社会福祉センター	・令和5年度事業計画・予算について

### (3) 校(地)区社協会長会議

実施日	人員・会場	内容
R4. 7. 14	40人 八幡東区社会福祉センター	・令和4年度 ふれあいネットワーク活動推進事業中間報告の廃止について ・令和3年度八幡東区社会福祉協議会事業報告について 等
R4. 2. 15	31人 八幡東区社会福祉センター	・令和5年度 ふれあいネットワーク活動推進事業助成金申請について ・令和5年度八幡東区社会福祉協議会事業計画について 等

### (4) 区社協だよりの発行

年4回 24,000部/回 年間96,000部発行

### (5) 賛助会員加入状況

法人・団体会員		個人会員		計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
28	344,000	13	53,000	41	397,000

(6) 寄付金受領状況

区分	件数	金額
香典返し寄付金	2	20,000
篤志寄付金	11	1,237,972
計	13	1,257,972

(7) 無料又は低額診療券発行 4件

2 共同募金配分金事業

(1) 新入学児童へのランドセルカバー贈呈 547枚

(2) 寄付の教室

実施日	人員・会場	内容
R5.2.10	91 花尾小学校	・花尾小学校6年生(3クラス)を対象に寄付を通じて、福祉関係団体の活動内容の学習や福祉課題に関する意見交換など福祉教育の機会を提供。

(3) 障害児(者)ふれあいバスハイク

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(4) ひとり親家庭ふれあいバスハイク

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(5) 年長者・障害者作品展

開催期間	会場	出展数	参加者数
R4.9.26 ~ R4.9.30	八幡東区社会 福祉センター	83	350

(6) 福祉団体等助成

団体名	助成金額
八幡保護区保護司会	50,000
八幡東区老人クラブ連合会	事業中止
八幡東区民生委員児童委員協議会	100,000
母子寡婦福祉会八幡東地区	50,000
八幡民生事業協会	事業中止
保育所連盟八幡東支部	事業中止
八幡東子ども会連絡協議会	100,000
八幡東区青少年育成会協議会	100,000



「小さな親切」運動八幡東区支部	30,000
八幡東防犯協会連合会	50,000
八幡東区子どもまつり実行委員会	事業中止
皿倉山健康ウォーク実行委員会	90,000
市民センター（11館）	550,000
八幡東区ボランティア連絡協議会	81,735
子育て支援団体（3団体）	97,500
計（23団体）	1,299,235

(7) 女性応援事業「ひるまの星」

実施日	人員・会場	内容
毎月第3月曜日	8人程度 八幡東区社会福祉センター	ひきこもり・生きづらさを感じている女性の居場所サロンを12回開催
R4.10.13	24人 八幡東区社会福祉センター	同意と境界線、気持ちとの付き合い方についての講座
R5.2.9	27人 八幡東区社会福祉センター	フォーカシングのワーク講座（自分の内面に目を向けてそこにある感覚と優しい態度で向き合う練習）

(8) 男性のためのふれあい料理教室

実施日	人員・会場	内容
R5.3.4	10人 高見市民センター	料理を通じて、男性の地域活動のきっかけとする講座を食生活改善推進員協議会、高見校区社協と共同で実施

3 収益事業

内容	金額	備考
健康増進機器設置	401,900	延べ利用者 5,103人
自動販売機設置	65,538	

4 その他事業

(1) ボランティア連絡協議会への支援

- ・定例会の開催10回、イベント参加3回、主催事業の実施支援1回

(2) ボランティアまつりの開催 5回

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、認知症カフェボランティア養成講座を実施

実施日	人員・会場	内容
R4. 8. 2	14人 八幡東区 社会福祉 センター	「共生社会ってどんなもの？認知症ご本人の想いを聞こう！」 沼田 賢一郎 氏・眞由美 氏
R4. 8. 9	8人 八幡東区 社会福祉 センター	「カフェ運営に役立つ体操とレクリエーションを学ぼう」 北九州市認知症支援・介護予防センター 健康運動指導士 宇野 里加 氏
R4. 8. 18	7人 八幡東区 社会福祉 センター	「コロナを乗り越えて運営する認知症カフェ～いかに乗り越えたか？思いと課題」 八薬カフェ 八幡薬剤師会 常務理事 永嶋 友洋 氏 ラ・ポール 園田 康宏 氏 あそこのカフェ 暮らしの保健室 in 小倉 室長 衣笠 明美 氏 カフェ・オレンジ 認知症草の根ネットワーク 理事 田代 久美枝 氏
R4. 8. 25	10人 八幡東区 社会福祉 センター	「認知症サポーター養成講座/市内の認知症カフェ・ 社会とのつながりを切らない場の紹介」 認知症支援・介護予防センター 認知症支援推進員 松岡 由佳 氏、岸森 章子 氏
R4. 8. 30	9人 八幡東区 社会福祉 センター	「カフェ運営にあたっての感染予防と対策/役立つ市の しくみを知ろう」 八幡東区役所保健福祉課 地域保健係 清水 友紀 氏 八幡東区社会福祉協議会 地域支援コーディネーター 棚田 直美 八幡東区役所保健福祉課 地域包括支援センター 保健師 石田 京子 氏

### (3) ボランティア団体、企業等との連携事業

実施日	人員・会場	内容
R4. 10. 25	26人 八幡東区社会福祉センター	「座ってできる脳トレ体操」講座 *フィットネスインストラクター 白石由美氏
R4. 12. 13	120人 八幡東区社会福祉センター	「クリスマスプチマルシェ」事業 *ボランティア団体による賑わいづくり
R5. 2. 21	11人 八幡東区社会福祉センター	高齢者向けLINE講座 *大東コーポレートサービス(株)との連携事業
R5. 2. 28	7人 八幡東区社会福祉センター	高齢者向けネットショッピング講座 *大東コーポレートサービス(株)との連携事業
R5. 3. 28	100人 八幡東区社会福祉センター	「さくらマルシェ」事業 *ボランティア団体による賑わいづくり

# ◇八幡西区事務所運営事業

## 1 区事務所運営事業

### (1) 正副会長会議

実施日	人員・会場	内容
R4. 5. 18	5人 八幡西区役所	・令和3年度事業報告について ・令和3年度収支決算について
R5. 2. 21	4人 八幡西区役所	・副会長の選任について ・令和5年度事業計画について ・令和5年度収支予算について

### (2) 運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R4. 5. 24	11人(内オンライン1人) 八幡西区役所	・令和3年度事業報告について ・令和3年度収支決算について
R5. 2. 28	11人 八幡西区役所	・副会長の選任について ・令和5年度事業計画について ・令和5年度収支予算について

### (3) 校(地)区社協会長会議

実施日	人員・会場	内容
R4. 4. 26	36人 八幡西区役所	・令和4年度八幡西区事務所事務分掌について ・令和4年度北九州市社会福祉協議会会長表彰について 他
R4. 6. 28	34人 八幡西区役所	・八幡西区社協公式LINEアカウントの開設について ・令和4年度福祉協力員意識調査の報告 他
R4. 9. 30	35人 八幡西区役所	・サロン活動の手引き・マップの発行について ・賛助会員及び赤い羽根共同募金への協力について 他
R5. 1. 16	34人 八幡西区役所	・令和4年度報告及び令和5年度申請について ・校(地)区社協活動状況自己点検シートについて 他

### (4) 区社協だよりの発行

年4回 73,000部/回 年間292,000部発行

### (5) 賛助会員加入状況

法人・団体会員		個人会員		計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
93	970,000	1,471	1,757,000	1,564	2,727,000

(6) 寄付金受領状況

区分	件数	金額
香典返し寄付金	23	121,600
篤志寄付金	23	225,914
計	46	347,514

(7) 年長者・障害者作品展（ココロ・ツナグ・作品展）

開催期間	会場	出展数	来場者数
R4. 9.20～24	北九州市立美術館 黒崎市民ギャラリー	166	643
R4. 9.26～ 10.12	イオンタウン黒崎 タウンホール	28(受賞作品)	-

(8) 無料又は定額診療券発行 0件

## 2 共同募金配分金事業

(1) 新入学児童へのランドセルカバー贈呈 2,280枚

(2) 福祉団体等助成

団体名	助成金額
八幡西区シニアクラブ連合会	70,000
八幡西区ささえあいネットワーク 推進協議会(健康増進事業)	事業中止
八幡西区ささえあいネットワーク 推進協議会(高齢社会を考える区民の集い事業)	50,000
八幡西区青少年育成会協議会	12,500
八幡西地区学校警察連絡協議会	25,000
八幡西子ども会育成連絡協議会	170,000
北九州市母子寡婦福祉会八幡西地区	50,000
八幡西区愛の献血推進協議会	50,000
北九州市八幡西区遺族連合会	18,000
八幡保護区保護司会	100,000
計(10団体)	545,500

### 3 収益事業

内容	金額
オリジナルポロシャツ・ ジャンパーの販売	52,990

### 4 その他事業

#### (1) ボランティア連絡協議会への支援

- ・総会の開催 1回、役員会の開催 3回、ボランティアウィークでの活動パネル展示及び講座開催 1回、ボランティア講座3回  
交流会、バス研修は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

# ◇戸畑区事務所運営事業

## 1 区事務所運営事業

### (1) 正副会長会議

実施日	人員・会場	内容
R4. 5. 19	9人 戸畑区役所	・第1回戸畑区社会福祉協議会運営委員会の議案について
R5. 2. 17	9人 戸畑区役所	・第2回戸畑区社会福祉協議会運営委員会の議案について

### (2) 運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R4. 6. 7	22人 戸畑区役所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参与、副参与の委嘱について</li> <li>・戸畑区社会福祉協議会運営委員会運営要綱の一部改訂について（令和4年5月1日施行）</li> <li>・令和3年度事業報告について</li> <li>・令和3年度収支決算について</li> </ul>
R5. 2. 27	21人 戸畑区役所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度事業計画（案）について</li> <li>・令和5年度収支予算（案）について</li> </ul>

### (3) 校(地)区社協会長会議

実施日	人員・会場	内容
R4. 4. 14	20人 戸畑区役所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度賛助会員加入のお願いについて</li> <li>・令和4年度住民主体による生きがい・健康づくりの場（サロン）推進事業について</li> <li>・令和3年度サロンサポーター養成講座実施報告</li> <li>・令和4年度新任役員研修について他</li> </ul>
R4. 6. 16	17人 戸畑区役所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉協力員意識調査報告書2021について</li> <li>・新任福祉協力員等研修について</li> <li>・第72回「社会を明るくする運動」区民集会への参加について</li> <li>・令和4年度サロンサポーター養成講座について他</li> </ul>
R4. 8. 3	19人 書面開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度北九州市社会福祉大会開催について</li> <li>・ボランティアウィーク2022について</li> <li>・共同募金における物品の購入について</li> <li>・令和4年度現任福祉協力員研修について他</li> </ul>

R4. 10. 20	16 人 戸畑区役所	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和 4 年度地域歳末事業助成金交付申請書の提出について</li> <li>第 46 回戸畑区青少年健全育成キャンペーンの参加について</li> <li>地域福祉活動専門研修について</li> <li>地域交流型フードサポート事業について他</li> </ul>
R4. 12. 15	18 人 戸畑区役所	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和 4 年度地域歳末事業助成金について</li> <li>令和 4 年度校(地)区社協活動状況自己点検シートの作成について</li> <li>「ウェルクラブ活動を広げよう」について</li> <li>「北九州市見守りシール」配布について他</li> </ul>
R5. 2. 16	23 人 戸畑区役所	<ul style="list-style-type: none"> <li>各書類提出スケジュールについて</li> <li>ふくしのまちづくり講座について</li> <li>令和 5 年度ボランティア活動保険等について</li> <li>事例紹介(牧山・東戸畑地区)他</li> </ul>

(4) 区社協だよりの発行

年 2 回 19,000 部/回 年間 38,000 部発行

(5) 賛助会員加入状況

法人・団体会員		個人会員		計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
2	20,000	93	99,000	95	119,000

(6) 寄付金受領状況

区分	件数	金額
香典返し寄付金	3	70,000
篤志寄付金	19	264,623
計	22	334,623

2 共同募金配分金事業

(1) 新入学児童へのランドセルカバー贈呈 456 枚

(2) 障害者ふれあいバスハイク

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(3) 福祉団体等助成

団体名	助成金額
戸畑区老人クラブ連合会	54,000
戸畑区子ども会連合会	64,000
戸畑区社会を明るくする運動推進委員会	50,000

戸畑区青少年育成協議会	21,000
北九州市母子寡婦福祉会戸畑地区	57,000
戸畑区民生委員児童委員協議会	90,000
戸畑区保護区保護司会	21,000
各年長者いこいの家運営委員会(13 団体)	130,000
各校(地)区社会福祉協議会(14 地区)	766,000
計 (34 団体)	1,253,000

### 3 収益事業

内 容	金 額
駐車場賃借料	282,914
自動販売機設置 (2 台)	28,931

### 4 その他事業

#### (1) 区事務所運営事業

- ・とばた菖蒲まつり 2022 福祉バザー出店  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

#### (2) ボランティア連絡協議会への支援

- ・定例会の開催 6 回、総会(書面開催)の開催支援
- ・赤い羽根仕分け、袋詰め作業  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止



## ◇常設委員会

### 1 表彰審査委員会

実施日	人員・会場	内容
R4. 8. 16	7人 ウエルとばた	1 委員長の選任について 2 被表彰候補者の審査・答申について

### 2 民間社会福祉施設整備資金貸付審査委員会：申請0件のため開催なし

### 3 民間社会福祉事業者共済事業運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R4. 12. 21	7人 ウエルとばた	1 委員長の選任について 2 令和3年度事業報告について 3 令和5年度事業計画（案）について

### 4 総合企画委員会

実施日	人員・会場	内容
R4. 7. 25	19人 ウエルとばた オンライン 併用	1 北九州市地域福祉活動第六次計画をふまえた取り組みについて (1) 令和3年度（1年次）北九州市社会福祉協議会事業報告について (2) 多様な主体による取り組みについて
R5. 2. 6	17人 ウエルとばた	1 北九州市地域福祉活動第六次計画をふまえた取り組みについて (1) 令和5年度（3年次）北九州市社会福祉協議会事業計画（案）について (2) 各団体の取り組みについて 2 令和5年度 総合企画委員会の取り組みについて

### 5 生活福祉資金調査委員会：申請0件のため開催なし

### 6 権利擁護・市民後見センター 運用委員会

実施日	人員・会場	内容
R4. 4. 20	7人 オンライン	・令和3年度 事業監査について ・令和3年度 事業実施状況について ・法人後見事業 受任検討について ・令和4年度 会計監査について（会計監査員選出）
R4. 6. 1	7人 オンライン	・地域福祉権利擁護事業における処遇困難事例について ・法人後見受任ケースの市民後見人へのリレーについて
R4. 7. 20	8人 オンライン	・法人後見事業 受任決定案件について ・能力判定資料（内部審査用）様式の変更について ・地域福祉権利擁護事業における処遇困難事例について ・法人後見事業における処遇困難事例について

R4. 9. 21	5人 オンライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度 会計監査について（結果報告）</li> <li>・法人後見事業 受任検討について</li> <li>・地域福祉権利擁護事業 契約検討案件について</li> </ul>
R4. 10. 19	7人 オンライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上半期の事業実施状況について</li> <li>・法人後見事業 受任案件進捗状況について</li> </ul>
R5. 2. 15	8人 オンライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施状況について</li> <li>・北九州市社会貢献型市民後見人養成事業 フォローアップ研修について（開催報告）</li> <li>・令和5年度 事業計画について</li> <li>・地域福祉権利擁護事業 対応困難事例について</li> <li>・令和5年度 運用委員会 日程及び開催方法について</li> </ul>
計6回		法人後見受任審査人数 5人 内訳 <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症高齢者5人(後見4人、保佐0人、補助1人)</li> <li>・知的障害者0人(後見0人、保佐0人、補助0人)</li> <li>・精神障害者0人(後見0人、保佐0人、補助0人)</li> </ul>

#### 7 ボランティア・市民活動センター運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R4. 6. 17	16人 ウェルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度の運営委員会の取り組みについて</li> <li>・令和3年度事業報告及び令和4年度事業計画について</li> <li>・令和5年度事業方針策定にかかる意見聴取について</li> </ul>
R5. 1. 31	14人 ウェルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当センターにおける今年度の主要事業について</li> <li>・「ボランティアウィーク2022」について</li> <li>・親子手話体験教室について</li> <li>・令和4年度第1～3四半期報告について</li> <li>・令和5年度事業計画(案)について</li> </ul>

#### 8 北九州シニアネットワークアカデミー運営・改善委員会

実施日	人員・会場	内容
R4. 8. 23	9人 書面開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正副委員長の選任について</li> <li>・年長者研修大学校等の事業及び運営状況について</li> <li>・生涯現役夢追塾の令和4年度の事業及び運営状況について</li> <li>・課題と対応について</li> </ul>
R5. 2. 24	8人 ウェルとばた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度の取り組みについて</li> <li>・課題と対応について</li> <li>・令和5年度の取り組みについて</li> <li>・収支報告</li> <li>・生涯現役夢追塾の令和4年度の取り組みについて</li> <li>・生涯現役夢追塾の令和5年度の取り組みについて</li> </ul>